

教 育 要 覧

平成 27 年度

岡 崎 市 教 育 委 員 会

I	総説	1	2	成人教育	67
第1	市勢の概要	2	3	家庭教育	68
1	隣接町村合併沿革	4	第2	社会教育施設等	69
2	人口及び世帯数の推移	5	1	市民センター	69
第2	教育委員会	6	2	視聴覚ライブラリー	71
1	教育委員	6	3	中央図書館	74
2	平成26年度教育委員会	7	4	図書館交流プラザ	81
第3	教育行財政	9	5	美術館	83
1	平成27年度教育費予算	9	6	美術博物館	85
2	平成25年度教育費歳出決算	10	7	少年自然の家	86
3	21世紀教育ビジョン	11	8	少年愛護センター	87
4	行政組織図	12	第3	文化財	88
5	職員配置状況	13	1	文化財保護	88
6	事務局・教育機関の事務分掌	14	2	旧本多忠次邸	91
7	事務の補助執行	17	3	六ツ美歴史民俗資料室	92
II	学校教育	19	第4	社会体育	93
1	学校教育の視点	20	1	体育振興	93
2	平成27年度研究発表会	21	2	岡崎市体育協会	96
3	新たな教育への挑戦	22	IV	資料	99
4	特色ある教育活動・取組	26	第1	教育委員会関係	100
5	情報教育	27	1	歴代教育委員会委員	100
6	国際理解教育	30	2	歴代教育委員会委員長	102
7	特別支援教育	31	3	歴代教育長	103
8	教職員の研修	32	第2	学校関係	104
9	教育委員会特別委員会	39	1	市内学校数	104
10	学校評価(園・学校 経営評価)	41	2	進路別卒業者数の推移	104
11	開かれた学校づくり	42	3	児童・生徒定期健康診断	106
12	いじめ・不登校対策	44	4	学校事故	108
13	危機管理対策	46	5	学校保健	110
14	就学・奨学制度	49	6	学校施設	111
15	全市的行事	51	7	市立小学校概要	112
16	教育関係表彰	54	8	市立中学校概要	116
17	総合学習センター	55	9	児童生徒数一覧	118
18	教育相談センター	58	10	市立以外の学校等	120
19	学校給食	60	第3	体育施設	122
III	生涯学習	63	1	市内体育施設	122
第1	社会教育	64	2	利用状況	124
1	生涯学習	64			

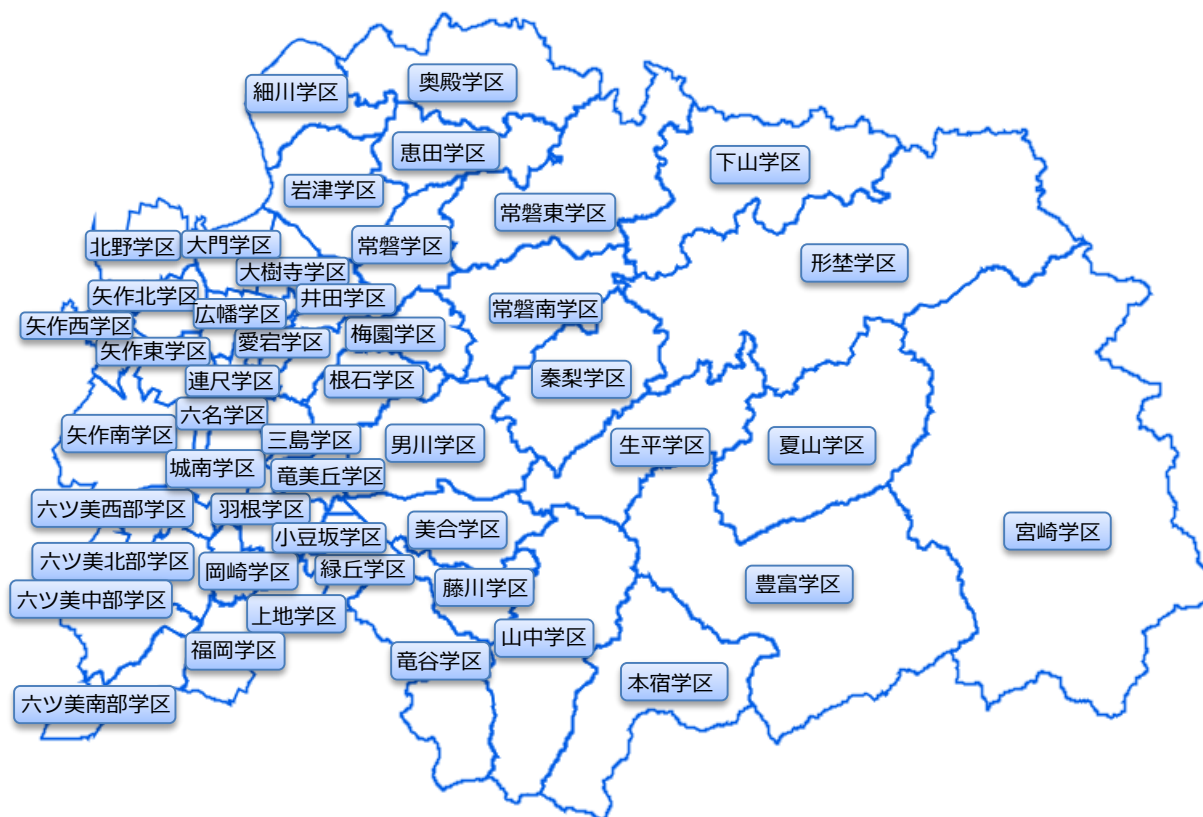
I 総 説

第 1 . 市勢の概要

第 2 . 教育委員会

第 3 . 教育行財政

第1 市勢の概要



○市制施行 大正5年7月1日

○市役所の位置 岡崎市十王町二丁目9番地

○親善都市 沖縄県石垣市 昭和44年2月19日提携
広島県福山市 昭和46年11月9日提携

○姉妹都市 スウェーデン・ウッデバラ市 昭和43年9月17日提携
米国・ニューポートビーチ市 昭和59年11月27日提携

○友好都市 中国・呼和浩特市 昭和62年8月10日提携

○ゆかりのまち 長野県佐久市 神奈川県茅ヶ崎市 岐阜県関ヶ原町
(昭和58年7月1日提携)

○観光交流都市 石川県金沢市 平成19年10月18日提携

○市章

岡崎市の市章は、外まわりに竜の爪が宝珠をつかんだ形を配し、その中は岡崎の「岡」の漢字を図案化したもので、岡崎城の故事を取り入れてこの形になったとされている。



○市の花 ふじ（昭和45年6月2日選定）

岡崎公園の西南部、菅生川を望む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名である。昭和38年には市の天然記念物に指定。かつて城の入口付近にもあったものを今場所に移したもので、古くから五万石藤の名で市民に親しまれている。



○市の鳥 ハクセキレイ（昭和50年3月27日選定）

生活圏が主に水辺で清流のまち岡崎のイメージに合い、矢作川や乙川などの水辺でよく姿を見ることができることから選ばれた。



○市の木 みかわくろまつ（昭和46年12月21日選定）

市民の投票によって決定しました。西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多いことから、岡崎で見られるものを「みかわくろまつ」と称賛してつけられた。



○市歌

岡崎市歌		
1	2	3
雲にかがやく 竜城の 青葉の嵐 仰ぎ見よ 国に築きし 先傑の 勲は高し この力 奮えよ我等 後永く 堅実の地歩 日に継がん 岡崎これや 我が光 岡崎これや 我が郷土	名にしゆたけき 天恵の 矢作の流 まさに見よ 土は肥えたり 西三河 眺は広し この平野 奮えよ我等 明らけく 営々の業 世に布かん 岡崎これや 我が光 岡崎これや 我が郷土	煙にぎわう 新興の 時代の勢 ここに見よ 音にきこゆる 産業の 誉は高し この栄 奮えよ我等 眉わかく 躍進の都市 いまどよむ 岡崎これや 我が光 岡崎これや 我が郷土
北原白秋 作詞 山田耕筈 作曲		

I 総 説

第1 市勢の概要

1 隣接町村合併沿革

年 月 日	編 入 町 村	編入面積	総面積
明治 22 年 10 月 1 日	町制施行 (30 町村合併)	4.07km ²	4.07km ²
明治 35 年 9 月 23 日	男川村の一部 (大字欠) 合併	1.45km ²	5.52km ²
明治 39 年 5 月 1 日	三島村、乙見村の一部 (大字稲熊、大字小呂) 合併	9.87km ²	15.39km ²
大正 3 年 10 月 1 日	広幡町合併	4.29km ²	19.68km ²
大正 5 年 7 月 1 日	市制施行		
昭和 3 年 9 月 1 日	岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部 (大字箱柳) 合併	31.16km ²	50.84km ²
昭和 30 年 2 月 1 日	岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村合併	139.31km ²	190.15km ²
昭和 30 年 4 月 1 日	矢作町合併	22.70km ²	212.85km ²
昭和 35 年 1 月 1 日	旧矢作町の一部 (河野村、宇頭茶屋町、尾崎町、柿崎町、橋目町の一部) 安城市へ編入	△3.12km ²	209.73km ²
昭和 37 年 10 月 15 日	六ツ美町合併	17.32km ²	227.05km ²
平成元年 11 月 10 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		226.97km ²
平成 18 年 1 月 1 日	額田町合併	160.27km ²	387.24km ²

2 人口及び世帯数の推移

(各年 4 月 1 日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数	備 考
大正 5 年	34,895 人	16,485 人	18,410 人	7,687 世帯	7 月市制施行
昭和 3 年	51,700 人	25,292 人	26,408 人	11,825 世帯	9 月岡崎村他 3 村合併
10	71,623 人	34,196 人	37,427 人	15,961 世帯	
20	97,686 人	48,105 人	49,581 人	20,507 世帯	
30	143,575 人	68,812 人	74,763 人	28,634 世帯	2 月岩津町他 7 町合併、4 月矢作町合併
35	165,453 人	79,560 人	85,893 人	34,566 世帯	1 月安城市に一部境界変更
37	172,069 人	83,557 人	88,512 人	36,998 世帯	10 月六ツ美町合併
40	193,559 人	94,475 人	99,084 人	43,075 世帯	
50	231,083 人	114,186 人	116,897 人	67,279 世帯	
60	281,914 人	139,614 人	142,300 人	83,656 世帯	
平成元年	299,628 人	149,115 人	150,513 人	92,504 世帯	
10	331,779 人	166,249 人	165,530 人	113,883 世帯	
15	348,049 人	174,949 人	173,100 人	126,753 世帯	4 月中核市に移行
16	351,467 人	176,792 人	174,675 人	129,739 世帯	
17	355,359 人	178,839 人	176,520 人	133,212 世帯	
18	367,850 人	185,452 人	182,398 人	138,706 世帯	1 月額田町合併
19	371,413 人	187,548 人	183,865 人	141,815 世帯	
20	375,067 人	189,605 人	185,462 人	145,040 世帯	
21	376,220 人	190,067 人	186,153 人	146,402 世帯	
22	376,120 人	189,667 人	186,453 人	146,941 世帯	
23	376,469 人	189,787 人	186,682 人	148,074 世帯	
24	378,217 人	190,834 人	187,383 人	149,932 世帯	
25	378,249 人	190,879 人	187,370 人	149,060 世帯	
26	379,264 人	191,515 人	187,749 人	150,968 世帯	
27	380,764 人	192,372 人	188,392 人	152,849 世帯	

第2 教育委員会

1 教育委員



職 氏	名	委 員 長
		小 出 義 信
委員長就任年月日		平成 26 年 10 月 1 日
委員就任年月日		平成 23 年 10 月 1 日



職 氏	名	委員長職務代理者
		福 應 謙 一
委員長職務代理者就任年月日		平成 26 年 10 月 1 日
委員就任年月日		平成 25 年 10 月 1 日



職 氏	名	委 員
		櫻 井 敬 子
委員就任年月日		平成 20 年 11 月 17 日



職 氏	名	委 員
		土 屋 武 志
委員就任年月日		平成 20 年 11 月 17 日



職 氏	名	委 員・教 育 長
		高 橋 淳
委員就任年月日		平成 24 年 11 月 17 日

2 平成 26 年度教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
平成 26 年 4 月 24 日 (平成 26 年第 4 回)	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について
平成 26 年 5 月 22 日 (第 5 回)	1 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 2 教科用図書採択地区について 3 岡崎市学校給食運営委員会委員の任命について
平成 26 年 6 月 26 日 (第 6 回)	1 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて 2 一般財団法人岡崎市学校給食協会の経営状況について 3 岡崎市学校適正規模検討委員会委員の委嘱及び辞任について 4 岡崎市社会教育委員の委嘱及び辞任について 5 岡崎市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について 6 岡崎市美術博物館協議会委員の委嘱及び辞任について
平成 26 年 7 月 24 日 (第 7 回)	1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 教科用図書の採択について
平成 26 年 8 月 21 日 (第 8 回)	1 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 2 工事請負の契約について
平成 26 年 9 月 26 日 (第 9 回)	1 岡崎市立学校管理規則の一部改正について 2 市指定文化財の解除について
平成 26 年 10 月 1 日 (第 10 回)	1 岡崎市教育委員会委員長選挙について 2 岡崎市教育委員会委員長職務代理者の指定について
平成 26 年 10 月 23 日 (第 11 回)	1 請願書の取扱いについて 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
平成 26 年 11 月 19 日 (第 12 回)	1 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 2 岡崎市立小中学校におけるアレルギー対応検討委員会委員の委嘱について 3 岡崎市立中央図書館の特別整理期間について
平成 26 年 12 月 18 日 (第 13 回)	1 平成 27 年度教職員定期人事異動方針について 2 平成 27 年度小中学校入学式等儀式の実施について
平成 27 年 1 月 22 日 (平成 27 年第 1 回)	1 平成 27 年岡崎市成人式について
平成 27 年 2 月 12 日 (第 2 回)	1 教育に関する事務の点検・評価について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 3 校長等の定期人事異動の内申について

I 総 説

第 2 教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
平成 27 年 3 月 26 日 (第 3 回)	1 学校における食物アレルギー対応の手引きについて 2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について 3 教育委員会事務局及び教育機関職員の定期人事異動について



〈教育委員会会議〉



第3 教育行財政

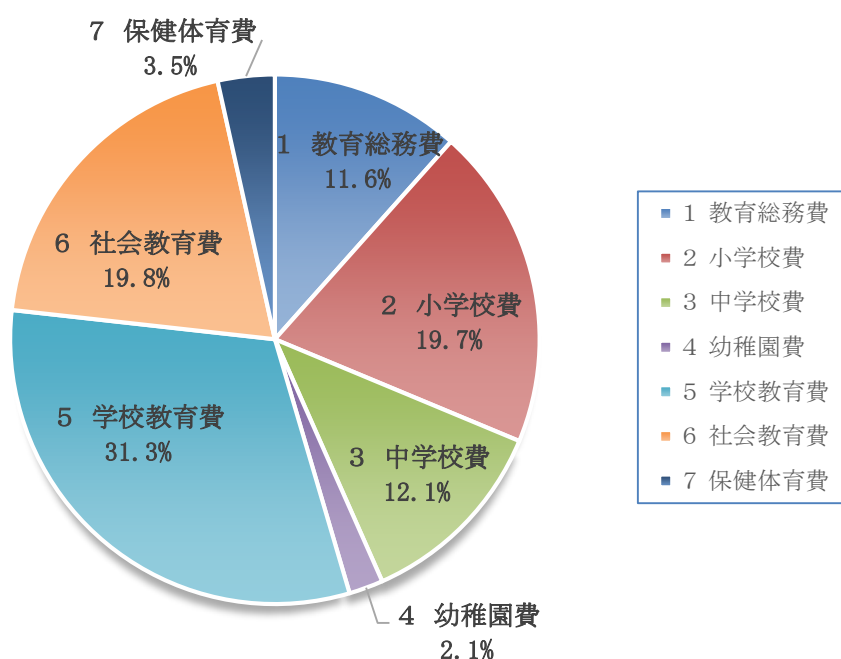
1 平成27年度教育費予算

(千円)

	27年度	26年度	増減	対前年比
1 教育総務費	1,662,971	1,491,727	171,244	111.5%
1 教育委員会費	3,087	3,193	-106	96.7%
2 事務局費	833,652	836,330	-2,678	99.7%
3 私立学校振興費	826,232	652,204	174,028	126.7%
2 小学校費	2,672,539	2,318,171	354,368	115.3%
1 学校管理費	1,842,837	2,116,205	-273,368	87.1%
2 教育振興費	216,117	172,875	43,242	125.0%
3 学校建設費	613,585	29,091	584,494	2109.2%
3 中学校費	2,220,204	1,348,991	871,213	164.6%
1 学校管理費	1,748,478	1,033,633	714,845	169.2%
2 教育振興費	167,146	154,381	12,765	108.3%
3 学校建設費	230,708	105,076	125,632	219.6%
4 寄宿舎管理費	73,872	55,901	17,971	132.1%
4 幼稚園費	269,264	245,093	24,171	109.9%
1 幼稚園費	269,264	245,093	24,171	109.9%
5 学校教育費	5,923,523	4,443,907	1,479,616	133.3%
1 指導研修費	377,353	330,808	46,545	114.1%
2 学校保健費	230,189	231,212	-1,023	99.6%
3 学校体育費	43,949	40,826	3,123	107.6%
4 学校給食センター費	2,806,804	2,949,497	-142,693	95.2%
5 教育研究費	253,110	178,476	74,634	141.8%
6 学校給食センター建設費	2,212,118	713,088	1,499,030	310.2%
6 社会教育費	2,637,451	2,243,247	394,204	117.6%
1 社会教育総務費	23,204	20,946	2,258	110.8%
2 青少年費	17,549	18,177	-628	96.5%
3 少年愛護センター費	8,251	8,430	-179	97.9%
4 文化振興費	57,655	65,641	-7,986	87.8%
5 文化財保護費	187,621	115,587	72,034	162.3%
6 図書館費	458,840	476,711	-17,871	96.3%
7 美術館費	62,752	65,498	-2,746	95.8%
8 美術博物館費	750,925	312,793	438,132	240.1%
9 視聴覚ライブラリー費	53,810	51,902	1,908	103.7%
10 市民センター費	239,628	220,087	19,541	108.9%
11 少年自然の家費	67,968	73,390	-5,422	92.6%
12 地域文化広場費	173,613	176,395	-2,782	98.4%
13 六名会館費	2,003	2,177	-174	92.0%
14 図書館交流プラザ費	533,632	635,513	-101,881	84.0%
7 保健体育費	448,453	685,331	-236,878	65.4%
1 社会体育費	294,504	354,428	-59,924	83.1%
2 体育館費	150,091	326,308	-176,217	46.0%
3 地区体育館費	3,858	4,595	-737	84.0%
合 計	15,834,405	12,776,467	3,057,938	123.9%

2 平成 25 年度教育費歳出決算

項	決 算 額 (千円)	構 成 比
1 教育総務費	1,277,943	11.6%
2 小学校費	2,171,729	19.7%
3 中学校費	1,331,906	12.1%
4 幼稚園費	230,541	2.1%
5 学校教育費	3,453,724	31.3%
6 社会教育費	2,179,248	19.8%
7 保健体育費	383,264	3.5%
合 計	11,028,355	100.0%



3 21 世紀教育ビジョン

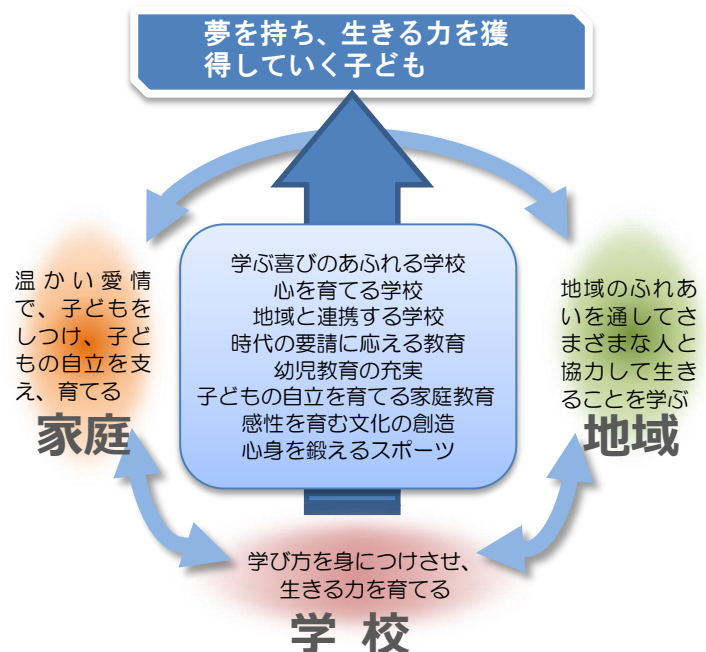
《生きる力を育てる教育》

21 世紀の社会は、マルチメディア、インターネット技術等、産業技術が急速に発展している。しかし産業の発展のみでは、人の幸せにつながらない。自然や人とのふれあいを大切にし、豊かな人間性を一人一人が身につけ、真に豊かな調和のある社会を目指した生き方を身につけていかねばならない。

こうした21 世紀を生きる力を育てていくためには、学校、家庭、地域が協力して、子ども達一人一人の個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、解決していく教育へ転換を図る必要がある。学校、家庭、地域との連携を図り、子ども達に生きる力を育むために、岡崎市では次の8 点に重点を置いて教育を推進している。

《重点項目》

- 学ぶ喜びのあふれる学校
- 心を育てる学校
- 地域と連携する学校
- 時代の要請に応える教育
- 幼児教育の充実
- 子どもの自立を育てる家庭教育
- 感性を育む文化の創造
- 心身を鍛えるスポーツ



《21 世紀教育ビジョン推進計画》

岡崎市教育委員会が3 年間で取り組む施策を取りまとめたもので、市民一人一人の生涯にわたる学習、スポーツ活動の推進を図るとともに、未来を担う子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる学校で生きる力を育むことができるように展開する施策を体系化した計画である。

《基本方針》

- I 生きがいと活力あふれる生涯学習の推進
- II 生きる力を育む学校教育の推進
- III 子育てのネットワーク化の推進

4 行政組織図

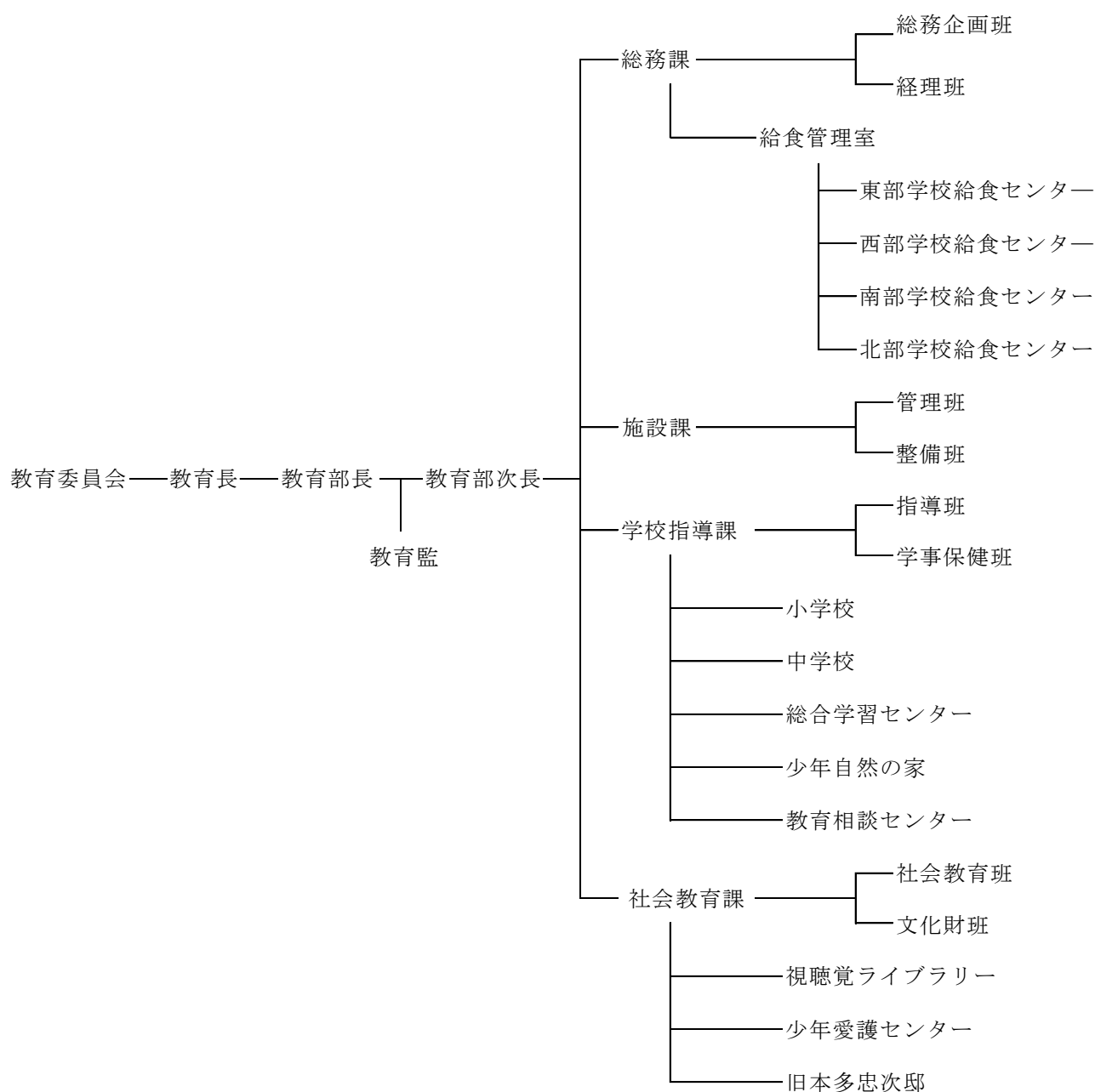
(職員の数) 平成 27 年 4 月 1 日現在

教 育 長	1 人
事 務 局	71 人
教育機関	55 人

127 人

(派遣指導主事を含む)

(嘱託職員、臨時職員等は除く)



5 職員設置状況

(平成27年4月1日現在)

区 分	行 政 職 員				技能業務 職員	合 計
	部長等	課長等	事務職員 技術職員	指導主事		
事 務 局	2					2
総 務 課		1	9		2	12
給食管理室		1	4			5
施 設 課		1	10		11	22
学校指導課		1	5	13		19
社会教育課		1	10			11
小・中学校					42	42
学校給食センター		1	1			2
総合学習センター		1		1		2
教育相談センター		1		2		3
少年自然の家			1		2	3
視聴覚ライブラリー			1	1	1	3
合 計	2	8	41	17	58	126

※ 教育長を除く

6 事務局・教育機関の事務分掌

■事務局

課 名 等	事 務 分 掌
総 務 課	(1) 事務局内の総合調整に関すること。 (2) 教育委員会の会議の庶務を処理すること。 (3) 教育委員会規則その他公表を要する規程を公布すること。 (4) 組織を計画すること。 (5) 文書を收受し、発送し、及び完結文書を整理保存すること。 (6) 公印を管守すること。 (7) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰をすること。 (8) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件を決定すること。 (9) 公務災害補償の事務を処理すること。 (10) 奨学資金に関する事務を処理すること。 (11) 教育行政に関する相談に関すること。 (12) 予算を見積ること。 (13) 予算の執行計画その他予算の執行管理をすること。 (14) 学校（市立の小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設の設置、変更及び廃止の手続をすること。 (15) 学校災害に係る補償等の事務を処理すること。 (16) 西三河地方教育事務協議会と連絡すること。 (17) 他の課の所管に属さない事務を処理すること。
給食管理室	(1) 学校給食について指導し、及び助言を与えること。 (2) 学校給食センターの整備を計画すること。 (3) 学校給食運営委員会の庶務を計画すること。 (4) 学校給食センターと連絡すること。
施 設 課	(1) 学校その他教育機関の施設の用に供する土地の取得に関すること。 (2) 学校の施設の保守管理及び修繕に関すること。 (3) 学校の用に供する教育財産（運動場の夜間照明設備を除く。）の目的外使用を許可すること。 (4) 学校の施設及び設備の整備を計画し、及び工事を施行すること。 (5) 学校の施設及び設備に関する国庫負担金及び県費補助金に関する事務を処理すること。 (6) 教育機関の施設の整備等に関する技術的調整をすること。

課 名 等	事 務 分 掌
学校指導課	(1) 学校教育について指導し、及び助言を与えること。 (2) 県費負担教職員の人事及び給与について内申すること。 (3) 県費負担教職員の服務を監督し、及び勤務成績の評定に係る事務を処理すること。 (4) 教科書その他教材の取扱いに関する事務を処理すること。 (5) 県費負担教職員の県外旅行に関する事務を処理すること。 (6) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学の手続をすること。 (7) 通学区域を設定し、廃止し、及び変更すること。 (8) 就学援助に係る事務を処理すること。 (9) 私学振興に関する事務を処理すること。 (10) 学校保健について指導し、及び助言を与えること。 (11) 学校の環境衛生に関する事務を処理すること。 (12) 岡崎市立学校衛生委員会の庶務を処理すること。 (13) 就学児童の健康診断に係る事務を処理すること。 (14) 学校医等に関すること。 (15) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る事務を処理すること。 (16) 学校、総合学習センター、岡崎市少年自然の家及び岡崎市教育相談センターと連絡すること。
社会教育課	(1) 社会教育に関する事業を計画し、及び実施すること。 (2) 社会教育に係る指導者を養成すること。 (3) 青少年に関する事務を処理すること。 (4) 文化財の保護及び活用に関すること。 (5) 文化財の調査及び研究に関すること。 (6) 文化財に関する講習会、講演会その他の催しを主催すること。 (7) 岡崎市視聴覚ライブラリー、岡崎少年愛護センター及び岡崎市旧本多忠次邸と連絡すること。 (8) 岡崎市社会教育審議会、岡崎市少年愛護センター運営委員会及び岡崎市文化財保護審議会の庶務を処理すること。

■主な教育機関

課 名 等	事 務 分 掌
学校給食センター	(1) 小学校及び中学校の児童及び生徒に対し学校給食を実施する事業を行う。 (2) 幼稚園の幼児に対し、給食を実施する事業を行うことができる。
総合学習センター	(1) 教育に関する専門的及び技術的な事項の調査研究を行うこと。 (2) 教育関係職員の研修を実施すること。 (3) 教育に関する情報及び資料の収集及び提供に関すること。 (4) 地域住民等の生涯学習活動のために施設を利用に供すること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、総合学習センターの事業として教育委員会が適当と認めるものを実施すること。
少年自然の家	(1) 少年の自然探究その他自然に親しむ諸活動の指導及び助言をすること。 (2) 少年の集団宿泊訓練及び助言をすること。 (3) 少年団体の指導者の養成及びその資質の向上のため、講習会、研究会等を開催すること。 (4) 前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の設置の目的を達成すること。
教育相談センター	(1) 教育相談を行うこと。 (2) 教育相談に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供を行うこと。 (3) 不登校の児童及び生徒に対する適応指導教室を実施すること。
視聴覚ライブラリー	(1) 視聴覚教育に関する器材及び資料を収集し、及び利用に供すること。 (2) 視聴覚教育に関する講習会、研究会等を開催すること。 (3) 視聴覚教育の向上及び普及に関し指導すること。 (4) 前 3 号に掲げるもののほか、視聴覚ライブラリーの設置の目的を達成すること。
旧本多忠次邸	(1) 旧本多忠次邸に関する資料を展示すること。 (2) 文化財を通じた歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。 (3) 文化財を通じた歴史及び文化に関する資料の展示のために施設を利用に供すること。 (4) 前 3 号に掲げるもののほか、旧本多忠次邸の事業として教育委員会が適当と認める事業を実施すること。

7 事務の補助執行

■市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
教育委員会の事務を補助する職員及び教育委員会の管理に属する機関の職員	(1) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の見積りを行うこと。 (2) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の執行計画、流用、充用、繰越しその他予算の執行管理を行うこと。 (3) 教育委員会の所掌に係る事項に関する歳入の徴収、減免及び還付を行うこと。 (4) 教育委員会の所掌に係る事項に関する支出負担行為の手続を行うこと。 (5) 教育委員会の所掌に係る事項に関して岡崎市決裁規程(昭和56年岡崎市訓第9号)に定めるところにより調定並びに支出負担行為及びこれに伴う支出命令を行うこと。 (6) 岡崎市奨学資金条例(平成13年岡崎市条例第43号)を実施すること。 (7) 教育委員会の所掌に係る事項に関する教育財産の取得(移築、改築、移設、改設、修繕及び模様替えを含む。)の手続を行うこと。

■教育委員会が市長部局の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
市民生活部の市民課及び支所の職員	学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、就学すべき小学校又は中学校を指定すること。
市民生活部の市民スポーツ課の職員	(1) スポーツに関すること(学校における体育に関するものを除く。) (2) 学校体育施設のスポーツ開放事業に関すること。
体育館の職員	体育館の管理及び運営に関すること。
文化芸術部の職員	文化に関すること(文化財の保護に関するものを除く。)
文化芸術部の文化活動推進課及び市民センターの職員	市民センターの管理及び運営に関すること。
岡崎市立中央図書館及び岡崎市立額田図書館の職員	(1) 図書資料を収集し、保存し、閲覧させ、及び貸し出すこと。 (2) 資料展示等を企画し、及び運営すること。 (3) 地域図書室と連絡し、及び運営を支援すること。 (4) 図書館運営に関し必要な事項を処理すること。

I 総 説

第 3 教育行財政

補助執行させる職員	補助執行させる事務
岡崎市美術博物館及び岡崎市美術館の職員	(1) 施設を管理し、及び運営すること。 (2) 美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び利用に供すること。 (3) 美術に関する作品その他の資料の調査研究を行うこと。 (4) 美術に関する展示会、講演会、講習会、研究会等を企画すること。
こども部の保育課の職員	(1) 市立幼稚園の管理に関すること。 (2) 市立幼稚園の施設及び設備の整備に関すること。 (3) 市立幼稚園の入園及び退園に関すること。

Ⅱ 学校教育

1 学校教育の視点

園・学校教育に求められているものは、幼児・児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には、教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならない。

各園・学校においては、基礎的、基本的な内容を重視し、個に応じた指導を充実するなかで、公共の精神を尊び、幼児・児童・生徒の個性を伸ばす教育を展開することが大切である。そのために、園・学校や地域の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成して、子供が自他を敬愛し、喜んで通うことのできる、安全で魅力ある園・学校づくりを目指す。「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全園・全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と園・学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

指導の重点

- 学ぶ楽しさを実感し、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

2 平成 27 年度研究発表会・授業公開

月日	曜	学校名	領域等	研究主題	委嘱等
10/7	水	男川小学校	E S D	E S D の視点に立つ教科学習の展開 ー相手意識をもって関わり合い、思考・判断・表現できる子供の育成ー	岡崎市
10/14	水	六ツ美西部小学校	健康教育	自他を大切にし、心と体の健康に向け、主体的に生きる子の育成	岡崎市
10/20	火	葵中学校	I C T	主体的・協働的な学習を軸にした思考力・判断力・表現力の育成 ー生徒が学び合い・磨き合う学習を創造する I C T 活用方法の探究ー	岡崎市 2 年次
10/30	金	本宿小学校	英語活動	生きる力を育む小学校英語の創造 2015 ー英語が話せる本宿っ子をめざしてー	自主
11/11	水	矢作中学校	全教科・領域	主体的に学び、向上心あふれる生徒の育成 ー「追究する対象」、「自分」、「他者」とのかかわりを視点としてー	岡崎市
11/18	水	竜海中学校	全教科・領域	「わかる学習指導」第 1 1 次研究・1 年次チャレンジ 竜海式 A c t i v e Learning ーコミュニケーションを取り入れた教科学習を中心にー	自主
2/10	水	連尺小学校	算数	E S D の視点に立ち、算数を楽しむ子供を育む岡崎・連尺教育ーコミュニケーション能力を確かな思考力・実践力へー	自主

3 新たな教育への挑戦

(1) 英語教育の充実

小学校において、文部科学省より教育課程特例校の指定を受け、1年生から6年生までの英語活動の時間（週一こま）を新設した。毎日10分間、ネイティブスピーカーの英語に触れることができるように、英語ビデオ教材の視聴を行う。また、特別委員会「英語が話せるおかざきっ子研究委員会」を設置し、小学校1年生から中学校3年生までの9年間の英語指導カリキュラムと中学生の副教材「Our City OKAZAKI」の効果的な活用方法を研究する。さらに、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めるために、ALTとの協同授業を、中学校では「GCT（グローバルコミュニケーションタイム）」として月二回、小学校では学校の実態に応じて週に一回から月に一回程度、会話を中心とした英語を学べる環境をつくる。小学校では、地域の英語が堪能な方を、小学校英語支援員として派遣し、授業の充実を図る。

(2) 環境教育の推進

岡崎市では、平成22年度に「岡崎市環境学習プログラム」を作成し、小中学校すべての学年において、環境教育に系統的に取り組んでいる。これは、全国初の試みである。

近年、環境問題は大きくクローズアップされている。21世紀は環境の世紀とも言われる。私たちは、この問題を解決し、かけがえのない地球環境を守り、保全し、未来に引き継いでいくことが求められている。次代を担う子供たちが環境問題を十分に理解し、解決する能力を養うことは大変重要になってきている。

そこで、市独自の環境学習プログラムに基づいて実践する中で、環境教育の目指す人間像「人間と環境のかかわりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成すること」に迫ろうと考えた。プログラムに合わせたワークシートも市独自に開発し、実践を進める。本市の児童・生徒が発信源となって、共生社会が築かれていくことを願っている。

(3) 岡崎の心の醸成

岡崎市では、平成22年度より「岡崎の心の醸成」につながる学習を進めている。岡崎にかかわる人・もの・ことを教材や題材として取り上げた学習をすることにより、岡崎についての理解が深まる。そして、郷土岡崎への愛着や誇りが生まれてくる。たとえば、岡崎には、徳川家康、本多光太郎、木村資生といった偉人がいる。こうした人たちの業績や生き方を学び、そこから得られた思いを子供たちが自分の生活や生き方に生かしていけるようにする。子供たちのこの思いを「岡崎の心」とし、その心を醸成する学習を取り入れている。

岡崎の心の醸成をめざす学習の内容

■国語科

他教科・領域での郷土学習を生かして書写作品を制作する。作品を制作することを通して、心が養われる。

＜作品例＞

- ・本多光太郎博士のことを学んだ後に、「つとめてやむな」と書く。
- ・家康公の生き方を学んだ後に、遺訓の気に入った部分を書く。
- ・故郷を詠んだ自作の俳句を短冊に書く。
- ・「夢 ふくらませ」の学校独自の歌詞を作って書く。

■社会科

郷土読本「おかざき」（小3・4年）、「おかざき」別冊（小6年）、「岡崎」（中1～3年）を活用し、郷土に対する理解と愛情を深め、社会的な見方や考え方を養う。

- ・小学校3年 郷土読本巻頭に掲載された、徳川家康遺訓の意味を理解し、親しみをもつ。
- ・小学校4年 徳川家康の生い立ち、学区とのつながり、家康の願いについて学び家康と岡崎市との深いかかわりをつかむ。
- ・小学校6年 関ヶ原の戦い以前の家康の歩みと、それを支えた家臣団について学び、家康の業績や残された言葉について考える。
- ・中学校 徳川家康、志賀重昂、石田茂作、本多光太郎など、岡崎と関わりのある人物に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する。

■算数・数学

「岡崎の心の醸成」につながる授業のアイデアを、算数・数学部編集・発行の「アイデア集（第29集）」に「岡崎の心の醸成を育む教材」として掲載している。授業の教材として取り上げることで郷土岡崎への関心を高めることをねらいとする。

- ・小学校1年「家康すごろくで遊んで数の並び方を理解しよう」
- ・小学校2年「『おかざきめぐり』で時刻と時間を得意になろう」
- ・小学校3年「岡崎市のいろいろな数を知ろう」
- ・小学校4年「岡崎市、愛知県、日本の人口から、一億を超える数について調べよう」
- ・小学校5年「岡崎市の学区の人口密度を調べよう」
- ・小学校6年「岡崎城の高さを調べよう」
- ・中学校1年「岡崎市内にいる先生を見つけよう」
- ・中学校2年「縮図を使用して滝山寺の屋根までの高さを求めよう」
- ・中学校3年「岡崎市の偉人が作り上げた算額の問題に挑もう」

Ⅱ 学校教育

■理科

木村資生博士のDVDの視聴をとおして、努力することの大切さと科学のおもしろさを学ぶ。

- ・小学校6年「生物のくらしと自然環境」「生命の誕生」
人間を含めた生物の生活がまわりの自然環境と密接に関わっていることを学ぶ。生物が多様な自然環境と適応して進化していった事例を木村資生博士のアニメを視聴することで学ぶ。
- ・中学校2年「生物の変遷と進化」
- ・中学校3年「細胞と生物のふえ方」
生物の進化に対する興味・関心を高める発展的内容として木村資生博士の「分子進化中立説」を学ぶ。ダーウィンと肩を並べるほどの偉業を成し遂げた科学者が、岡崎から生まれたことを紹介する。

■音楽科

授業をはじめ、式典や行事などで「おかざきの心の歌」を歌うことをとおして、岡崎の自然、歴史、産業、先人の生き方などにふれ、夢や憧れをもたせるとともにふるさと岡崎への誇りと愛着をもたせる。

- ・小学校「夢 ふくらませ」
小学生が歌えるように親しみのある旋律と日本の代表的な文学である俳句や短歌の伝統的な様式を踏まえた七五調による歌詞に、岡崎の自然、偉人、生活、伝承などが詠われている。歌うことで岡崎のひと・もの・ことを理解し、岡崎への愛着や誇りといった思いをもたせる。
- ・中学校「夢 受け継いで」
現代的な旋律と今を生きる子供と偉人の思いを重ね歌唱できる混声三部合唱曲。自分を振り返り、偉人の生き方へ思いをめぐらし、未来への思いをふくらませる。
- ・小中学校「夢 おどる」
小学校ではリズム体操の曲として、中学校では体育大会での集団演技の種目の曲として扱い、身体表現をとおして岡崎の心を表現する。

■図工・美術科

岡崎に伝わる伝統的な美・技法・素材・話・人・建物・自然・行事などを扱った表現や鑑賞を通して実践する。小学校中学年、小学校高学年、中学校のそれぞれの段階で年間に少なくとも一題材は取組むようにする。

■保健体育科

児童生徒が岡崎の心をリズム体操やダンスで表現を行う。

- ・小学校「リズム体操ー夢 おどるー」
- ・中学校「岡崎の舞ー夢 おどるー」
- ・共通「ヒップホップダンスー夢 おどるー」

■技術・家庭科

小学校ではみそ汁づくり、中学校では鍋づくりをとおして、食と健康の関係について学ぶ。

・小学校5年

徳川家康が食したとされる三つの根菜と五つの葉の野菜が入った「三根五菜汁」について調べ学習を行う。それをもとに、岡崎の赤みそを使って栄養価の高いみそ汁づくりを実習する。それぞれの家庭の好みや季節に合わせた素材を活用し、家庭での実践を図る。

・中学校

「三根五菜汁」で学んだ旬の地元野菜に加え、季節の魚介類を入れ、家康が食したとされる「家康鍋」を実施する。みそには技術分野で育てた矢作大豆を加工したものを使用し、地産地消についても学ぶ。



〈家庭科授業風景〉

■英語科

テキスト教材「Our City OKAZAKI」の活用

・中学校2年、3年

岡崎について書かれた英文を聞いたり読んだりする活動をとおして、郷土岡崎についての理解を深め、話したり書いたりして発信する力を養う。

・内容

- | | | | | |
|-------|--------|---------|------|------|
| ①りぶら | ②ジャズの街 | ③ビスタライン | ④東公園 | ⑤ホテル |
| ⑥徳川家康 | ⑦本多光太郎 | ⑧大樹寺 | ⑨岡崎城 | ⑩石工業 |
| ⑪八丁味噌 | ⑫花火 | | | |

■道徳

偉人の功績と生きざまに触れ、努力、思いやり、郷土愛などの大切さを学ぶ。

- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| ・徳川 家康 (人) | 小学校1年 | ・加藤 源重 (人) | 小学校2年 |
| ・本多光太郎 (人) | 小学校3年 | ・橋本増治郎 (人) | 小学校4年 |
| ・志賀 重昂 (人) | 小学校5年 | ・徳川 家康 (人) | 小学校6年 |
| ・石田 茂作 (人) | 中学校1年 | ・大給 亘 (人) | 中学校2年 |
| ・木村 資生 (人) | 中学校3年 | | |

4 特色ある教育活動・取組み

(1) 感性を育む心の教育

本事業は、芸術・文化活動の優れた作品などの鑑賞や体験活動を通して、資質と感性をはぐくみ、未来を担う子どもたちの健やかな成長を図ることを目的としている。

毎年、中学生には名古屋フィルハーモニーによるクラシックコンサートを、小学生には観劇会を実施している。

年度	演 目	公 演 団 体
19	ピーターパンとウェンディ	劇団ポプラ
20	アラジンと魔法のランプ	劇団かかし座
21	人間になりたかった猫	劇団四季
22	エルコスの祈り	劇団四季
23	はだかの王様	劇団四季
24	ガンバの大冒険	劇団四季
25	桃次郎の冒険	劇団四季
26	ふたりのロッテ	劇団四季
27	むかしむかしゾウがきた	劇団四季

(2) 教員補助者活用事業

本事業は、社会全体で学校を支え学校教育の一層の活性化を図ることを目的に、性別や教員免許の有無を問わず、生活経験が豊かで学校教育に理解ある社会人を教員補助者として臨時的に採用し活用するものである。学校の指導計画に基づき、少人数編成による学習指導や学級担任の補助、障がいのある児童・生徒への対応補助、理科の授業補助、学校図書館の運営補助、そして養護教諭の執務補助など、各学校が必要とする場面で教育活動が展開される。

(3) タブレット PC 活用推進事業

情報化の急速な発展等に伴い、情報通信技術を最大限活用した 21 世紀にふさわしい学びと学校が求められている。本事業は、全中学校に 20 台から 60 台のタブレット PC を整備し、数学科・理科・英語科において ICT を積極的に活用する。そして、情報通信技術の特長を最大限に生かすことで、一斉指導による学び（一斉学習）に加え、一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）、生徒同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）を生み出し、21 世紀を生きる岡崎の子供に「生きる力」を育むものである。

(4) スーパーサイエンススクール推進事業

本事業は、理科学習指導要領が求める科学館や博物館などの外部学術機関との連携を具現化したり、地域の科学的資産を効果的に活用したりすることで、理科授業の充実・向上を図るとともに、児童生徒の科学的リテラシーを向上させることがねらいである。平成 26 年度は、小学校 3 校、中学校 3 校を指定する。（小学校 3 校には、理科観察実験アシスタントを配置する）自然科学研究機構、特色ある理科教育を行っている高校、地元企業などとの連携を図った理科教育を実践する。

5 情報教育

岡崎市では、国際化・情報化が進む社会で求められる「生きる力」をつけることを目的とし、コンピュータの学校教育への導入を早くから推し進めてきている。

(1) 情報教育施設

平成 23 年の「教育の情報化ビジョン」において「21 世紀型学力」が打ち出されて 3 年が経過した。学力の中心は、知識や情報の集積量から、それらを活用し、課題解決へと結びつける資質・能力へと移行しようとしている。そんな中、平成 26 年 11 月の中央教育審議会「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」では、次のように述べられた。『何を教えるか』という知識の質や量の改善はもちろんのこと、『どのように学ぶか』という、学びの質や深まりを重視することが必要であり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブ・ラーニング）や、そのための指導の方法等を充実させていく必要がある。これは、知識の質や量を改善しつつ、思考を活性化させるための学習形態（アクティブ・ラーニング）の工夫と、そのための指導方法を充実させていく必要性を説いている。つまり、問題解決学習、体験学習、調査学習やグループ・ディスカッション、グループ・ワーク等の多様な学習形態による新たな学びの場を作り出すことで、子供たちに情報活用能力を身につけさせることが重要なのである。

文部科学省が示した「教育の情報化ビジョン」をもとに、「21 世紀にふさわしい学びと学校の創造」を目指し、今後も積極的に環境整備を進めていく。

【整備内容等】

- ① パソコン教室にパソコン 42 台（1 人に 1 台）配備と活用促進
- ② タブレットパソコンと電子黒板の整備とその利活用
- ③ 教職員用、校内 LAN 用パソコン整備と活用促進
- ④ 普通教室の大型ディスプレイおよびパソコン等の ICT 環境整備

(2) 教員のコンピュータ活用技能の向上

児童生徒を指導する教員のコンピュータ指導技能の向上を図るために、各種研修を各学校を中心に執り行っている。教員に対して実施される研修は、基礎研修とネットワーク管理者用研修の両面で実施するとともに、学校や岡崎教育ネットワークに導入しているソフトに関しても実施している。基礎研修は、役職者を含めた学校のすべての教員を対象に実施している。また、これらに加えて、各学校や教職員グループによる自主的な研修が盛んに行われている。

■平成 26 年度実施研修

ーパソコン基礎研修（学習情報主任者会と連携）ー

【研修時間】 6 時間程度

【目的】 導入しているハードとソフトの利用と指導法の理解

【人数】 40 人程度

【会場】 羽根小学校

Ⅱ 学校教育

－PC 室更新校・教職員 PC 更新校・タブレット PC 導入校、操作研修会－

【研修時間】 1 ～ 3 時間程度

【目的】 導入したハードとソフトの利用と指導法の理解

【人数】 1100 人程度

【対象】 PC 室更新校 18 校、教職員 PC 更新校 20 校、タブレット PC 導入校 20 校

－初任者パソコン研修－

【研修時間】 6 時間程度

【目的】 ICT の効果的活用方法と教材作成

【人数】 80 人程度

【会場】 羽根小学校、岡崎小学校、東海中学校

－各学校等の自主研修－

【研修回数】 60 回

【人数】 1,252 人

■ パソコン配備及びインターネット・校内 LAN 整備の現状

年度	パソコン配備		インターネット・校内 LAN 整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
9	パソコン教室に 11 台 配備完了			
10		パソコン教室に 42 台 配備完了		インターネット導入
11	井田小、藤川小のパソ コン教室に 22 台配備		インターネット導入	
13	パソコン教室に 42 台 配備（10 校）		校内 LAN 整備工事 （10 校）	
14	パソコン教室に 42 台 配備		校内 LAN 運用開始 （10 校）	
15		パソコン教室のパソ コン更新（18 校）		
16	パソコン教室に 42 台 配備（2 校）		校内 LAN 整備工事（3 校） 〃 運用開始（3 校）	
17			校内 LAN 整備工事（1 校） 〃 運用開始（2 校）	校内 LAN 整備工事（2 校） 〃 運用開始（3 校）
18	パソコン教室のパソコ ン更新（10 校）			校内 LAN 整備工事（3 校） 〃 運用開始（3 校） 教職員用パソコン運用開始 （8 校）
19	パソコン教室のパソコ ン更新		教職員のパソコン配備	校内 LAN 整備工事（4 校） 〃 運用開始（4 校） 教職員用パソコン運用開始 （1 校）

Ⅱ 学校教育

年度	パソコン配備		インターネット・校内 LAN 整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
20		パソコン教室のパソコン更新 (18 校)	校内 LAN 整備工事 (2 校) 〃 運用開始 (2 校) 教職員用パソコン運用開始 (13 校)	
21	パソコン教室のパソコン更新 (実施せず)	普通教室のパソコン整備	校内 LAN 整備工事 (8 校) 〃 運用開始 (8 校) 教職員用パソコン (20 校)	校内 LAN 整備工事 (1 校) 〃 運用開始 (1 校)
22	パソコン教室のパソコン更新 (8 校)		校内 LAN 整備工事 (11 校) 地デジ対応工事 (2 校) 教職員用パソコン更新 (2 校)	校内 LAN 整備工事 (4 校) 改築による整備 (1 校) 教職員用パソコン更新 (3 校)
23			地デジ対応工事 (1 校)	教職員用パソコン更新 (11 校)
24	パソコン教室のパソコン更新 (20 校)		地デジ対応工事 (1 校) 教職員用パソコン更新 (10 校)	地デジ対応工事 (6 校) 教職員用パソコン更新 (6 校)
25	パソコン教室のパソコン更新 (20 校)	翔南中パソコン教室設置	教職員用パソコン更新 (15 校)	タブレットパソコン導入 (3 校)
26		パソコン教室のパソコン更新 (18 校)	教職員用パソコン更新 (20 校)	タブレットパソコン導入 (20 校)

6 国際理解教育

(1) 中学生海外派遣事業

未来を担う児童生徒に夢と希望をもたせ、広い視野にたって郷土の発展を考え、国際親善・交流を深めている。昭和 55 年から、姉妹都市（アメリカ・ニューポートビーチ市、中学生 6 名派遣）と友好都市（中国・呼和浩特市、中学生 7 名派遣）との間で学校訪問、ホームステイ等を入れながら、相互訪問の形式をとり、実施してきた。

さらに、平成 16 年度より、この 2 つの事業に加えて、もう一つの姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市への訪問（中学生 6 名派遣）を始めた。

また、平成 18 年度より 3 年間に限って、旧額田町の交流事業として行ってきたマレーシア・クアラルンプール市への訪問（額田中学生 10 名派遣）を継続した。

これらの交流を通して異文化体験を深め、一層国際理解が深まることが期待される。

(2) 外国語指導助手招致事業

外国語指導助手（A L T）を市内の小中学校へ派遣し、英語教育、国際理解教育の推進に役立てている。平成 2 年夏より市独自で A L T を採用した。平成 25 年度より 20 名に増員をし、英語教育の一層の充実を図る。

(3) 小学校英語支援員派遣事業

小学校において効果的な英語活動の授業が実施できるように、英語が堪能で小学校英語に理解のある地域の人材を小学校英語支援員として派遣している。平成 22 年度より 18 名に増員し、英語活動の授業で A L T や学級担任と協同授業をしたり、教材作りの補助をしたりする。

(4) 日本語教育講師派遣事業

市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な外国籍の児童生徒を中心に、語学相談員を派遣し、担当教員と共に、日本語教育及び生活適応相談を行っている。現在、語学相談員 7 名（ポルトガル語 4 名、中国語 1 名、タガログ語 2 名）が、市内拠点校を巡回訪問している。その他、保護者との個人懇談会などに通訳が必要な場合にも随時対応している。

■ 国籍別児童生徒数

（平成 27 年 5 月 1 日現在）

国 籍	生 徒 数（人）	
	小 学 校	中 学 校
ブ ラ ジ ル	153	69
フ ィ リ ピ ン	85	35
中 国	42	19
そ の 他	28	18

7 特別支援教育

特別支援教育は、通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への支援部会と特別支援学級に在籍する子供への支援部会がある。そして、それらを統合し、外部機関との連携を図る特別支援教育連携協議会を平成 17 年 8 月に設置した。

その連携協議会は、就学前から、卒業後まで、何らかの支援を必要とする子供たちへの具体的な支援を検討し、福祉、労働、教育、行政の関係機関から代表者を募り、横の連携を図っている。校内支援委員会を立ち上げ、その運営の責任者として特別支援教育コーディネーターを設置している。関係機関との連携を図り、通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への具体的な支援策を検討、実践し、評価する。

特別支援学級の教育を担当する部会は、日常の教育内容を研究する部門と交流及び共同学習を推進する部門と就学、進路指導に関わる部門などを内容とする。

(1) 教育支援

ア 教育支援委員会・教育相談会

教育支援委員会は、医師、教師、発達障がいの専門家などで構成されている。障がいのある児童・生徒や就学対象児の行動観察や面接、医師の診断、教育相談会などを通して、様々な角度から子供にとって必要な教育的支援の内容及び適切な就学先について、総合的に調査・審議・判定を行っている。

イ 「そよかぜ相談室」

新入学児童の就学及び、通常の学級に在籍している子供に関して、不安や悩みを抱えている保護者を対象に、気軽に相談できる窓口「そよかぜ相談室」を開設している。悩みや不安の解消に効果を上げている。

(2) 中学校特別支援学級進路指導

ア 中学校特別支援学級進路指導部会

進路希望状況や進路希望先など様々な情報交換を行い、生徒の適切な進路先を決定する。

イ 施設見学会

生徒・保護者・担当教師が春日台職業訓練校への見学会に参加し、訓練内容や寮生活を直接見ることで進路選択の正しい情報を得る。

(3) 子どもと親の集いブロック交流会

昭和 58 年度から開催されてきた「子どもと親の集い運動会」に代わり、平成 15 年度より市内小中学校を 10 ブロックに分け、ブロック単位の「子どもと親の集いブロック交流会」を実施している。

平成 26 年度は 12 ブロックで、ゲーム大会、レクリエーション、運動会等、様々な内容の交流が行われ、子供も大人も一緒に楽しみ、親睦を深めた。



〈特別支援学級絵画作品展〉

■特別支援学級児童・生徒数

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

	知的障がい	自閉症 ・情緒障がい	病弱・身体虚弱 (含院内)	弱視	難聴	言語障 がい	肢体不 自由	計
小学校	155	168	3	2	3	1	3	335
中学校	89	85	1	0	2	0	0	177

Ⅱ 学校教育

8 教職員の研修

(1) 平成 27 年度初任者研修（校外研修）年間計画

※ 第 1 回、第 19 回（開・閉講式）は新規採用事務職員も参加

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
1	4 月 15 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 小ホール	基礎的素養 学校経営	〔開講式〕 ・挨拶 ・教員としての心構え、教育公務員の服務 ・E S D、岡崎の教育三本柱の意義と進め方
2	5 月 13 日	水	小学校初任者	総合学習センター	教科指導	・授業の進め方、評価について
					生徒指導	・いじめ・問題行動の理解と指導
			中学校初任者 新規採用養護教諭	市内各教育施設	基礎的素養 総合的な学習 生徒指導	・市内教育関連施設巡回 岡崎城、家康館、世界子ども美術博物館、 消防署、相談センター・ハートピア
自主 主	5 月 16 日	土	小学校初任者(自) 新規採用養護教諭(自)	中央総合公園	葵三大イベント～岡崎の教育 力・技・美の祭典～ 中学校総合体育大会開会式	
3	5 月 27 日	水	小学校初任者	市内各教育施設	基礎的素養 総合的な学習 生徒指導	・市内教育関連施設巡回 岡崎城、家康館、世界子ども美術博物館、 消防署、相談センター・ハートピア
			中学校初任者	総合学習センター	教科指導	・授業の進め方、評価について
					学級経営	・いじめ・問題行動の理解と指導
			新規採用養護教諭	総合学習センター	専門研修	・保健室経営の進め方
					専門研修	・救急処置の理論と実際
4	6 月 17 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター	教科指導	・教育研究の進め方(論文等のかき方) ・E S D、岡崎の教育三本
5	7 月 21 日 ～7 月 29 日 (1 日間)	火 ～ 水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	中央クリーンセン ター(リサイクル プラザ)	基礎的素養	社会奉仕体験 ・ごみ収集体験 ＊7/21～7/29 のうち 1 日間実施
6	7 月 21 日 ～7 月 29 日 (1 日間)	火 ～ 水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内保育園	基礎的素養	社会奉仕体験 ・保育園実習体験 ＊7/21～7/29 のうち 1 日間実施
7	7 月 30 日 7 月 31 日	木 金	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 他	教科指導	・授業の進め方、教材研究について
8	8 月 5 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内小中学校	基礎的素養	・情報モラル教育、視聴覚機器を用いた授業づ くり、動画編集やプレゼンテーションソフトを 利用した教材づくり
9	8 月 18 日	火	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	岡崎市 少年自然の家	特別活動	〔宿泊研修〕 クラフト、テント設営、トワリング練習、フ ァイヤー実習、カヌー指導法、水遊び、落ち 葉スキー、フィールドアスレチック、ウッド バーニング、雨天時プログラム実習、野外活 動における健康・安全指導
10	8 月 19 日	水				
11	8 月 20 日	木			特別活動	・部活指導
					道徳	・道徳指導
					基礎的素養	・救急処置法
				養護教諭専門研修	・健康観察と保健指導の進め方 ・学校保健計画と学校保健委員会	

Ⅱ 学校教育

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
12	9 月 2 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 市内各教育施設	教科指導	・実践研究発表と研究協議
13	10 月 7 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	男川小学校	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
14	10 月 14 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	六ツ美西部小学校	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
自主	10 月 24 日	土	小学校初任者(自) 中学校初任者(自) 新規採用養護教諭(自)	おかざき世界子ども 美術博物館	葵三大イベント～岡崎の教育 力・技・美の祭典～ 造形おかざきっ子展作品鑑賞	
15	11 月 11 日	水	小学校初任者 中学校初任者	矢作中学校	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
			新規採用養護教諭	総合学習センター	専門研修	・養護教諭が行う心身の健康相談
					専門研修	・学校環境衛生及び感染症
自主	11 月 14 日	土	小学校初任者(自) 中学校初任者(自) 新規採用養護教諭(自)	総合学習センター	葵三大イベント～岡崎の教育 力・技・美の祭典～ 小中学校連合音楽会岡崎のハーモニー鑑賞	
16	11 月 25 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター	基礎的素養	・教員の倫理向上(不祥事防止)
					教科指導	・特別支援教育の基本的な考え方
17	1 月 20 日	水	小学校初任者	市内小学校	道徳 (模範授業参観)	・小学校 道徳教育の進め方
			中学校初任者	市内中学校		・中学校 道徳教育の進め方
			新規採用養護教諭	総合学習センター	専門研修	・健康診断の効果的な進め方とその課題
					専門研修	・学校保健関係法規の理解
18	1 月 27 日	金	小学校初任者 新規採用養護教諭(小)	市内小中学校	教科指導	・小学校 初任者研究授業、授業分析
			中学校初任者 新規採用養護教諭(中)			・中学校 初任者研究授業、授業分析
19	2 月 17 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 小ホール等	基礎的素養	・体験発表「1年間を振り返って」 [閉講式] ・挨拶 ・初任者代表挨拶

Ⅱ 学校教育

(2) 平成 27 年度 10 年経験者研修（校外研修）年間計画

月日	曜	対象	時間	会場	領域	内容
5 月 20 日 ①	水	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	15:00	総合学習 センター	共通研修	・講義「教育の今日的課題」 「中堅教員としての役割」 「危機管理」
7 月 30・31 日 ②	木 ・ 金	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	8:50	総合学習 センター他	選択研修 Ⅰ	・授業力・教師力アップセミナー 【基礎編】での受講
8 月 5・6 日 ③	水 ・ 木	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	8:50	総合学習 センター他	教科指導 研修Ⅰ	・授業力・教師力アップセミナー 【応用編】での受講
8 月 7 日 ④	金	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	8:50	総合学習 センター他	選択研修 Ⅱ	・授業力・教師力アップセミナー 【応用編】での受講
夏季休業中 (2 日間) ⑤⑥		小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	終日	各施設	社会体験 研修	・市内の福祉施設や社会教育施設、企業での社会体験研修
6 月から 12 月 (1 日間) ⑦		小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	終日又は午後	異校種 各学校等	異校種 体験研修	・異校種の研究発表会に参加 ・研究協議会、分科会等に参加 ・生徒指導や教科指導に関する研修
8 月 20 日 ⑧	木	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	9:00	総合学習 センター	生徒指導 研修Ⅰ	・講義「いじめ・不登校児童生徒、発達障がい児への理解と対応」
9 月 2 日 ⑨	水	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	13:50	教育研究 大会会場	教科指導 研修Ⅱ	・実践研究発表と協議
2 月 3 日 ⑩	水	小中学校教諭 養護教諭 10 年経験者	15:00	総合学習 センター	生徒指導 研修Ⅱ	・生徒指導総括講話

(3) 授業力・教師力アップセミナー「基礎編」「応用編」

7月下旬を中心に、18の教科・領域で講習会を設け、参加者を募り実施する。授業研究を中心とした学習指導の基礎・基本を身につけるための研修を行い、教員の力量向上を図る。

■基礎編

(平成27年度 実施予定)

月日	教科・領域	会 場	内 容
7・30 (木)	国語（書写）	岡崎市民会館 (集会1号室)	硬筆・毛筆小筆指導の実技研修 国語科「書く」領域 学習指導法を学ぶ
7・30 (木)	社 会	天恩寺・万足平・宮崎茶栽培地域等 ぬかた会館	フィールドワーク及び講義「『額田』の地域素材 を生かした実践事例に学ぶ」
7・30 (木)	算数・数学	竜美丘会館（301号室）	講義・実習「算数・数学の授業向上」
7・31 (金)	理 科	愛宕小学校(理科室)	自然科学研究機構教授講話「脳は不思議がいっぱいⅢ」 2学期以降の教材を中心とした実験・実技の研修
7・31 (金)	生 活	総合学習センター (教育研究室2)	授業実践報告 講話「生活科で育む自分事の学び」
7・30 (木)	総合的な学習	総合学習センター (教育研究室2)	実践発表・学年別フリートーク・講話 総合的な学習の進むべき方向性
7・29 (水)	音 楽	浜松市楽器博物館	学芸員による楽器の説明、講話、館内見学 楽器演奏体験
7・31 (金)	図工・美術	おかざき世界子ども美術博物館 (視聴覚室)	講義「子供の発達に応じた指導のポイント」 実技講習「造形遊びの基本を、作りながら学ぶ」
7・31 (金)	保健体育	井田小学校 (体育館)	講義「新学習指導要領におけるボール運動の内容 および取扱い」 実技実習「ボール運動の実践」
7・30 (木)	家庭	小豆坂小学校（家庭科室）	実技研修「簡単・きれいな、わたしのエプロン」 「効率のよい調理実習」
7・30 (木)	技術・家庭 (技術分野)	上新石材店	岡崎と石材加工について 石材加工実習（石工小作品作成）
7・31 (金)	技術・家庭 (家庭科分野)	草木染工房「しかり」	藍の生染め実習 藍窯染め実習
7・31 (金)	英 語	南部市民センター分館 (体育集会室)	講座「GCT」の意義、実践「GCT」の実際、 討議「GCTにおけるJTEの役割」
7・31 (金)	道 徳	総合学習センター (教育研究室1)	道徳の模擬授業と協議 「道徳科」についての動向
7・30 (木)	特別支援教育	総合学習センター (小ホール)	講義「子供の見方、子供の理解」「子供を伸ばす 教師の目」、実習「教材紹介」
7・31 (金)	学習情報	新香山中学校 (パソコン室)	講座「情報モラル教育推進」 講座「タブレットPCを活用した協働的な学習」
7・31 (金)	学校図書館	岡崎市交流プラザりぶら (会議室302)	読書感想文の書き方 読書感想画の描き方
7・30 (木)	学校保健	南部市民センター分館 (体育集会室)	講義「児童生徒の実態から健康課題を捉えるため に」
7・30 (木)	生徒指導 (問題行動)	総合学習センター (教育研究室1)	講演「子どもたちへの接し方」 グループ研修「問題行動における保護者への対応」
7・31 (金)	生徒指導 (不登校)	岡崎市教育相談センター	講話「不登校児童生徒に対する効果的な対応」 実習「不登校児童・生徒・保護者に対する効果的 な言葉かけ、ロールプレイング等」

Ⅱ 学校教育

■応用編（岡崎市教員免許状更新講習）

（平成 27 年度実施予定）

番	講習名	会 場	内 容
①	小学校国語科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 2）	これまでの小学校国語科教育の課題を踏まえ、新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントを明らかにする。
②	中学校社会科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 3）	これまでの中学校社会科教育の課題を踏まえ、新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントを明らかにする。
③	小学校算数科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 1）	これまでの小学校算数科教育の課題を踏まえ、新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントを明らかにする。
④	中学校理科教育	総合学習センター 3 F （教材開発室 2）	中学校理科学習の内容や授業の基本的な進め方、実験・観察の要点を模擬授業や実習・協議会を通して探る。
⑤	小学校音楽科教育	総合学習センター 2 F （小ホール）	小学校音楽科教育の内容や授業の基本的な進め方を、実技を通してその要点を明らかにする。
⑥	小学校図画工作科教育	子ども美術博物館 （視聴覚室）	小学校学習指導要領に沿った図画工作教育の指導のポイントを明らかにする。
⑦	小学校体育科教育	根石小学校 （体育館・図書室）	小学校体育科の学習指導要領のポイントを踏まえて、発達段階に応じた指導内容を具体的な事例をもとに明確にする。
⑧	中学校技術科教育	新香山中学校 （パソコン室・木工室）	これまでの中学校技術科教育を中心に、その内容や傾向と新学習指導要領を基にした学習指導のポイントを明らかにする。
⑨	中学校英語科教育	総合学習センター 3 F （教材開発室 1）	中学校英語科の授業についてコミュニケーションを中心に活性化する方法を明らかにする。
⑩	健康教育	福岡中学校 （図書室）	子どもたちの心身の課題となっている要因を探り、よりよい解決方法について具体的に探る。
⑪	中学校国語科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 3）	新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントやよりよい指導方法、学力向上に向けた取組を明らかにする。
⑫	小学校社会科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 2）	新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントやよりよい解決方法、学力向上に向けた取組を明らかにする。
⑬	中学校数学科教育	総合学習センター 3 F （教材開発室 2）	全国学力・学習状況調査の結果から課題の要因を探り、新学習指導要領に照らし合わせた学習指導のポイントを明らかにする。
⑭	小学校理科教育	総合学習センター 2 F （教育研究室 1）	小学校理科学習の内容や授業の基本的な進め方、実験・観察の要点を模擬授業や実習・協議会を通して探る。
⑮	中学校音楽科教育	上地小学校 （図書室）	音楽教育の研究を進め、歌唱・器楽・創作・鑑賞について指導上の配慮や指導法の工夫について実践的に研修する。

番	講習名	会 場	内 容
①⑥	中学校美術科教育	教育相談センター 3 F (プレイルーム)	制作活動や鑑賞活動に対する生徒の意欲化を図るための工夫、よりよい指導方法や教材の工夫について研修を深める。
①⑦	中学校保健体育科教育	根石小学校 (体育館・図書室)	生涯運動に親しむ資質や能力の育成、健康の保持増進のための実践力や体力の向上を図る体育活動の進め方を明らかにする。
①⑧	小中学校家庭科教育	福岡小学校 (家庭科室・パソコン室・図書室)	家庭科教育の現状と課題から、小学校家庭科・中学校家庭分野の授業づくりの方法や教材研究の観点を検討する。
①⑨	小学校外国語活動	総合学習センター 3 F (教材開発室 1)	小学校外国語活動を中心に、小学校と中学校英語教育との連携などを含め、新たな英語教育の課題について議論をする。
②⑩	保健室と養護教諭 【養護教諭対象】	総合学習センター 2 F (教育研究室 4)	保健室の機能や養護教諭の専門性を十分に生かし、子供たちの健やかな育成と自他の命を大切に教育に向けた取組を明らかにする。
②⑪	幼児教育	総合学習センター 2 F (小ホール)	幼児教育の内容や傾向を分析し、幼児の心身発達に必要な知識・技能、今日的な課題となっている要因を探り、よりよい解決方法を明確にする。
②⑫	道德教育	総合学習センター 3 F (教材開発室 2)	道德の時間を核とする学校の道德教育について、具体的な事例を基に教師の理解と意欲を高める。
②⑬	特別活動・ 学級経営	総合学習センター 2 F (教育研究室 3)	学級活動を中心に生徒理解や生徒指導にかかわる、よりよい学級づくりの在り方を、具体的事例を基に研修する。
②⑭	生活科・ 総合的な学習	総合学習センター 2 F (教育研究室 1)	生活科における気付きを高める授業の在り方や総合的な学習の時間における内容や評価方法を明らかにする。
②⑮	情報教育	井田小学校 (パソコン室)	ICT 教育の在り方について、コンピュータ機器の使い方を中心に、具体的な授業実践例を基に明らかにする。
②⑯	発達障がい児の 理解と支援	総合学習センター 2 F (小ホール)	発達障がい児一人一人に応じた計画を立て指導支援をし、交流・共同学習を展開することなどを研修する。
②⑰	生徒指導	総合学習センター 2 F (教育研究室 2)	行動から学ぶ規範意識の形成と対応、不登校・保護者（クレイマー等）への対応、ネット社会の問題への対応について明らかにする。
②⑱	保 健	総合学習センター 3 F (教材開発室 1)	子どもの健康・安全に関する内容（疾病予防、けがの未然防止、登校しぶりと心に関する予防的措置、食育と心身の健康、生活習慣病）等について明らかにする。

Ⅱ 学校教育

(4) 小学校教諭免許状取得研修

中学校教員の資質の向上及び円滑な小中学校の人事交流に資するため、大学の通信教育の方法により小学校教諭２種免許状を取得する。対象者は、公立中学校での勤務経験が３年以上で小学校教諭免許状を所有しておらず、市教育委員会が推薦する者とする。研修期間は１年間でその間４月から１２月まで毎月１回、日曜日、計９回の出張講義とレポート提出、及び試験が実施される。平成 27 年度は５名が受講する。

(5) 現職研修事業

現職研修を推進し教職員の資質の向上に努めることを目的として、各小中学校でさまざまな取組が学校独自の年間計画のもとに行われる。計画とその結果は年度の初めと終わりにそれぞれ市教育委員会に報告される。事業内容には教職員に対する研修や研究発表に係わる活動及び研究成果のまとめ等がある。

(6) 新任教師の集い

来年度の新任教師が集い、２年目の教師が企画・運営する諸活動を通じて４月からの教育活動に生かす。研修内容は教師としての基礎・基本を学ぶための、ひらがな・数字の書き方、板書、集団行動の他、先輩の体験談やフリートークなどがある。

(7) 教員県外研修

教育に関する今日的な課題について、広く県外の先進校の研究実践に学び、自らの教育実践に生かすとともに、本市教育の進展に寄与させる。市教科・領域指導員を中心に 10 名の教員が 1 泊 2 日の日程で派遣される。（平成 22 年度中止）

(8) 教員海外研修

諸外国の教育制度や教育課程をはじめ、子どもたちの学習や生活等海外の教育事情を調査研究し、資質の向上を図るとともに、本市教育の進展に寄与させることを目的とする。

対象者は一般教員 3 名とし、研修期間は 1 週間程度とする。（平成 22 年度中止）

(9) 教員滞在研修

国内の先進的な教育研究機関において、継続的に研修を深め、資質の向上を図るとともに、本市教育の進展に寄与させることを目的とする。

対象者は一般教員 3 名とし、研修期間は 1 週間程度とする。また、研修先は県外の附属学校、大学、センター等の教育施設及び研究先進校とする。（平成 22 年度中止）

(10) 10 年経験者研修

10 年経験者研修は在職期間が 10 年を経過した全教員を対象に、教育公務員特例法第 24 条に基づき、現職研修の一環として研修を実施し、教員の資質向上と使命感を養うと共に、専門性の向上、得意分野の伸長をはかることを目的として、研修を行う。

(11) 岡崎市教員免許状更新講習

教員免許更新制は、平成 21 年度から導入された国の制度である。

平成 22 年度から、岡崎市の教員免許状更新講習受講対象者に、教員として必要な資質能力が保持されるよう、最新の教育について知識や技能を習得させることを目的とし、岡崎市独自の講習を開設している。

9 教育委員会特別委員会

市の計画に基づく委託事業を円滑に企画・運営するために、教育委員会特別委員会が設置されている。それぞれの会の委員は各小中学校の校長・教頭・教諭によって組織され、委員の選出に当たっては、他の会の委員との重複を避け、同じ学校の職員に偏ることがないように配慮されている。

■特別委員会

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
月報「岡崎の教育」編集委員会	・ 6 班編成の取材・編集 ・ 月 1 回の定例編集会議 ・ 「岡崎の教育」毎月配付 ・ 教育関係諸機関への送付 ・ 年 1 回市民への回覧	32 名
教員の研修に関する委員会	・ 教員の資質向上に向けての調査研究 ・ 教員研修必携の編集改訂 ・ 「新任教師の集い」の企画運営	10 名
資質向上研究委員会	・ 不祥事根絶等のための目標や具体的な手だての検討、提起 ・ 教職員の規範意識、倫理観向上のための研修	15 名
英語が話せる おかざきっ子研究委員会	・ 中学校の英語教育の G C T（グローバルコミュニケーションタイム）の指導計画・指導案の作成 ・ 小学校英語ビデオ「OK English」の改訂 ・ 小学校英語活動年間指導計画の見直し	10 名
授業改善委員会	・ 補助教材検討 ・ 教育課程編成のための情報収集及び研究 ・ 活用する力を育む授業改善の研究	10 名
学校評価委員会	・ 特色ある学校づくり事業の推進 ・ 各園、小中学校の学校関係者評価委員会への指導助言 ・ 学校関係者評価の集約	8 名
情報教育推進委員会	・ 情報モラル教育の推進と、諸問題を未然に防ぐための方策の提言 ・ タブレット PC 等の ICT の効果的活用と情報活用能力を伸ばす授業形態の研究 ・ 情報セキュリティ意識の向上と、ICT 環境整備の仕様提言	20 名
E S D 研究委員会	・ ESD を推進するための資料の収集・活用方法の検討	10 名
郷土読本編集委員会	・ 平成 27 年度「おかざき」上下の改訂	16 名
教員免許更新特別委員会	・ 岡崎市教員免許状更新講習の企画運営	5 名
科学の心を育てる委員会	・ 地域の理科教育力の発掘と活用についての研究	6 名

Ⅱ 学 校 教 育

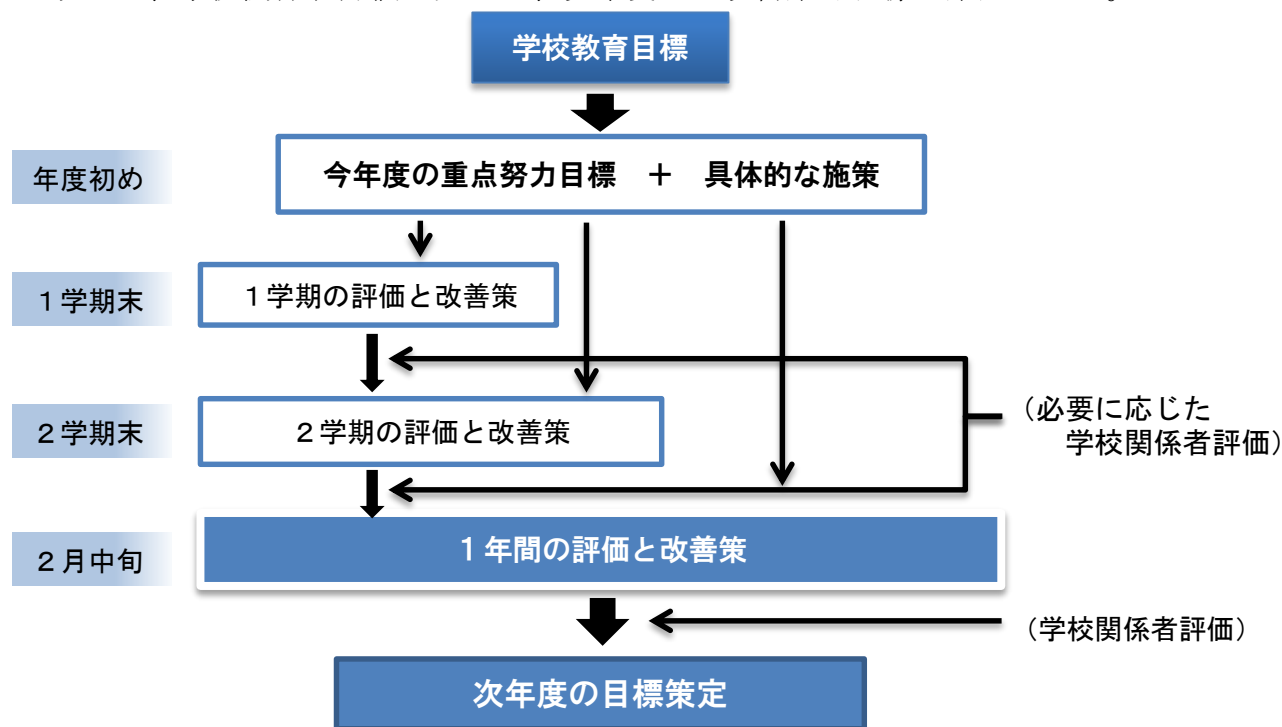
■ その他の関係委員会等

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
教育支援委員会	・ 障がいのある子どものための就学説明会 ・ 「そよかぜ相談」による就学相談 ・ 就学指導委員会の開催 ・ 就学指導委員による教育相談	24 名
特別支援教育連携協議会	・ 特別な支援を必要とする子どもについて、教育、医療、福祉、労働などの関係諸機関の連携を図る会を開催 ・ 「個別の教育支援計画」を軸に連携のあり方を検討	20 名
いじめ・不登校対策協議会	・ 本市不登校対策事業全般にわたって、事業内容や成果・課題を協議し、より良い事業のあり方の追究	16 名

10 学校評価（園・学校 経営評価）

岡崎市立の幼稚園及び小中学校を対象に、学校評価は実施されている。年度ごとに教育目標を設定し、その成果を評価することで、教育内容の質の向上を図ることを目的としている。各園・学校では、年度初めに、学校教育目標を基本として、重点努力目標が策定される。同時に、目標達成のための具体的な施策が策定され、学校関係者評価委員会に対して説明されるとともに、市教育委員会に報告される。1学期末と2学期末には、それぞれの学期における目標の達成状況について、校長の教員評価

（園・学校経営評価）が行われる。また、学校関係者評価委員会は、授業や学校行事の参観、教職員や児童生徒との対話を行い、中間評価を実施することもある。3学期には、園・校長を中心として、全職員が、「教育活動診断票」に基づき保護者や児童・生徒による外部アンケートを実施し、成果の見られた点や反省点を洗い出すとともに、自己評価を実施する。そして、自己評価の結果及び今後の改善方策についてまとめたうえで、学校関係者評価を実施し、次年度への改善策や目標が策定される。



■学校関係者評価委員会

市内 70 園・校に設置される。委員会は、園・校長・学校評議員 5 名（学区有識者、社会教育委員代表、民生児童委員代表、PTA の代表等）、担当教諭 1 名、児童生徒の代表（各校 10 名程度）、その他委員長が必要と認める者で構成され、学校の教育活動に対して、地域や保護者だけでなく、子どもの声を取り入れることができる組織作りがなされている。

学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し、意見を述べる。

学校関係者評価委員会は、1 年間に 3 回開催される。1 学期は、園・校長が、教育方針、めざす子ども像、重点努力目標などを学校評議員に説明する。2 学期は、学校の様子などを、子どもと学校評議員を交えて話し合う。3 学期は、学校評議員による学校関係者評価を行う。

11 開かれた学校づくり

(1) 幼稚園（保育園）・小学校の連携

幼稚園（保育園）等の「遊び」を通して学ぶ、幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校の教育活動への円滑な移行をめざし、交流や連携（情報の連携・行動の連携）をさらに一層深めることが求められている。

ア 交流・連携推進の目的

- ・子どもたちに様々な気づきや思いやりの心を育む。
- ・幼児・児童の発達段階を学習することで、教師の子ども理解を高める。
- ・幼小の滑らかなカリキュラムの連携を推進する。
- ・小1プロブレムを乗り越える力を身につけさせ、小学校生活への適応を円滑にする。

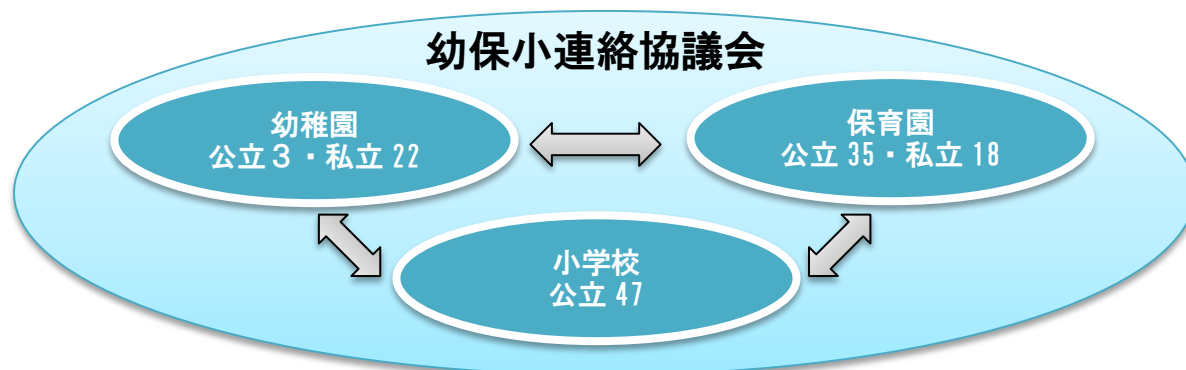
イ 組織的・計画的な取組

- ・岡崎市幼保小連絡協議会を年4回開催し、全小学校の担当者にも呼びかけ、全市的に連携活動を推進する。

(2) 岡崎市幼保小連絡協議会

ア 活動の概要

平成 17 年度、岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼保小連絡協議会〈準備会〉を立ち上げ、平成 18 年度は、それをさらに充実し、正式に発足した。平成 21 年度からは、会の事務局を岡崎市教育委員会学校指導課とこども部に置き、事業にあたっている。



この協議会は、岡崎市の幼稚園、保育園及び小学校が、それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携を図ることにより、子どもの生きる力を伸ばし、すこやかな育ちを支えることを目的とする。

イ 主な取組

- 各幼稚園・保育園・小学校の交流や連携の推進
- 各幼稚園・保育園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- 講演会・研修会等の啓発活動
- 関係諸機関との連携

ウ 組織の構成員

- (ア) 学識経験者
- (イ) 岡崎市小学校長会の代表者
- (ウ) 岡崎市私立幼稚園の代表者
- (エ) 岡崎市公立幼稚園長会の代表者
- (オ) 岡崎市公立保育園長会の代表者
- (カ) 岡崎市私立保育園長会の代表者
- (キ) 小学校教諭、公立・私立幼稚園教諭、公立・私立保育園保育士
- (ク) その他教育長又はこども部長が必要と認める者

(3) 小学校・中学校の連携

子どもたちが豊かな心を育み、健やかに成長するためには、家庭・地域社会との連携もさることながら、学校間の連携（相互交流）も不可欠である。

義務教育の9年間を見通しての小中学校間の連携教育は、一人一人の子どもの特性を理解し、発達段階に応じたきめ細かな指導に取り組むことが可能で、その効果も大きい。また、小中学校間の連携は、子どもたちの「他を思いやる心」や「自立心」の育成に大いに役立っている。

子どもの健全育成に向け、地域や家庭を基盤にした市民総参加による子育てのネットワーク化を図るとともに、小中学校の教師の共通理解のもと、授業参観や行事参観等を通して様々な異年齢交流を展開している。

(4) 中学校区児童生徒健全育成協議会

中学校区児童生徒健全育成協議会は、中学校区のPTAが中心となり、関係諸団体との密接な連携を深め、児童生徒の健全育成を推進するために平成13年度に組織づくりが開始された。小学校、中学校及び関係諸団体と連携を密にして運営することにより、小中一貫した生徒指導と児童生徒及び学区住民の防犯に対する意識高揚を図る。平成15年度には15中学区で組織化された。そして、携帯電話の普及等による問題行動の広域化や変質者被害の多発等を踏まえて、市内全中学校区の校長と地域の代表が集まる情報交換会を2回開催した。平成16年度は、市内のすべての中学校区で組織化を図り、その代表者と校長を集めて、中学校区児童生徒健全育成連合協議会が発足した。平成18年度は、全国で起きた「いじめ自殺」を受け、その対応策を協議した。平成19年度は、「いのちの教育」アクションプランの推進に向けて、子供たちの健全育成に向けた活動を展開した。平成20年度からは、「いのちの教育」アクションプラン推進協議会の地域部会として活動を継続した。平成23年度以降は、各中学校区児童生徒健全育成協議会の充実を図りながら、確かな行動連携を目指した取組を展開している。

12 いじめ・不登校対策

(1) いじめ・不登校対策協議会

いじめ・不登校対策協議会を設けて、いじめや不登校に関するそれぞれの事業の連携を図り、児童・生徒のより一層きめ細やかな支援を行うために、臨床心理士、専門機関の代表等の助言を得ていじめ・不登校対策事業を推進する。

(2) いじめ・不登校相談室事業

臨床心理士の資格を有する者、並びに子供の発達段階を理解し、子供の実態を把握する力量があり、人格・行動において社会的信望を有し、職務遂行に必要な熱意を持つ社会人を登校支援員として活用し、悩みをかかえる児童生徒及びその保護者へのカウンセリングと、担任及び関係教師への指導助言等を行うことで、児童生徒の支援を行う。

ア 不登校にかかわる「そよかぜ相談室」

【臨床心理士】

- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時と土曜日の午前9時から正午の中で、教育相談センターにおいて、相談活動・ケース会議等を行う。
- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時の中で、保護者の要望を受け、学校からの派遣要請があり、教育委員会が必要と認めた場合、学校現場との連携を基にした登校支援活動を行う。（学校や家庭を訪問、教育相談センターでの教育相談や支援）

イ 平成26年度の実績

■臨床心理士による相談にかかった人（のべ人数）（平成27年3月末現在）

	本人	保護者	教員等	合計
平成22年度	370人	1,091人	158人	1,619人
平成23年度	471人	1,185人	183人	1,839人
平成24年度	391人	1,428人	223人	2,042人
平成25年度	572人	1,413人	292人	2,277人
平成26年度	742人	1,862人	304人	2,908人

(3) 「キッズ岡崎こころの電話」

ア 活動概要

昭和 56 年度に始まったすべての市民を対象にした「心の電話おかざき」から、平成 23 年度より「キッズ岡崎こころの電話」とし、小中学校及びその保護者に対象をしばって教育的援助を行う。父母、先生、友達にも相談できない悩みや問題を、電話で話し合うことにより、多感な時期である小中学生やそれを支える保護者が明るい生活を送れるようにする。また、相談内容によっては専門機関、専門家を紹介して相談者の問題解決を助ける。現在 4 名の専門相談員によって対応している。今年度 4 月、小学 1 年生・中学 1 年生に利用しやすいように電話番号などの入ったシールを配布した。

【電 話】 8 3 - 5 6 6 0

【受付時間】 火曜日～金曜日 正午～午後 7 時 30 分
土曜日 正午～午後 4 時 30 分

【休 日】 日曜日、国民の祝日
12 月 28 日～翌年 1 月 4 日

イ 相談件数 (平成 26 年度)

小学生	中学生	保護者	計
2	2	45	49

(4) メンタルサポートクラブ事業

心の支援者を組織し、不登校の児童・生徒の家族を訪問し、良き相談者としての立場から側面的に援助する事業である。

(5) スクールカウンセラー

全中学校 20 校及び全小学校 47 校（拠点校 12 校、対象校 35 校）にスクールカウンセラーを配置し、生徒の悩み事の相談や不登校相談に応じる。

(6) いじめ・不登校対策委員会

各校担当 1 人、各校の不登校対策業務について協議や研修をする。

13 危機管理対策

平成 13 年 6 月 8 日に起きた大阪教育大学教育学部附属池田小学校における児童等殺傷事件をうけ、学校における危機管理体制の確立が急務となった。岡崎市では、防犯ブザーや、防犯ホイッスルを配布するとともに、直ちに岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを作成した。以後、各校はそれに基づいて各校（園）に危機管理マニュアルを作成し、教職員の対応や役割分担の確認を毎年 4 月に行ってきた。

平成 15 年 12 月 18 日には京都府宇治市宇治小学校に不審者が侵入し、小学校 1 年生が負傷する事件が発生した。そこで、市内の不審者被害の多発の現状を踏まえて、岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを改訂すると共に、平成 16 年 1 月には不審者対策の避難訓練研修会を岡崎警察署の全面協力を得て市内の校務主任が全員参加して行われた。この研修会を踏まえて自校の危機管理マニュアルの見直しを図り、防犯教室を実施すると共に、園児児童生徒一人一人に引き渡しカードを作成し、授業参観日などの機会に保護者への引渡し訓練を実施した。また、警察、少年愛護センター、市安全安心課などの専門機関や地域住民との連携も進んでいる。そのひとつに、児童生徒の登下校の安全ボランティアを中心とした S S V（スクール・サポート・ボランティア）の拡充がある。平成 16 年度の中学校区児童生徒健全育成連合協議会の立ち上げもあり、その後、学校・家庭・地域の確かな行動連携が加速した。平成 17 年度には、小 1 児童の下校時を狙った痛ましい事件が広島、栃木で発生し、平成 20 年 5 月には、豊田市で女子高生が殺害される事件も発生した。さらに、平成 23 年 3 月 11 日には、東日本大震災が発生した。

危機管理マニュアルや安全安心マップの改善を図るとともに、児童生徒が自ら身を守るという安全意識を育てていくことが急務である。

(1) 携帯用警報ブザー（防犯ブザー）の配布

ブザーは岡崎警察署生活安全課が斡旋するものを選定し、平成 13 年 6 月に市立幼稚園に職員数＋5 個と小中学校に各 1 個、さらに、9 月には小中学校に職員数＋5 個を配布した。

(2) 夜間反射材付き防犯ホイッスル・防犯ブザーの活用

防犯ホイッスルは、交通安全にも役立つように夜間反射材のついた首下げ式のホイッスルを選定した。首にかける紐は、安全のために少し強く引くと二つに分かれるものを採用した。平成 16 年 2 月に市交通安全課が小学校 1、2 年生に配布した。また、市安全安心課から平成 16 年度に新 1 年生を含め、小学生全員に配布され、その有効活用を図っている。

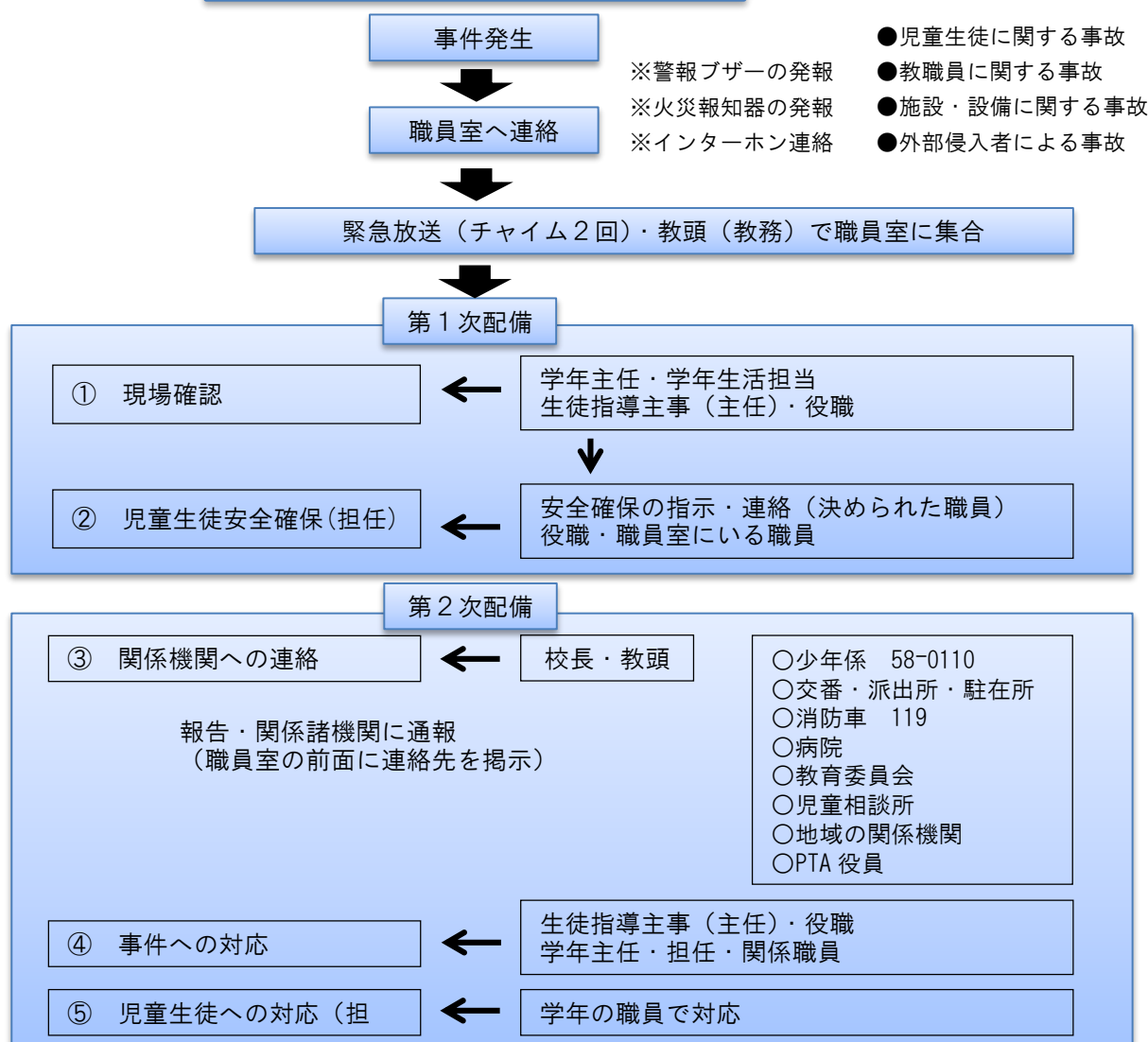
平成 17 年度には、市内全中学生に防犯ブザーを 5 月中旬に配布し、児童・生徒の安全確保に努めている。平成 18 年度以降毎年 4 月、新小学校 1 年生と、新中学校 1 年生に防犯ホイッスル、防犯ブザーを配布している。平成 27 年度は、小学生全児童に対して防犯ブザーを配布する。

(3) 危機管理マニュアル作成

岡崎市小中学校（園）危機管理マニュアルは、「日常の安全確保」「緊急時の安全確保」「家庭や地域社会の協力を得て取り組むべき事項」を骨子として事件の予防策と事故発生時の対応が定められ、実際に取り組むことができるように具体的な内容を明記している。また、平成 16 年 1 月 8 日には、平成 15 年 2 月に文部科学省が発行した「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」と平成 15 年 3 月に愛知県教育委員会が発行した「学校安全マニュアル（幼稚園、小学校及び中学校）」に準じた内容に一部改訂した。毎年 4 月当初に各学校においてマニュアルを作成し、その内容について、実際に避難訓練や教職員のみによる訓練を行い、教職員に十分周知するようにしている。また、平成 19 年度より学校情報メールシステムが確立され、市内全小中学校が活用できる体制にある。さらに、平成 24 年度より学校災害の内容を充実させている。平成 26 年度より、メールシステムを Si（スクール・インフォメーション）メールとし、緊急時の情報伝達をさらに充実させている。

保護者や地域と一体となった危機管理体制を築くとともに、年度ごとに見直ししながら、より実効性のあるものにしていく必要がある。

緊急事態対応マニュアル図（例）



Ⅱ 学校教育

市立小中学校・幼稚園における大規模地震についての対応

1 児童生徒の安全対策

- (1) 児童生徒が在校中に「東海地震注意情報」が発表されたときは、授業又は学校行事は直ちに打ち切るものとし、また、当日予定されている授業又は学校行事は、中止又は延期する。児童生徒は、家の人に迎えにきてもらい下校する。
- (2) 児童生徒が登下校中に「東海地震注意情報」の発表を知ったときは、速やかに帰宅するよう指導する。
- (3) 児童生徒が在宅中に「東海地震注意情報」が発表されたときは、当日の授業又は学校行事は中止し、学校は、東海地震注意情報又は警戒宣言が解除されるまでの間休校とする。

2 防災教育

児童生徒に対する防災教育は、教育活動の一環として行うものとし、具体的実施内容は、年間教育計画で定めるところによる。

3 市立幼稚園

市立小中学校に準じる。

○地震発生時の非常配備体制

ア 事前の地震情報がない状態で地震が発生したとき

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	震度3の地震が発生した時	役職者を中心に情報交換
第1非常配備	震度4の地震が発生した時	役職者を中心に数名の配備
第2非常配備	震度5弱の地震が発生した時	教職員の半数程度の配備
第3非常配備	震度5強以上の地震が発生した時	全教職員の配備

*上記の場合以外においても、各学校の自主的判断により非常配備につく。

*被害の状況に応じて、校長判断で配備を解く。

*震度5強以上の場合は、全小中学校の避難所が開設されるので、必要に応じて対応する。

イ 東海地震に関連する情報が出た場合

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	「調査情報」入手時	役職者を中心に情報交換
第3非常配備	「注意情報」入手時	全教職員の配備
	「予知情報」入手時 (「警戒宣言」発令時)	全教職員の配備

14 就学・奨学制度

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(平成 27 年 3 月現在)

区 分		準要保護	要 保 護	計	備 考
小学校	人員	1,359 人	92 人	1,451 人	小学校全児童数 21,757 人
	対全児童	6.25%	0.42%	6.67%	
中学校	人員	970 人	37 人	1,007 人	中学校全生徒数 11,104 人
	対全生徒	8.74%	0.33%	9.07%	
計	人員	2,329 人	129 人	2,458 人	32,861 人
	対全児童	7.09%	0.39%	7.48%	

(%は小数点第 3 位四捨五入)

(2) 特別支援教育就学奨励制度

学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助をすることにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(平成 27 年 3 月実績)

区 分	児童・生徒数	扶助者数	扶助率
小学校	335 人	200 人	59.7%
中学校	176 人	102 人	57.9%
計	511 人	302 人	59.0%

※就学援助制度によって扶助している者を除く。

Ⅱ 学校教育

(3) 奨学資金制度

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付をする。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

ア 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

イ 貸付実績

年度	人数	金額
平成22年度	126	50,400,000円
平成23年度	123	49,200,000円
平成24年度	96	38,400,000円
平成25年度	77	30,800,000円
平成26年度	54	21,600,000円

(4) 私立高等学校等授業料補助金概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者に対して授業料の補助を行うことにより、公私立学校間における授業料負担の格差是正を図り、教育の機会均等の原則を確保し、あわせて私立学校教育の振興に寄与することを目的とする。

ア 補助金額

年額12,000円

※ 実質授業料負担額が12,000円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

イ 補助金交付実績

年度	人数	金額
平成25年度	1,825	21,441,000円
平成26年度	1,903	22,199,000円

15 全市的行事

(1) 中学生総合体育大会（葵三大イベント）

「葵三大イベント～岡崎の教育 力・技・美の祭典～」の一つとして、市内の全中学生を一堂に集めてスポーツの実践や理解の機会を与えることにより、学校間の親睦とスポーツ精神を養う。総合開会式は岡崎市中央総合公園・市民球場で行われ、市内全中学校から約1万1千人の生徒と職員が参加し、全14種目を18の会場で実施している。

《平成27年度大会テーマ》

「限界に挑戦 心・技・体！」



〈中学生総合体育大会〉

(2) 中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を述べることを通じて、自分の考えをはっきりさせる能力を高めるとともに、社会の一員としてよりよい社会を作り出そうとする自覚を高めることを目的として実施される。平成25年度より聴衆生徒が選ぶ「共感賞」が始まった。平成26年度も総合学習センター大ホールで夏季休業中に開催され、市内各中学校の代表者21名が発表した。市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加した。平成27年度も、総合学習センターで開催予定である。

(3) 岡崎のハーモニー（葵三大イベント）

市内全小中学校が参加して日ごろの練習の成果を発表し合う。平成26年度も岡崎市民会館大ホールで行われ、市内67の全小中学校から児童生徒約1,000人が出演し、第42回の演奏会を開催した。平成27年度は11月14日（土）岡崎市総合学習センター大ホールにて行う予定

【平成26年度プログラム】

岡崎讃歌、小中合同合唱、中学生 合同オーケストラ、岡崎ジュニアコーラス「ジョリフィューユ」合唱、ジュニアシンフォニックバンドの演奏を行う。今年度はテーマを「未来への心をつなぐ岡崎の歌」ー今を生きる、輝きのときーとし、大好きな友達や大切な家族とともに生きる喜び、夢に向かって未来にはばたく思いを小中学校の合同合唱で豊かに歌いあげた。



〈岡崎のハーモニー〉

Ⅱ 学校教育

(4) 理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。平成 26 年度は岡崎中央総合公園武道館において開催され、総数 258 点の児童生徒の作品が展示された。出品作品は冊子「理科の研究」としてまとめられる。なお、平成 11 年度より優れた作品に対して木村資生科学賞が授与されている。その他、理科教育による「科学体験コーナー」「淡水魚展示コーナー」、他に「自然科学研究機構コーナー」などが設置された。また、児童生徒が科学的な体験ができるようなブースを設け、理科ボランティアによる体験コーナーで活動した。

平成 18 年度から、自然科学研究機構より、発想豊かな研究に対して未来の科学者賞が授与されている。

(5) 技術・家庭科作品展

岡崎市内の児童生徒の意欲向上と市民の理解を深めるために、技術・家庭科学習の中で製作した各種の作品を展示する会を開催する。平成 26 年度も、岡崎中央総合公園武道館において開催され、中学校生徒の作品約 1,200 点と小学生児童の作品約 800 点を中心に、高等学校生徒の作品も展示された。その他、会場には、特設コーナーとして、「製作コーナー」や「やってみようコーナー」、「おもてなしコーナー」なども設置された。また、舞台では、作品発表会や技能コンテストも行われた。



〈平成 26 年度 作品発表会〉

(6) 生徒市議会

岡崎市議会議場において岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会となると同時に、中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。

平成 26 年度の提案・質問事項は、『岡崎駅から康生町をつなげるまちづくりを』、『「ベジタブルスイーツ」で市民の健康増進を』、『東公園の再生 100 年プロジェクト』など本市の実態や健康などの課題を的確にとらえたものが提案された。それが市政へのよき提言となり、市政へ反映されている。

(7) 小中学生英語スピーチフェスティバル

自らの考えを英語で発表できる場を提供することにより、小中学生の生きた英語力の養成を目的に実施される。学習した英語を使い発表することで自信をつけると同時に、他の発表者のスピーチを聞くことにより英語学習の意義が再認識できる。平成 15 年度より、岡崎市せきれいホールで夏季休業中に開催された。平成 20 年度から、小学生も参加して開催された。発表されたスピーチの内容は「岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル」として 1 冊の本にまとめられ、市内の小中学生の「読み物教材」としても活用される。平成 23 年度からは岡崎市総合学習センター大ホールで開催している。

(8) 造形おかざきっ子展（葵三大イベント）

市立幼稚園・小中学校（附属 3 校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示する。児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展としており、平成 27 年度もおかざき世界子ども美術博物館の館外一帯を展示会場に、各幼稚園・小中学校が 14 のブロックに分かれて展示する。毎年テーマを設定し、素材や表現方法等を研究して作られた作品を展示する。また、学校単位でもテーマを設定し、地域等の独自性を生かした野外展にふさわしい自由作品も展示している。その他、会場では、木切れや木の実などの自然物や紙を材料として、実際に作品づくりに取り組む造形コーナーを設置している。



〈造形おかざきっ子展〉

16 教育関係表彰

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人または団体の優れた業績及び現に続けている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人よりの申請または関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成 26 年度の応募状況は個人の部が 14 点、団体の部が 30 点あり、その中から個人の部で 2 点と団体の部で 2 点が表彰された。

17 総合学習センター

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、会議室、体育室などの施設がある。

所在地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1（電話：54-1115）		
開設	平成 23 年 8 月		
建築年度	昭和 57 年度（平成 22 年度に研修棟の一部改修）		
敷地面積	15,826.61 m ² （県有地を県から無償貸与）		
構造規模	延床面積	6,112.39 m ² （県から無償譲渡）	
	研修等	鉄筋コンクリート造 3 階建	
	ホール棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建	
	体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建	
駐車場	約 250 台		
利用時間	午前 9 時～午後 9 時		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		

■生涯学習部門

- ・大ホール（ホール棟：定員 796 人）
- ・小ホール（研修棟 2 階：定員 120 人）
- ・体育室（体育館棟：アリーナ面積 701.76 m²）
※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 6 面
- ・会議室 2 室、和室 1 室（研修棟 1 階）
※平成 27 年度から教育相談センター分室に転用



【利用状況（稼働率）】

	大ホール	小ホール	第 1 会議室	第 2 会議室	和室	体育室	平均
平成 23 年度	6.5%	11.9%	6.5%	20.1%	2.3%	20.8%	11.4%
平成 24 年度	11.3%	18.7%	12.0%	22.7%	8.1%	37.8%	18.4%
平成 25 年度	17.4%	33.3%	25.7%	27.1%	11.2%	42.5%	26.2%
平成 26 年度	15.8%	33.6%	32.8%	26.4%	21.4%	55.0%	30.8%

Ⅱ 学校教育

■教育研究部門（教育研究所）

(1) 施設内容

ア 研修棟 2 階

教育研究室 1（48 人） 教育研究室 2（72 人） 教育研究室 3（30 人）
教育研究室 4（30 人） 教育準備室（8 人）

イ 研修棟 3 階

教材開発室 1（36 人） 教材開発室 2（36 人）
リサーチセンター
教育図書館（相談室・視聴覚準備室を含む）

(2) 業務内容

ア 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、10 年経験者研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点

イ 教育研究

教育にかかわる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究

ウ 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営にかかわる問題に対して随時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

エ 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有効に活用するための体制づくり

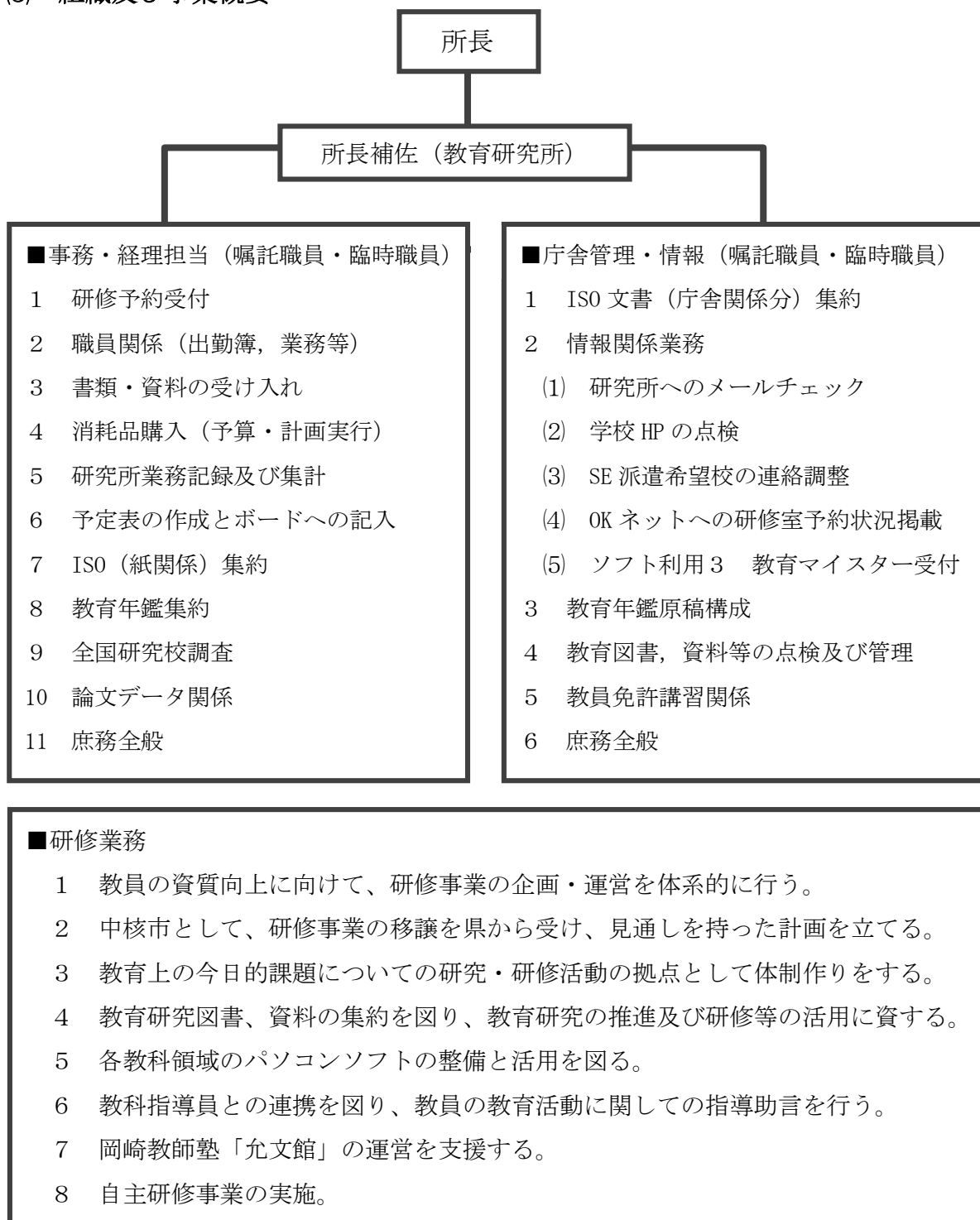
(3) 会場利用状況（平成 26 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	2,153	1,925	1,766	2,245	2,244	2,063	1,512	1,552	1,405	1,875	2,136	758	21,634

(4) 教育資料利用状況（平成 26 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	285	364	160	362	625	272	173	139	187	115	201	91	2,974

(5) 組織及び事業概要



18 教育相談センター

教育研究所の相談部門と不登校児童生徒のための適応指導教室であるハートピア岡崎が合併して、平成 22 年 1 月 4 日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して学校生活への適応性を高め、学校復帰ができるように指導・援助している。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。平成 27 年度 9 月より「ハートピア上地」が開所する。

所在地	岡崎市竜美北二丁目 6 番地 1	教育相談センター 電話 71-3201
	岡崎市上地三丁目 12 番地 1	ハートピア竜美 電話 71-3207 ハートピア上地
受付時間	月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分 土曜日 午前 9 時 30 分から午後 12 時	
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	

(1) 業務内容

■「そよかぜ相談室」

ア 不登校に関する相談

- ・ 不登校傾向、不登校の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 不登校傾向、不登校の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
- ・ ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

イ 就学に関する相談

- ・ 就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
- ・ 在籍する子どもの就学先に関する学校からの相談

※ その他、特別に教育支援の必要な子どもに関する保護者・教師からの相談

ウ 特別支援教育に関する相談

- ・ 家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 児童生徒の指導に悩む教師からの相談

■「ハートピア岡崎」

ア 通所指導

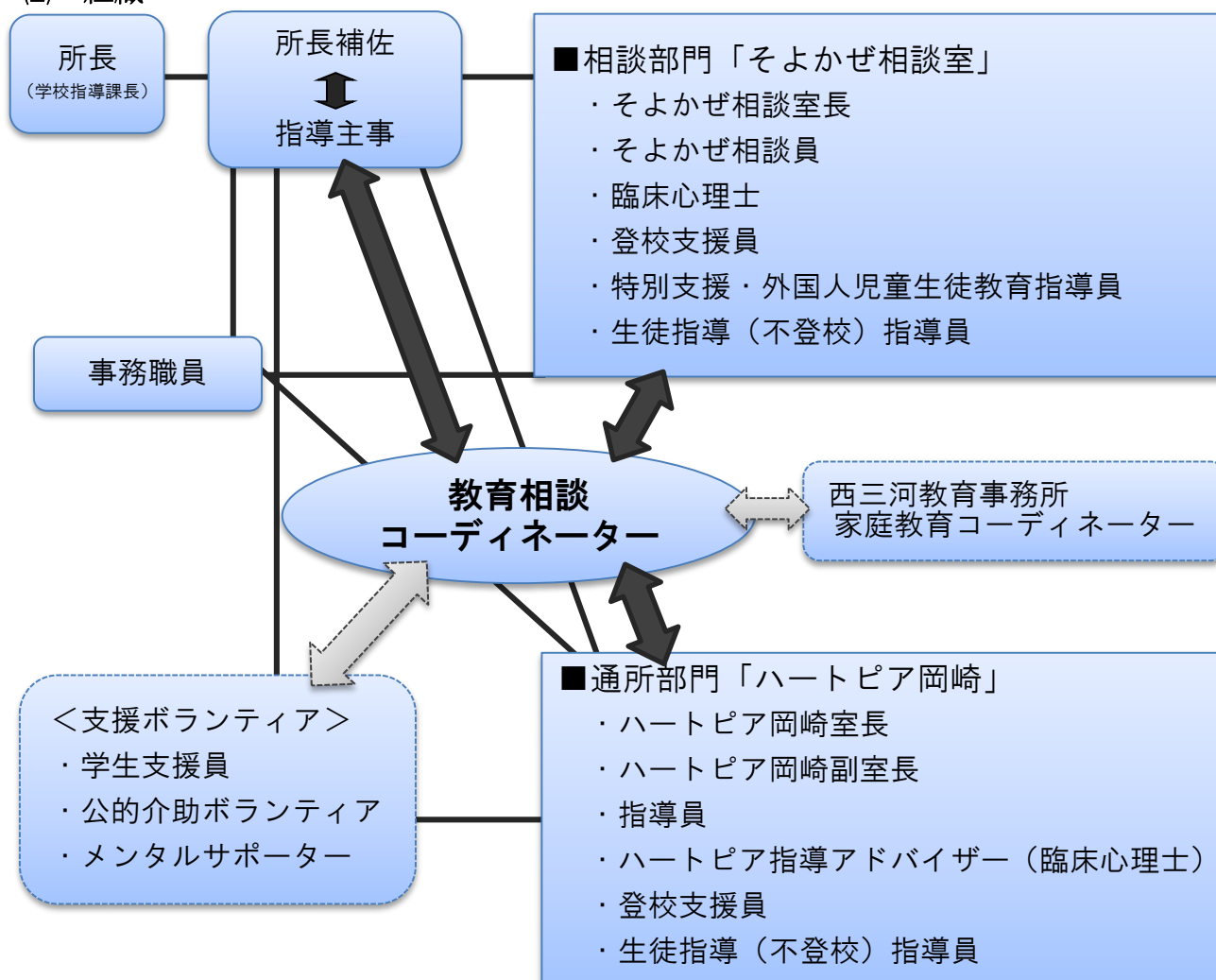
- ・ 学校復帰に向けての自立支援と適応指導
- ・ カウンセリング

イ 登校相談支援活動

- ・ 学校を休みがちな子供に対する相談と支援
- ・ 学校現場との連携を基にした登校支援活動



(2) 組織



(3) 教育相談の状況（平成 26 年度）

月	相談・支援状況								ハートピア利用状況				
	ハートピア指導員		臨床心理士		そよかぜ相談室相談員		登校支援員		登録生徒数	通所数	面談	見学	訪問相談
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数					
4	163	205	97	150	82	89	148	334	11	48	19	10	15
5	119	147	120	170	115	161	179	375	19	210	19	7	4
6	129	142	118	181	74	128	180	307	20	247	13	3	2
7	185	207	132	208	104	176	145	247	21	168	30	1	11
8	31	35	69	121	52	79			21	19	2	2	1
9	184	216	125	174	105	144	264	465	26	250	11	5	8
10	185	211	156	214	116	173	222	434	29	406	9	5	5
11	169	185	140	190	88	137	213	413	31	374	6	2	3
12	201	214	123	178	120	162	153	309	32	279	39	3	4
1	162	192	149	236	66	77	198	372	38	331	12	9	2
2	174	185	131	185	66	76	209	397	41	437	7	0	10
3	204	239	170	270	58	64	150	312	41	125	4	0	5
合計	1,906	2,178	1,530	2,277	1,046	1,466	2,061	3,965		2,894	171	47	70

Ⅱ 学校教育

19 学校給食

(1) 学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北 部	平成 19 年 4 月 1 日	11,691 m ²	5,391 m ²
東 部	昭和 49 年 4 月 1 日	5,658 m ²	2,112 m ²
西 部	昭和 53 年 9 月 1 日	6,339 m ²	2,490 m ²
南 部	昭和 57 年 4 月 1 日	4,604 m ²	2,021 m ²

(2) 学校給食協会等職員

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

	協 会						市	県	委託	合 計
	事務局長	事 務 員	汽かん員	業務職員Ⅰ	業務職員Ⅱ	用務員	所長	学校栄養職員	運転手	
北部センター	0	3	1	6	59	2	(兼務)	3	11	95
東部センター	1	10	1	6	51	2	(兼務)	3	9	83
西部センター	0	2	1	6	45	3	(兼務)	3	7	67
南部センター	0	2	1	6	38	2	(兼務)	3	6	58
単 独 調 理 校	0	0	0	0	16	0	0	1	0	17
計	1	18	5	24	210	8	(1)	13	33	320

※理事長、常務理事の各 1 名は含まず。

※うち栄養教諭 7 名

※学校給食センター所長は教育委員会事務局で執務

(3) 年度別実施状況

年度	給 食 回 数			年 間 給 食 回 数			
	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	合 計
20	172	189	189	75,520	4,191,909	1,970,003	6,237,432
21	171	187	185	75,550	4,114,870	1,937,355	6,127,755
22	169	188	186	74,343	4,146,752	1,939,337	6,160,432
23	168	189	187	72,980	4,201,972	2,064,992	6,339,944
24	164	188	188	73,859	4,168,501	2,109,870	6,352,230
25	165	188	187	74,833	4,162,434	2,113,664	6,350,931
26	167	189	188	77,284	4,116,345	2,065,817	6,259,446

(4) 年度別 1 日当りの給食数

年 度	幼稚園	小学校	中学校	合計	年 度	幼稚園	小学校	中学校	合計
17	491	23,603	11,567	35,661	22	537	23,926	12,056	36,519
18	530	23,700	11,635	35,865	23	547	23,678	12,061	36,286
19	535	23,751	11,739	36,025	24	539	23,496	12,292	36,327
20	542	24,030	11,839	36,411	25	527	23,348	12,383	36,258
21	545	24,096	12,079	36,720	26	523	23,216	12,287	36,026

(5) センター別給食実施状況（１日当たり）

（平成 27 年 5 月 12 日現在）

センター名	区分	幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
北 部	校 数	0	14	6	1	21
	学級数	0	237	103	2	342
	食 数	0	7,059	3,470	49	10,578
東 部	校 数	0	14	5	2	21
	学級数	0	214	85	14	313
	食 数	0	5,902	2,881	407	9,190
西 部	校 数	3	8	3	1	15
	学級数	23	165	66	2	256
	食 数	515	5,308	2,262	38	8,123
南 部	校 数	0	7	5	1	13
	学級数	0	149	89	2	240
	食 数	0	4,638	3,007	42	7,687
合 計	校 数	3	43	19	5	70
	学級数	23	765	343	20	1,151
	食 数	515	22,907	11,620	536	35,578

(6) リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食生活の実践への意欲の高揚を図る。募集対象校は１年で約 20 校とし、採用された献立は次年度のメニューに反映させる。

各学校は、給食実施献立の中から、好きな献立を選びリクエストしている。

平成 26 年度のリクエストでは主食はごはん、パン、うどんの順に挙げられ、主菜（食缶に入れるおかず）は三根五菜のみそ汁、かきたま汁、豚汁、カレーシチュー、焼きそば、わかめスープなどの汁物が多くみられた。

副菜では揚げ物が多く、ハムとチーズのはさみ揚げ、いかフライのレモンじょうゆかけ、等が、副々菜ではビビンバ、かんぴょうサラダ、海藻・豆類の多く入ったひじきサラダ、食物繊維が多く含まれるれんこんのたらこ炒め、ごぼうサラダ、低学年の国語の教科書に登場するげんきサラダ等に人気が集まった。

Ⅱ 学校教育

《 MEMO 》

Ⅲ 生涯学習

第1．社会教育

第2．社会教育施設等

第3．文化財

第4．社会体育

第1 社会教育

1 生涯学習

(1) 生涯学習市職員出前講座

市職員が講師として、市民で構成される団体が主催する集会等に出向き、市政の説明や職員の持つ専門的な知識・技術を提供することにより市民に多様な学習機会を提供するとともに、市民の市政に対する理解と協力を求め、市民と行政とが一体となってまちづくりへの参加意識の高揚を図ることを目的とする。

(平成 26 年度実績)

講座名称		出席回数	参加人員
まちづくり	デートDVについて	1	86
	地産地消について	4	99
	緑化推進事業について	1	12
	都市計画について	1	20
	岡崎市の公共交通について	1	10
小計 5		8	227
市民生活・ 環境・自然	国民健康保険について	1	12
	国民年金制度について	2	75
	食中毒予防	10	317
	食品添加物について	1	20
	食品表示について	5	127
	環境美化について	1	20
	岡崎市の大気・水質の現況	1	20
	家計にやさしい省エネ生活	2	74
	ごみ減量についての取組とリサイクルの流れ	5	57
	わたしのくらしと下水道（3）	6	155
	水道あれこれ	4	65
	水道の水ができるまで	1	10
	動物の愛護管理	2	46
	動物ふれあい	3	68
小計 14		44	1,066
福祉・健康	地域福祉の推進	2	76
	障害者総合支援法	4	70
	身体障がい者手帳	3	55
	障がい者虐待の防止	1	30
	岡崎市こども発達センター	1	46
	福祉医療と後期高齢者医療制度	1	28
	高齢者在宅福祉サービスについて	6	318
	「認知症サポーター」養成講座	19	745
	認知症予防遊びりテーション	18	775
	健康長寿を目指そう	26	881
	血管を若く保つコツ	15	524
	いつまでも口から美味しく食べるために	3	85
	転倒を予防しよう	10	328

Ⅲ 生涯学習

第1 社会教育

	成年後見制度を知っていますか	2	59
	介護保険制度について	11	400
	上手な医者のかかり方（１） ～受診編～	8	254
	上手な医者のかかり方（２） ～救急編～	1	25
	小児救急医療を考えましょう	10	348
	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	4	500
	感染症について	4	87
	たばこについて知ろう	3	392
	規則正しい生活習慣を身につけよう（１）	2	951
	規則正しい生活習慣を身につけよう（２）	1	290
	規則正しい生活習慣を身につけよう（３）	5	1,361
	健康づくりと栄養・食生活	14	593
	健康づくりと栄養・食生活～乳幼児～	1	10
	生活習慣病を予防しよう	4	280
	生と性の健康教育	3	137
	一生自分の歯で食べよう	2	49
	災害時のメンタルヘルス	3	187
	こころの病気について	3	129
	誰でもゲートキーパー	1	34
	市民病院の概要	2	79
	かかりつけ医を持ちましょう	5	100
	がん基礎知識 もしもがんになったら…	4	171
	小計 35	202	10,397
交流・地域	親善都市・ゆかりのまちについて	1	8
	国際交流について	1	30
	多文化共生について	4	45
	岡崎市の観光	4	144
小計 4		10	227
教育・文化	矢作川流域の歴史と文化（近世）	1	30
	ジャズコレクション出前講座	3	100
	岡崎むかし館出前講座	10	223
	生涯学習事業について	1	24
	ニュースポーツの紹介	4	110
	岡崎城	2	48
	みちかな文化財	2	40
	岡崎の歴史的建造物（社寺建築）	2	38
	岡崎の歴史的建造物（近代化遺産）	1	20
小計 9		26	633
防災・安全	南海トラフ巨大地震に備えましょう	82	7,339
	豪雨災害に備えましょう	11	1,146
	防災展示コーナーの紹介	1	40
	防犯講座	26	994
	消費者トラブル未然防止講座	30	1,122
	消費者トラブル未然防止講座～見守り編～	3	49
	交通安全教室	29	1,173
小計 7		182	11,863
合計 74		472	24,413

Ⅲ 生涯学習

第 1 社会教育

(2) 地域生涯学習講座

教育委員会と学区社会教育委員会が協働で、小学校区の住民を対象とした市民自身の企画による講座の開催を支援する。

青少年を含めた幅広い世代の住民相互の交流や連携を広げ、地域住民の社会参加を促し、住み良い郷土づくりと地域における生涯学習の推進を目的としている。

(平成26年度実績)

開催学区	講 座 名	講座数	受講者数
竜谷	保健・健康・福祉	10	347
矢作西	表装友の会・宇頭教室	7	74
矢作西	大正琴友の会	3	30
連尺	朗読	10	131
細川	ジュニアソフトボールに関わる講習会	10	279
矢作北	いけ花の会	9	110
大門	上里 3 町合同太極拳教室	7	99
大門	絵と音楽の教室	3	79
六ツ美北部	六北いきいきクラブ	10	586
六ツ美南部	ソフトボール講習会	10	174
藤川	藤川まちづくり協議会	9	647
六ツ美西部	作左ゆかりの地視察の旅	1	38
六ツ美西部	椅子などを使っただれでも出来る体操	3	102
生平	まちづくり・地域づくり 河合地区生涯学習講座	5	110
羽根	初歩のデジカメ 使いこなし講座	6	190
山中	ホテルの鑑賞会	1	218
常磐	社会見学	1	48
常磐	三河の徳川氏の寺社と瀧山寺・瀧山東照宮	1	42
計	18講座	106	3,304

2 成人教育

(1) 平成26年度 市民カレッジ大学開放講座

市民の多様で高度な学習要求に対応するため、市と市内の大学が連携し、高度で専門的な学習機会を広く市民に提供する。講座は職業能力の向上又は人間性を豊かにするための社会人教育に資する高度で専門的な内容とし、岡崎市内に在住・在勤の方を対象にして実施されている。平成22年度からは、会場を従来の各大学から図書館交流プラザに移し、年間8回実施されている。受講料は無料

■開催大学等

人間環境大学・岡崎女子大学・岡崎女子短期大学・愛知学泉大学・
愛知学泉短期大学・愛知産業大学

(2) 岡崎市民大学

生涯学習の一環として、一般市民を対象に各界の著名人による魅力ある講演を開催する。平成27年度で42回目となる。

■平成26年度開催講座

受講料 2,000円

場 所 岡崎市民会館

時 間 午後1時30分～午後3時

(8月23日のみ)

I部 午後1時30分～午後3時 II部 午後3時30分～午後5時)

	月 日	テ ー マ	講 師
1	7月12日(土)	岡崎の森と水の歴史・現在・未来	東京大学大学院准教授 蔵 治 光 一 郎
2	7月26日(土)	80歳エベレスト登頂～希望の軌跡～	プロスキーヤー・ クラーク記念国際高等学校校長 三 浦 雄 一 郎
3	8月16日(土)	日本の心 日本文化の素晴らしさをいけ花から知る	華道家 州 村 衛 香
4	8月23日(土) I部	竜一筋	野球解説者 木 俣 達 彦
5	8月23日(土) II部	徳川家康公顕彰四百周年記念プレ事業 徳川家康が創った江戸のインフラ	公益財団法人リバーフロント 研究所 研究参与 竹 村 公 太 郎

3 家庭教育

家庭教育推進地区事業

(平成26年度)

学区	事業名	事業の規模
六ツ美北部学区	家庭教育講演会	学区民PTA等 40人 「子どもとの信頼関係づくり」 講師 青嶋 宮央氏
	学区運動会	学区民・児童・保護者等 1,000人
	あいさつ運動	PTA・総代会 200人
	学区クリーンアップ大作戦	学区民・児童・保護者 500人
	学区文化展	学区民・児童・保護者 200人
	教育講演会	保護者
	学区クリーンアップ大作戦ポスター	学区民
	学区危険個所の発行	PTA全児童家庭配布
	危険個所アンケート	交通事故、不審者、危険な場所
	生活習慣アンケート	あいさつ、悩み相談
岩津学区	こども110番ウォーキングクイズ	PTA・児童 600人
	こども祭り	PTA・児童 500人
	防犯パトロール	PTA（始業式、終業式のころ）
	ふれあいたい防犯パトロール	PTA・社会教育委員会諸団体 年8回
	家庭教育講演会	学校・学区民・PTA 190人 「ケータイ・スマホ安全教室」 講師 県教育センター 小山 真臣氏
	親子工作教室	学校・家庭 900人
	校内観劇会	学校・家庭 600人
	岩津ふれあい運動会	学区全体 1,200人
	学区敬老会	学区全体 500人
	PTA奉仕活動	学校・PTA 300人
	子ども会親子レク	子ども会 250人
	絵本の読み聞かせ	ももんちゃんの会による朝の時間の読み聞かせ 月2回
	アンケート結果報告	PTA新聞に特集記事を掲載 700部
	危険個所の見回り	回覧で学区に広報 700部
	家族でチャレンジ	家庭・PTA 900人
	危険個所アンケート	PTA役員会
	交通安全運動	登校指導・交通安全教室
	学校安全ボランティア	ボランティアの保護者

第2 社会教育施設等

1 市民センター

本市における公民館活動は、8つの市民センターを中心に進められている。

市民センターでは、教養・趣味等について学ぶ「定期講座」、現代的な課題や地域的な課題などを提供する「市民講座」などが実施されている。さらに、自主的な学習サークルを支援するため「自主講座」も多く実施されている。

(1) 施設概要

名称	所在地	敷地面積	延床面積	電話番号	開設年月日
中央	上六名三丁目3番地7	3,704 m ²	1,158 m ²	55-8066	平成3年4月23日
南部	羽根町字貴登野15番地 岡崎市シビックセンター内	—	1,185 m ²	51-1579	平成14年4月22日
南部 (分館)	羽根西新町5番地3	5,600 m ²	1,202 m ²	53-7831	昭和56年4月20日
大平	大平町字皿田6番地	3,118 m ²	1,152 m ²	22-0162	昭和55年4月28日
東部	山綱町字天神2番地9	3,340 m ²	1,158 m ²	48-2922	昭和54年4月16日
岩津	岩津町字檀ノ上26番地2	4,705 m ²	1,120 m ²	45-2512	昭和52年4月25日
矢作	宇頭町字小薮80番地1	5,263 m ²	1,182 m ²	31-3202	昭和53年4月24日
六ツ美	下青野町字天神64番地	2,449 m ²	1,109 m ²	43-2510	昭和51年4月26日

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(2) わいわい子育て講座

岡崎子育てネットワーカーの会と共催で、市民センター6館において子育て講座（各1講座3回）を開催している。

（平成26年度実績）

場所	回数	日 時	講師名（所属）	演 題	参加人数
中央市民センター	第1回	9月3日(水) 午前10時30分～11時45分	望月 はまよ KOTA子どもの文化NET「ポピンズ」	「子ねこのおつかい」	保護者33 幼児37 合計70
	第2回	10月1日(水) 午前10時30分～11時45分	鈴木 ひろみ 音楽講師	「音であそぼう」	保護者33 幼児36 合計69
	第3回	11月5日(水) 午前10時30分～11時45分	畑中 さつき 交流分析士	「自ら育つ力を 応援する子育て」	保護者22 幼児26 合計48
南部市民センター分館	第1回	9月11日(木) 午後1時30分～2時45分	望月 貴子 (社)日本3B体操協会指導士	「親子ふれあい遊び」	保護者35 幼児35 合計70
	第2回	10月9日(木) 午後1時30分～2時45分	伊藤 典子 人形劇団「ひよっこ」代表	「ぐりとぐら」	保護者35 幼児35 合計70
	第3回	11月13日(木) 午後1時30分～2時45分	森 千香 岡崎子どもの本研究会	「お母さん 本読んで」	保護者28 幼児28 合計56
大平市民センター	第1回	9月10日(水) 午前10時30分～11時45分	東 りつ子 ナゴヤ音楽教育研究所	「親子でわらべうた」	保護者25 幼児28 合計53
	第2回	10月8日(水) 午前10時30分～11時45分	吉原 尚子 マンドリンアンサンブルたんぽぽ	「いっしょに歌おう いっしょに遊ぼう」	保護者23 幼児25 合計48
	第3回	11月12日(水) 午前10時30分～11時45分	鈴木 一美 STEP勇気づけセミナーリーダー	「にこにこ子育て」	保護者21 幼児24 合計45
岩津市民センター	第1回	9月2日(火) 午後1時30分～2時45分	志村 貴子 子育てネットワーカー	「親子ふれあい遊び」	保護者20 幼児20 合計40
	第2回	10月7日(火) 午後1時30分～2時45分	藤田 光子 元保育園長	「楽しく子育て」	保護者17 幼児17 合計34
	第3回	11月11日(火) 午後1時30分～2時45分	弓立 まり シンガーソングライター	「君がいてよかった」	保護者14 幼児14 合計28
矢作市民センター	第1回	9月18日(木) 午前10時30分～11時45分	中山 幸子 人形劇サークル「こんにちは」	「人形劇を楽しみましょう」	保護者32 幼児33 合計65
	第2回	10月9日(木) 午前10時30分～11時45分	霜田 美津子 岡崎子どもの本研究会	「絵本とわらべ歌で 楽しい子育てを」	保護者28 幼児29 合計57
	第3回	10月30日(木) 午前10時30分～11時45分	村田 由香里 ベルスーズ代表	「親子リトミック」	保護者28 幼児28 合計56
六ツ美市民センター	第1回	9月4日(木) 午前10時30分～11時45分	市川 水青 (社)日本3B体操協会指導士	「親子ふれあい遊び」	保護者30 幼児36 合計66
	第2回	10月2日(木) 午前10時30分～11時45分	糟谷 公子 親業インストラクター	「考える力を伸ばす聞き方」	保護者29 幼児33 合計62
	第3回	11月6日(木) 午前10時30分～11時45分	藤井 尚美 人形劇団「ささゆり」代表	「楽しいよ！人形劇」	保護者30 幼児34 合計64

2 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、学校教育、社会教育における視聴覚教育の推進を目的に、幼稚園、保育園、小中学校を始め、子ども会や青少年団体、地域団体、高齢者団体、各事業所などで利用されている。

デジタルハイビジョン配信システムによって、高画質なビデオ映像をデジタル記録し、省スペース、長期保存、多角的な活用を可能にし、CATV(MICS)による配信で、学校や地域に映像教材を提供している。

また、「教材等予約システム」を整備し、家庭や職場からいつでもインターネット回線を通じて予約・検索ができる。

資料室には、プロジェクター、映写機、ビデオカメラ、VTRなどの機器のほか、16ミリ映画フィルム、購入・自作ビデオ及びDVD、マルチメディアなどの教材があり、市民団体の利用に供している。

また、指導者の育成として実施している「16ミリ映写機操作体験実習」、「ビデオ講習会」、「ノンリニア編集講習会」には、多くの教員や市民が参加しており、岡崎の視聴覚教育を担っている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市営生町1丁目3番地1（岡崎市役所西庁舎南棟2階） 電話 23-6789 FAX 23-6794
業務時間	午前9時～午後5時15分（土曜日は、午後零時30分）
休業日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 主な講習会等

ア 16ミリ映写機操作体験実習

県の認定講習として、昭和29年から実施。16ミリフィルムや映写機を用いた視聴覚教育の推進を目的としている。

県の認定講習の廃止に伴い、平成15年度から希望者を対象にライブラリーで随時実施している。

イ ビデオ講習会

ビデオ機器の取り扱いや映像技術の習得を目的とした講習会で、映像制作の過程を通して、基本的な知識や効果的な表現を学ぶ。教員や市民を対象に、初級と中級の2コースで実施している。

また、小学校を会場とした子どもビデオ教室を3カ所で実施している。

ウ ノンリニア編集講習会

平成16年1月から、ライブラリー所有のノンリニア編集機2台を用いて、市民を対象にビデオ編集の講習会を随時実施している。平成26年度は51回実施した。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

エ 親子映画会

市内7市民センターとぬかた会館への出前映画会。映画の視聴を通じて、感性を育み、親子のふれあいや交流を深める場を提供することで家庭教育の推進に努めている。年間16回実施しており、平成26年度は、延べ731名の参加があった。

(3) 教材・教具貸出状況

年度	区 分	教 材 関 係			教 具 関 係		
		件 数	内ビデオ	割 合	件 数	内ビデオ	割 合
22	学校教育	3,017	2,899	67.5%	1,839	1,158	46.1%
	社会教育	1,450	760	32.5%	2,150	777	53.9%
	計	4,467	3,659	100.0%	3,989	1,935	100.0%
23	学校教育	3,401	2,956	74.0%	1,849	1,001	46.4%
	社会教育	1,194	920	26.0%	2,134	865	53.6%
	計	4,595	3,876	100.0%	3,983	1,866	100.0%
24	学校教育	3,190	3,158	68.1%	1,550	1,052	45.2%
	社会教育	1,497	1,278	31.9%	1,881	648	54.8%
	計	4,687	4,436	100.0%	3,431	1,700	100.0%
25	学校教育	3,418	3,412	70.4%	1,503	1,038	44.7%
	社会教育	1,440	1,206	29.6%	1,858	657	55.3%
	計	4,858	4,618	100.0%	3,361	1,695	100.0%
26	学校教育	2,899	2,758	64.2%	1,605	1,043	45.2%
	社会教育	1,614	1,427	35.8%	1,947	689	54.8%
	計	4,513	4,185	100.0%	3,552	1,732	100.0%

(4) 社会教育関係貸出内訳

(平成26年度)

区 分	教 材 関 係			教 具 関 係		
	件 数	内ビデオ	割 合	件 数	内ビデオ	割 合
青少年・女性	29	21	1.8	210	86	10.8
成 人	93	93	5.7	204	85	10.5
高 齢 者	56	48	3.5	128	38	6.5
社 教 施 設	30	6	1.9	64	14	3.3
官 公 所	510	510	31.6	630	218	32.4
事業所・法人	555	554	34.4	368	86	18.9
乳児・幼・保	303	157	18.8	343	162	17.6
そ の 他	38	38	2.3	0	0	0.0
計	1,614	1,427	100.0%	1,947	689	100.0%

(5) 教材・機材充足状況

(平成27年4月1日現在)

教 材	保有数	機 材	保有数
16ミリ映画（資料映画含）	1,691	16ミリ映写機	8
8ミリ映画	31	モニターテレビ	14
自作ビデオ	261	スライド映写機	6
自作マルチメディア	24	OHP	4
購入ビデオ（VHS版）	1,840	カラーTP作成機	1
購入ビデオ（DVD版）	946	高速ダビング機	1
寄贈ビデオ（VHS版）	996	テープレコーダー	6
寄贈ビデオ（DVD版）	154	ワイヤレスアンプ	6
寄贈（CD-ROM）	39	ワイヤレスマイク	14
レーザーディスク	137	VTR	8
スライド（組）	13	ビデオカメラ	27
録音教材	97	プロジェクター	12
コンパクトディスク	204	〃（教材提示装置付）	2
		DVDプレーヤー	10
		LDプレーヤー	3
		パソコン	2
		ビデオ編集機	1
		ノンリニア編集機	17
		デジタルハイビジョン配信システム	1
		レコードプレーヤー	2
		暗 幕	10
		スクリーン	20
		フィルム巻取機	1
		フィルム接合機	1
		フィルム検査機	1



〈16ミリフィルム映写機〉

3 中央図書館

中央図書館は、戦災で焼失してから移転を重ね、昭和46年に明大寺町に設置された。以来30年以上にわたり市民に親しまれてきたが、時代の新しいニーズに対応するため、康生地区の再活性化拠点として建設された生涯学習複合施設「岡崎市区図書館交流プラザ」の核として、平成20年11月移転リニューアルした。施設の大規模化、ＩＣタグによる自動貸出や自動出納書庫の導入のほか、ブックスタートの実施、ティーンズコーナー設置、ビジネス支援などサービス向上に努めている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西四丁目71番地（岡崎市区図書館交流プラザ内）
電話	23-3111
構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造3階建
延床面積	7,895㎡（建物全体約18,000㎡、屋内駐車場除く）
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館）、特別整理休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	1階 レファレンスライブラリー 地域資料・参考図書・分類別一般図書、専門雑誌コーナー、レファレンスカウンター、インターネット席（16席）、データベース席（4席）、持込パソコン利用席（18席）、研究個室（5席）、グループ室（1室）
	2階 ポピュラーライブラリー テーマ別一般図書、視聴覚資料・視聴覚ブース、点字図書・録音資料、新聞雑誌コーナー、ティーンズコーナー、ティーンズ・グループ室、外国語資料コーナー、グループ室（2室）、閲覧室、対面朗読室（2室）
	2階 子ども図書室
	おはなしのへや、授乳室



(2) 蔵書状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区分		平成 25 年 度末合計	受入		除籍	更正	増減	平成 26 年 度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	464,141	12,555	2,795	2,052	148	13,146	477,287
	大活字	2,955	51	1	23	0	29	2,984
	洋書	5,376	66	91	3	2	156	5,532
	小計	472,472	12,372	2,887	2,078	150	13,331	485,803
児童書	児童書	49,905	1,301	143	169	95	1,370	51,275
	絵本	30,519	703	39	200	23	565	31,084
	紙芝居	2,111	36	0	3	-1	32	2,143
	小計	82,535	2,040	182	372	117	1,967	84,502
ティーンズ資料		9,248	730	50	119	-41	620	9,868
参考図書		27,211	523	47	11	-32	527	27,738
郷土資料		77,590	306	1,421	1	237	1,963	79,553
視覚障がい用	点字	1,551	0	2	0	0	2	1,553
	録音図書	6,124	0	15	27	0	-12	6,112
	小計	7,675	0	17	27	0	-10	7,665
視聴覚資料	ビデオテープ	3,917	0	0	1	0	-1	3,916
	DVD	5,301	5	0	99	75	-19	5,282
	CD	7,885	63	60	25	244	342	8,227
	CD-ROM	42	0	0	0	0	0	42
	AV他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	17,145	68	60	125	319	322	17,467
合計		693,876	16,039	4,664	2,733	750	18,720	712,596
児童読書活動支援		42,832	2,335	356	391	-4	2,296	45,128
地域図書室		123,588	5,734	288	5,664	-70	288	123,876

(3) 貸出状況

ア 貸出人数

(平成 26 年度実績)

月	開館日数	一般	児童	計	地域図書室	合計
4	25	26,698	4,238	30,936	11,284	42,220
5	27	29,849	4,183	34,032	11,655	45,687
6	26	29,020	4,514	33,534	11,605	45,139
7	26	29,346	6,089	35,435	13,083	48,518
8	27	30,464	6,931	37,395	13,055	50,450
9	26	29,005	4,330	33,335	11,329	44,664
10	26	28,338	4,212	32,550	12,249	44,799
11	26	28,005	4,506	32,511	11,530	44,041
12	24	24,704	3,921	28,625	10,483	39,108
1	20	23,878	3,749	27,627	10,831	38,458
2	25	27,974	4,333	32,307	11,458	43,765
3	26	29,538	4,714	34,252	11,908	46,160
計	304	336,819	55,720	392,539	140,470	533,009

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

イ 貸出冊数

(平成 26 年度実績)

月	入館者数	一般書	児童書	計	地域図書室	合計
4	92,580	102,846	38,777	141,623	42,592	184,215
5	113,071	113,200	50,503	163,703	42,807	206,510
6	110,024	106,173	57,616	163,789	43,003	206,792
7	113,574	107,852	59,580	167,432	49,377	216,809
8	131,603	114,113	56,807	170,920	49,861	220,781
9	101,392	106,954	52,954	159,908	42,410	202,318
10	104,571	104,820	51,534	156,354	45,921	202,275
11	110,614	103,733	53,411	157,144	44,553	201,697
12	86,135	94,022	44,522	138,544	41,034	179,578
1	85,160	90,785	46,880	137,665	42,182	179,847
2	109,807	105,068	40,563	145,631	43,959	189,590
3	107,135	110,622	42,451	153,073	45,203	198,276
計	1,265,666	1,260,188	595,598	1,855,786	532,902	2,388,688

※ 団体貸出を含む。

(4) 地域図書室

南部・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美・中央の各市民センター、岡崎げんき館

(5) 物流業務

図書館及び地域図書室で借りた図書資料は、いずれの施設窓口でも返却可能
予約することにより、図書館の蔵書を各地域図書室の窓口で貸出可能

(6) 児童読書活動支援

児童の読書活動の推進を目的とし、朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援するため、市内小学校等を対象に平成 25 年度から実施している。

学校規模に応じて資料数を定め、2 か月に 1 回の定期配送を行う。また、各校の申込みに応じて教科・単元の資料を配送している。

(7) 額田図書館

額田町立図書館として昭和 52 年 3 月に開館し、平成 7 年 3 月に建物を一部増築した。館内は開架室、閲覧室、児童室、新聞・雑誌コーナーがあり、コンピュータにより図書の管理を行っている。平成 18 年 1 月、合併により岡崎市立額田図書館に名称変更し、同年 10 月中央図書館とシステム統合をした。

ア 施設概要

所在地	岡崎市樫山町字山ノ神 10 番地 1	
構造	鉄筋コンクリート造平屋建（一部 2 階建）	
延床面積	562 m ²	
開館時間	午前 9 時～午後 5 時	
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、特別整理休館日	
施設内容	1 階	開架室、児童室、新聞雑誌コーナー、事務室、閉架書庫、 閲覧室、機械室
	2 階	閲覧室

イ 蔵書状況

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区分		平成 25 年 度末合計	受入		除籍	更正	増減	平成 26 年 度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	27,709	759	190	569	-179	201	27,910
	大活字	212	0	0	0	0	0	212
	洋書	1	0	0	0	0	0	1
	小計	27,922	759	190	569	-179	201	28,123
児童書	児童書	8,239	176	19	444	-126	-375	7,864
	絵本	4,656	138	4	2	-3	137	4,793
	紙芝居	1,051	11	0	0	0	11	1,062
	小計	13,946	325	23	446	-129	-227	13,719
ティーンズ資料		1,571	13	3	0	43	59	1,630
参考図書		934	2	6	2	4	10	944
郷土資料		2,620	0	49	1	12	60	2,680
合計		46,993	1,099	271	1,018	-249	103	47,096

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

ウ 貸出状況

■ 貸出人数

(平成 26 年度実績)

月	開館日数	一般	児童	計
4	25	574	89	663
5	27	639	95	734
6	26	606	104	710
7	26	584	153	737
8	27	707	160	867
9	26	644	120	764
10	26	660	130	790
11	26	702	130	832
12	24	574	107	681
1	24	650	125	775
2	25	661	127	788
3	26	738	146	884
計	308	7,739	1,486	9,225

■ 貸出冊数

(平成 26 年度実績)

月	一般書	児童書	計
4	1,687	1,111	2,798
5	1,822	1,206	3,028
6	1,657	1,236	2,893
7	1,663	1,377	3,040
8	1,920	1,639	3,559
9	1,869	1,419	3,288
10	1,833	1,390	3,223
11	1,905	1,592	3,497
12	1,659	1,242	2,901
1	1,865	1,751	3,616
2	1,877	1,508	3,385
3	2,173	1,579	3,752
計	21,930	17,050	38,980

(8) 図書館開催講座等

図書館では、館内で活動するボランティアの育成を図るとともに、市民の文化・教養を深める手助けをし、さらに読書意欲の向上を促すために各種講座等を開催している。

ア 中央図書館

(平成 26 年度実績)

名 称	内 容	日数	開講時間
古文書翻刻ボランティア	館内地域資料の古写本について、利用者の利便性向上を図るため翻刻を行う。	12	毎月第3月曜日
ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	ストーリーテリングに必要な、おはなしの選び方・語り方などについて学ぶ。	3	5月～7月
読み聞かせボランティア養成講座	子ども図書室や市民センターでの読み聞かせに必要な、絵本の選び方・読み方、プログラムの組み立てかたなどを学ぶ。	5	9月～11月
ブックスタートボランティア養成講座	ブックスタートボランティアとして活動するための知識や絵本の読み方などを学ぶ。	3	12月～1月
科学あそび講座 〔夏休み〕〔冬休み〕	小学生を対象に、簡単な科学の実験を通して、科学の面白さ、不思議さを学ぶ。	2	8月・12月
おはなし会	ボランティアにより絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。 時間は午前10時50分から11時10分／ 11時20分から11時40分（火・木曜日） 午後2時30分から3時（土曜日）	149	毎週火曜日 木曜日 土曜日
おはなしと紙しばいの会	午後4時から4時30分	100	毎週月曜日 木曜日
ストーリーテリングにおいてよ！	絵本を使わずにお話を語る、ボランティアによるおはなし会。 （4月）子ども読書の日記念イベント （8月）夏のおはなし会 （12月）冬のおはなし会 時間は午後3時30分から4時	11	毎月第4土曜日
外国語の読み聞かせ	月に1回ポルトガル語・中国語・英語のローテーションで外国語の読み聞かせを行う。 時間は午後1時から1時30分	9	月1回土曜日
子ども一日図書館司書体験	一日図書館司書となって、図書館の仕事を体験する。	4	4月・8月

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

名 称	内 容	日数	開講時間
金のりんご「つくってみよう なまええほん」	子ども読書の日記念イベント	1	4 月
夏休み読書相談	読書の相談に応じる。	4	7 月～8 月
クリスマスのおはなし会	クリスマスのおはなしやパネルシアター の上演	3	1 2 月
データベース活用セミナー	有料データベースの使い方説明会。 (8 月) データベース体験会 ・ルール電子図書館を使ってみよう ・身近な法律を調べてみよう (10 月) データベースを利用して自分 史をつくろう！	3	8 月・10 月
ビ ジ ネ ス 支 援 講 座 (創業・経営支援)	「明日から実践できる！売上アップ計 画」と題し、営業戦略の立て方や実践方 法について学ぶ。	1	2 月
おはなし会	ボランティアにより絵本や紙芝居の読 み聞かせを行う。南部市民センター図書 室にて 時間は午後4時から4時30分まで	43	毎週火曜日
おはなしと紙しばいの会	絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。南部 市民センター図書室にて 時間は午後3時から3時30分まで	49	毎週日曜日

イ 額田図書館

(平成 26 年度実績)

名 称	内 容	日数	開講時間
絵本おはなし会	絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。	12	毎月第2土曜日
0・1・2おはなし会	赤ちゃんとその保護者に読み聞かせを 行う。	12	毎月第3木曜日

4 図書館交流プラザ 愛称:Libra(りぶら)

「岡崎市図書館交流プラザ」は、図書館を核とした「楽・習・交流」を育む魅力ある生涯学習拠点の形成をメインテーマに、市民の知的・文化的ニーズへの対応による自己実現と自主的な活動及び岡崎らしさの発信により、多様な交流機会を創出することを目的として、平成20年11月1日に開館した。

最新設備を導入した100万冊の収蔵能力を持つ中央図書館をはじめ、生涯学習・市民活動・国際交流・男女共同参画の各センター機能を統合した市民活動総合支援センター、ホール、スタジオ、内田修ジャズコレクション展示室、岡崎むかし館など、従来の図書館という枠を超えて幅広い分野にまたがり、知的交流を楽しむ施設となっている。

また、施設の設計や運営計画の検討にあたっては、平成16・17年度の2年間にわたる設計段階における市民検討ワークショップやその後のサポーター支援会議に寄せられた、市民の願いが生かされている。

開館後も、ワークショップ等に参加した方々が中心となって、りぶらサポータークラブを設立し、自主的な施設サポーターとして活躍している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西四丁目71番地	
事業年度	平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18～19年度 本体工事 平成19～20年度 外構工事	
開館日	平成20年11月1日(土)	
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造鉄筋鉄骨コンクリート造	
延床面積	約18,000㎡(屋内駐車場除く)	
主要施設	中央図書館(明大寺町から移転) 市民活動総合支援センター(生涯学習センター、市民活動センター、国際交流センター、男女共同参画センター) 岡崎むかし館(歴史資料展示室)、内田修ジャズコレクション展示室、ホール(可動席最大292席)、スタジオ(大1、中2、小3計6室) 会議室7室、和室、創作室、調理室	
駐車場	約450台	
利用時間	午前9時～午後9時	
休館日	水曜日(祝日に当たる場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	

(2) 生涯学習

情報チラシ(一般向け、子ども・親子向け)の発行 各種講座の企画運営
岡崎市民ボランティア講座の登録 出前講座の受付 市民センターの管理運営

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(3) 市民活動

- ア LSC（りぶらサポータークラブ）との連携取組
- イ 市民活動センターを中心とした各種市民活動支援
- ウ 北部地域交流センター（なごみん）・南部地域交流センター（よりなん）・西部地域交流センター（やはぎかん）・東部地域交流センター（むらさきかん）・地域交流センター六ツ美分館（悠紀の里）の管理運営

(4) 国際交流

- りぶら国際交流センター（LICC）で開催
- ア 言語スタッフ（英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、タガログ語）による各種市民相談（生活・手続等）、翻訳・通訳支援、多言語情報紙作成をはじめとする情報提供
- イ 国際理解セミナー（ワールドレクチャー、ワールドクッキング、ことばの教室、多文化紹介セミナー、）チャットサロン、キッズセミナー、カルチャーサロン、リビングガイドセミナー）の開催
- ウ 外国人、日本人双方の情報交換及び案内用掲示板設置
- エ 国県市町村、国際化協会等発信の外国人向け情報の提供
- オ ボランティアによる外国人市民支援事業に係る補助（事務局）

(5) 男女共同参画

- ア 男女共同参画企画事業の実施
 - ・ 男女共同参画セミナー（6月お父さんの出番です～家族がハッピーになる家事・育児・介護のススメ、10月～12月防災、DV）
 - ・ 男女共同参画講座（法律講座、コミュニケーション上達講座、愛知県DV出前講座、ときめきライフプラン講座、働きたいママ応援講座）
 - ・ 男性の家庭参画応援講座（イクメン・イクジイ講座、新米コックおとこの料理教室）
 - ・ 健康づくり支援講座
 - ・ 託児サポーターステップアップ講座
 - ・ 男女共同参画協同事業（女性のためのパソコン講座、中日料理、パパと子どものパン作り教室）
- イ 男女共同参画企画事業開催等に伴う託児の実施

5 美術館

岡崎市美術館は、昭和 47 年 8 月美術文化の振興を目的として開館された。以来市民の美術・文化活動の発表・鑑賞の場として、年間約 140 の美術団体等に利用されている。

なお、ソフト事業として収蔵品を中心とした企画展の開催や美術教室・美術講座を開講している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市明大寺町字茶園11番地 3（電話 51-4280）		
構造	本館：鉄筋コンクリート造 2 階建（延床面積 1,773.63㎡） 東館：鉄筋コンクリート造 3 階建（延床面積 2,580.29㎡）		
施設内容	本館	1 階	展示室 2・収蔵庫・事務室・ロビー（常設展示）・荷解室等
		2 階	展示室 2・収蔵庫 2・ロビー・荷解室等
	東館	1 階	展示室 2・ロビー・控室等
		2 階	講座室 2・美術資料室等
		3 階	資料室等
開館時間	午前10時～午後 6 時 （入場時間は午後 5 時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）		



Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(2) 平成26年度展示室利用状況

(平成27年3月31日現在)

	利 用 状 況							計	展 示 延日数 (日)	入場者 延人数 (人)	各催事 1日平均 入場者数 (人)
	市 等 主 催	総 合	絵 画	書 道	写 真	工 芸	そ の 他				
平成26年4月	0	2	3	4	2	2	1	14	67.5	11,191	166
5月	1	1	2	1	0	2	0	7	40.0	7,548	189
6月	0	2	8	0	1	3	0	14	72.5	8,985	124
7月	0	2	9	3	1	0	0	15	73.5	9,061	123
8月	0	1	3	2	0	0	0	6	35.0	6,307	180
9月	0	1	5	0	3	4	1	14	73.5	8,745	119
10月	1	2	3	3	4	0	0	13	71.5	15,565	218
11月	0	7	4	5	1	1	1	18	92.5	12,597	136
12月	1	1	1	0	1	1	0	5	34.5	4,129	120
平成27年1月	1	3	2	3	2	0	0	11	52.0	15,261	293
2月	0	3	5	2	0	1	0	11	55.5	6,386	115
3月	1	1	6	8	0	0	2	18	89.0	15,770	177
計	5	26	51	31	15	14	4	146	757.0	121,545	161

(3) 平成26年度美術館主催企画展

展 覧 会 名	会 期	入場者数
第29回風景の会絵画展	12月5日～12月23日	2,379 人
美術教室修了展	3月4日～3月8日	778 人

S

6 美術博物館（マインドスケープ・ミュージアム）

岡崎市美術博物館はマインドスケープ・ミュージアムを館の愛称とし、「心を語るミュージアム」として年間5～6本の展覧会を企画し、美術だけでなく、歴史・民俗など幅広いテーマを視野に入れた展覧会を開催している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内（電話 28-5000）	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	6,468 m ²	
施設内容	地下1階	特別収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、くん蒸室、工作室、スタジオ
	1階	展示室、セミナールーム、学芸員室、会議室
	2階	図書コーナー、レストラン
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	
休館日	月曜日（祝日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日） 年末年始（12月28日～1月3日） ※改修工事のため平成27年4月1日から平成28年3月31日まで休館	

(2) 平成26年度展覧会

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均
企画展 「藤井達吉の全貌」	4月5日～6月1日	50日	4,000人	80人
収蔵品展 「古文書 みりよく発見！」	6月14日～7月27日	38日	2,200人	58人
企画展 「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」	8月9日～9月21日	38日	14,454人	380人
企画展 「浮世絵の美－平木コレクション特別公開－」	10月4日～11月24日	45日	11,195人	249人
収蔵品展 「そこに在るということ」	12月2日～1月18日	36日	1,342人	37人
収蔵品展 「暮らしのうつりかわり」	1月31日～3月29日	50日	5,021人	100人



7 少年自然の家

少年たちを自然に親しませ、自然の中での集団生活を通して、情操や社会性を豊かにするとともに心身を鍛錬し、健全な少年の育成を図ることを目的とする。

(1) 施設概要

所在地 岡崎市須淵町字屋名平 44 番地 1 (電話 47-2357)

施設 敷地面積 211,200.26 m²

名 称	構 造 等	延床面積	収容人数
管 理 等	鉄筋コンクリート造 2 階建	990 m ²	
宿 泊 棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,087 m ²	208 人
体 育 館	鉄骨造 2 階建	649 m ²	250 人
創 作 棟	鉄筋コンクリート造木造平屋建	273 m ²	96 人
毛 布 小 屋	軽量鉄骨造 2 階建て	65 m ²	
天 体 観 測 所	鉄筋コンクリート造 2 階建	56 m ²	
丸 太 小 屋	8 棟	187 m ²	100 人
管 理 小 屋	1 棟	36 m ²	10 人
炊 事 場	3 箇所	83 m ²	
そ の 他 建 物	倉庫、トイレ等	226 m ²	
キ ャ ン プ 場	2 箇所		250 人
炊 飯 場	3 箇所	83 m ²	
雨天ファイヤー場	1 箇所		60 人
落 葉 ス キ ー 場	2 コース		
遊 戯 施 設	10 基		
カ ヌ ー 場	15 艇		
そ の 他	オリエンテーリングコース (28 ポイント)、ハイキングコース、広場、旗掲揚塔、火文字塔、遊歩道、避雷針等		

(2) 宿泊施設利用状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

	21 年 度		22 年 度		23 年 度		24 年 度		25 年 度		26 年 度	
	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
小 学 校	48	12,493	47	12,564	47	12,447	47	12,336	47	12,204	47	11,369
中 学 校	19	8,332	19	8,075	19	8,615	19	8,215	20	8,221	20	7,822
少年団体	16	1,627	17	1,847	20	1,311	22	1,546	22	1,530	22	1,851
一 般	10	1,256	9	1,147	8	816	10	794	10	770	8	731
合 計	93	23,708	92	23,633	94	23,189	98	22,891	99	22,725	97	21,773

8 少年愛護センター

青少年の健全育成の推進と非行防止のための活動を行う。

(1) 施設概要

岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内） 電話 51-3283

(2) 指導員 計193人（平成27年4月現在）

小学校教員	48人	中学校教員	22人	高等学校等教員	18人
地域指導員	82人	警察少年係	10人	少年補導職員	4人
児童相談センター	1人	社会教育課職員	6人	少年愛護センター職員	2人

(3) 街頭補導

街頭補導は、ぐ犯少年・不良行為少年の早期発見・指導をし、少年非行の早期防止を目的とする。また少年の愛護善導を行う。

ア センター補導 1日2回（午前・午後）、市内中心部・繁華街等巡回
夜間補導（月3回程度）

イ 学区補導 月1回（午後）、20中学校区
各小中学校指導教員と地域指導員が集まり情報交換と併せて実施
（平成26年度実績）

		小学生	中学生	高校生	その他	有職	無職	合計
行 為	家出	0	0	0	0	0	1	1
	怠学・怠業	3	4	0	0	0	0	7
	喫煙	0	0	1	0	8	2	11
	飲酒	0	0	0	0	0	0	0
	はいかい	152	434	832	58	42	10	1,528
	危険行為	0	2	8	8	3	0	21
	不良交友	0	0	0	0	0	0	0
	その他	535	624	542	77	38	10	1,826
	刑罰法令に触れる行為	0	0	0	0	0	0	0
	合計	690	1,064	1,383	143	91	23	3,394

(4) 少年相談

少年非行や問題行動について、面談または電話による相談業務を行う。

平成26年度実績

面接相談	7件	計 31件
電話相談	24件	

第3 文化財

1 文化財保護

市内に点在する歴史上・学術上の価値の高い文化財の適切な保護・保存と文化財の持つ意義と大切さを啓発するとともに、常に十分な調査研究を行う。

(1) 文化財保護の主要事務・事業

- ア 文化財の保存・管理の指導助言
- イ 文化財の調査・研究及び指定

(2) 文化財移動教室

(平成 26 年度)

期 日	コ ー ス	募集人員	応募者数	参加者数
8 月 8 日	美術から学ぶ仏教世界	30 人	29 人	27 人
8 月 9 日	とことん古墳 ー古墳にはいろいろ！ー	30 人	41 人	30 人
9 月 11 日	魅惑の近代化遺産をめぐる	20 人	29 人	20 人
10 月 1 日	岡崎市北部の民俗を訪ねて	30 人	88 人	27 人
10 月 30 日	天然記念物を訪ねる	30 人	39 人	30 人
11 月 11 日	松平八代と徳川家康	30 人	48 人	26 人
11 月 28 日	大日如来を訪ねて	20 人	21 人	16 人
11 月 29 日	天台・真言宗寺院の建築を訪ねる	30 人	38 人	27 人

(3) 親子文化財教室

(平成 26 年度)

期 日	テ ー マ	参加者数
12 月 13 日	文化財ってなあに？	4 人

(4) 岡崎ゲンジボタル増殖事業

国指定天然記念物「岡崎ゲンジボタル発生地」、及び岡崎市指定天然記念物「ゲンジボタル」についてその発生地である矢作川水系、乙川、山綱川、鉢地川、男川等の河川敷の環境浄化活動並びにホタルの保護・増殖事業を、地元の岡崎ゲンジボタル河合保存会（河合中学校生徒協力）と生田蛸保存会（美合小学校児童協力）、鳥川ホタル保存会に委託して実施

(5) 指定文化財及び登録文化財数

ア 指定文化財数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

種 別	国 指 定	県 指 定	市 指 定	計
建 造 物	13	2	16	31
絵 画	6	8	57	71
彫 刻	3	7	48	58
工 芸 品	3	9	42	54
書 跡・典 籍・古 文 書	1	1	21	23
考 古 資 料	0	2	2	4
歴 史 資 料	0	0	4	4
無 形 民 俗 文 化 財	0	2	4	6
有 形 民 俗 文 化 財	0	2	7	9
史 跡	3	3	24	30
天 然 記 念 物	1	2	28	31
計	30	38	253	321

イ 国登録文化財数

建造物 12 件

ウ 新たに指定・登録された文化財

指 定	名 称	所 有 者	時 代
国指定重要文化財（絵画） 平成 26 年 8 月 21 日国指定	絹本著色光明本尊	妙源寺	鎌倉
国登録文化財（建造物） 平成 26 年 10 月 7 日国登録	旧本多家住宅主屋	岡崎市	昭和 7 (1932) 建築
県指定文化財（彫刻） 平成 26 年 8 月 1 日県指定	木造阿弥陀如来坐像	称名寺	鎌倉初期



〈絹本著色光明本尊 妙源寺〉



〈木造阿弥陀如来坐像 称名寺〉

愛知県総務部法務文書課県史編さん室撮影

(6) 指定文化財保存事業に対する補助

- ア 重要文化財大樹寺大方丈障壁画岡田為恭筆保存修理事業
- イ 重要文化財六所神社（本殿、幣殿、拝殿、神供所、楼門）保存修理事業
- ウ 無形民俗文化財大嘗祭悠紀斎田装束保存修理事業
- エ 無形民俗文化財保存育成活動事業
- オ 指定文化財防災設備保守点検事業

(7) 旧本多忠次邸管理運営事業

市内小学校 4 年生の団体見学
企画展、歴史文化講座の開催

(8) 六ツ美歴史民俗資料室管理運営事業

民俗資料室展示業務、企画展開催

(9) 埋蔵文化財調査事業

市内遺跡の発掘・試掘調査



(10) 調査報告書の刊行

『坂戸遺跡Ⅱ』

〈旧本多忠次邸 食堂〉

(11) 文化財保護業務及び文化財施設等整備業務

- ア 市指定史跡の岡崎城跡石垣調査
- イ 岩津城跡の歩道整備工事
- ウ 西大平藩陣屋跡の冠木門改修工事・トイレ整備工事
- エ 藤川宿資料館の床改修工事

(12) 近代化遺産保存復原活用業務

- ア 旧本宿村役場の復元基本設計の策定
- イ 旧愛知県第二尋常中学校講堂の雨樋修繕

(13) 岡崎（城址）公園整備業務

市史跡岡崎城跡菅生曲輪の整備基本計画を策定

(14) 歴史まちづくり事業

歴史的風致維持向上計画の策定（平成 26～27 年度）

2 旧本多忠次邸

旧本多忠次邸は、旧岡崎藩主本多家（本多忠勝系）の末裔にあたる本多忠次（1896-1999）が昭和7年（1932）に東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したものである。

2階建ての建物は、屋根にフランス瓦を葺き、1階の西側には車寄せをつけた玄関、南側中央には三連アーチのアーケード・テラス、続く右端には2階までの半円形のボウ・ウインドウを配置している。内部は日本間と洋間を共存させた初期の時代の住宅形式となっており、当時流行したステンドグラスやモザイクタイルの装飾、照明器具や家具などをオリジナルのままに設置している。また前庭では、日本のスパニッシュ建築様式には欠かせないといわれる壁泉を見ることができる。

岡崎市では、建築や意匠等に価値がある旧本多邸を保存し、その活用を通じて、文化財の保護についての関心や理解を深めることを目的として一般に公開している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市欠町字足延 40 番地 1 (電話 23-5015)
利用時間	午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分)
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 展示替期間
用途	建物展示、館内での常設展示・企画展示 歴史文化講座の開催等、有料貸ギャラリー
入場料	平常展は無料、企画展は有料
開館日数	306 日
入場者数	15,724 人



(2) 平成 26 年度特別展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
涼月祭	7 月 1 日～7 月 13 日	12 日	1,114 人
ほんとの うえの ツクリゴト	2 月 14 日～3 月 29 日	38 日	1,727 人

(3) 平成 26 年度開催の歴史文化講座

開催日	講座名	講師	参加人数
9 月 24 日	幕末の岡崎藩～藩主本多家と明治維新	堀江 登志実	27 人
10 月 9 日	地図で見る近代の岡崎ー明治ー	渡邊 則雄	20 人
10 月 23 日	地図で見る近代の岡崎ー大正・昭和ー	渡邊 則雄	24 人
12 月 11 日	博物館明治村にみる近代和風建築の魅力について	石川 新太郎	24 人
12 月 17 日	アール・ヌーヴォー、アール・デコとは？	池田 まゆみ	28 人
12 月 24 日	左官小史ー建築を彩る塗り壁の世界ー	齊藤 金次郎	25 人
合 計			148 人

3 六ツ美歴史民俗資料室

大正期に実施した大嘗祭悠紀斎田の古跡地に整備された地域交流センター六ツ美分館「悠紀の里」内にあり、市指定無形民俗文化財「大嘗祭悠紀斎田」を始め六ツ美地域の歴史や文化財などを展示紹介している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市中島町字上丸ノ内 7 番地 4（電話 57－5050） 「地域交流センター六ツ美分館 悠紀の里」内
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
休館日	月曜日（祝日の場合は、翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
展示内容	4 つのゾーンに分け展示を構成
① 六ツ美のむかし 原始～近代の年表、図表・イラスト解説、石器・土器の展示 ② 大嘗祭悠紀斎田 農耕具・小型品・紙製品等の展示、解説、映像展示 ③ 六ツ美のいま 大嘗祭悠紀斎田以後～現在の年表、祭礼・行事映像放映、六ツ美地域の文化財紹介 ④ 企画展示 企画展、常設部分の補完展示	
入場料	無料
開館日数	309 日
入場者数	22, 226 人



(2) 平成 26 年度企画展

企画展名	会期	日数	入場者数
企画展「六ツ美の民俗 御田扇祭り」	6 月 24 日～9 月 28 日	84 日	3, 816 人
歴史フォーラム「再発見！御田扇祭り」	6 月 29 日	1 日	31 人

第4 社会体育

1 体育振興

(1) スポーツ推進委員

ア 人数 119 人

イ 選出母体

学区 119 名（原則人口 9,000 人以上 3 名、人口 9,000 人未満 2 名）

ウ スポーツ推進委員連絡協議会事業（平成 26 年度実績）

期 日	事 業 内 容	会 場	参 考
4 月 9 日	総 会	岡崎市福祉会館	
4 月 15 日	理事会	岡崎市福祉会館	理 事
5 月 18 日	第 1 回全体研修会	花園体育センター	研修部・ス推全員
6 月 8 日	第 20 回岡崎市スポーツ・レクリエーション祭	岡崎中央総合公園	
7 月 1 日	理事会	岡崎市福祉会館	理 事
7 月 5 日	愛知県スポーツ推進委員連絡協議会研修会	刈谷市	
8 月 24 日	ブロック研修会（六ツ美）	六ツ美中部小学校	研修部
8 月 30 日	第 2 回全体研修会	花園体育センター	研修部・ス推全員
9 月 20 日	スポーツ推進委員愛知大会	名古屋市	
9 月 25 日	全国スポーツ推進委員研究協議会	岩手県盛岡市	（～26 日）
10 月 12 日	第 61 回岡崎市民体育祭	岡崎中央総合公園	事業部
10 月 25 日	西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	みよし市	
11 月 2 日	第 15 回岡崎市スローピッチソフトボール交歓会	岡崎中央総合公園	事業部
11 月 26 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会審判講習会	岡崎市体育館	事業部
12 月 2 日	理事会	岡崎市福祉会館	理 事
12 月 14 日	第 29 回学区交歓ソフトミニバレーボール大会	岡崎中央総合公園	事業部
1 月 18 日	第 66 回岡崎市民駅伝競走大会	市内一円	
1 月 30 日	東海四県スポーツ推進委員研究大会	蒲郡市	（～31 日）
2 月 8 日	ブロック研修会（額田）	豊富小学校	研修部
3 月 10 日	理事会	岡崎市福祉会館	理 事



〈岡崎市民体育祭〉

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(2) スポーツ大会等開催事業

期日	行 事 名	会 場	参加者数
4 月	平成 26 年度春季岡崎市民射撃大会	藤川射撃場	26
	第 43 回岡崎市民アーチェリー大会	愛知県岡崎総合運動場アーチェリー場	127
	第 54 回岡崎市民剣道大会	岡崎市体育館	826
	第 49 回岡崎市民サッカー大会	愛知県岡崎総合運動場他	350
	平成 26 年度岡崎市民テニス大会	中央総合公園テニスコート	475
	第 42 回岡崎市民ボウリング大会	グランドボウル・サンボウル	113
	第 51 回岡崎市民春季総合ソフトボール大会	愛知県岡崎総合運動場野球場他	1,299
	平成 26 年度青少年育成ボクシング講習会	乙川河川敷特設リング	68
	第 66 回岡崎市民ソフトテニス大会	中央総合公園テニスコート	718
	平成 26 年度春季岡崎市民総合卓球大会	岡崎市体育館	1,087
	第 51 回岡崎市民弓道大会（近的の部）	中央総合公園弓道場	287
	第 44 回岡崎市民バドミントン選手権大会（ダブルスの部）	岡崎市体育館	166
	第 53 回岡崎市民総合ハンドボール大会（高校・一般）	岡崎北高校他	352
	第 16 回岡崎市民グラウンド・ゴルフ大会	中央総合公園球技場	594
	第 92 回岡崎市民ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	1,000
	第 48 回岡崎市民軟式野球選抜選手オールスター大会	岡崎市民球場	96
	平成 26 年度春の市民ラグビー祭り	中央総合公園多目的広場	120
	第 60 回岡崎市民総合バレーボール大会（高校・一般）	岡崎市体育館他	408
	第 44 回グライダー市民体験飛行の会	グライダー練習場	21
5 月	第 60 回岡崎市民総合バレーボール大会（ソフトバレー）	中央総合公園体育館	290
	第 31 回岡崎市民ゲートボール大会	六名公園運動場	199
6 月	第 49 回岡崎市民サッカー大会（小学生の部）	渡橋運動広場他	440
	第 49 回岡崎市民空手道大会	中央総合公園武道館	195
7 月	第 34 回岡崎市民小中学生すもう選手権大会	中央総合公園相撲場	38
	第 12 回 Let's インディアカ大会	中央総合公園武道館	189
8 月	平成 26 年度夏季岡崎市民総合卓球大会	岡崎市体育館	1,109
	第 35 回岡崎市民バスケットボール選手権大会	岡崎市体育館	493
	第 67 回岡崎市民水泳大会	愛知県岡崎総合運動場 50m プール	332
	第 39 回岡崎なぎなた選手権大会	中央総合公園第 1 錬成道場	60
9 月	第 55 回岡崎市民総合剣道大会	中央総合公園武道館	502
	第 30 回岡崎市民総合ハンドボール選手権大会（中学の部）	美川中学校	90
	第 10 回岡崎市民サイクリング大会	地域文化広場～三河湖	495
	第 46 回岡崎市民陸上競技選手権大会	愛知県岡崎総合運動場陸上競技場	1,437
	平成 26 年度少林寺拳法岡崎大会	勤労者体育センター	21
10 月	第 51 回岡崎市民総合ソフトテニス大会	中央総合公園テニスコート	270
	第 30 回岡崎市民総合ハンドボール選手権大会（高校一般の部）	岡崎市体育館	510
	第 12 回健康ウォーク 21 岡崎大会	東公園周辺	87
	第 43 回岡崎市民カヌー大会	巴川カヌー練習場	82
	第 12 回岡崎市民オリエンテーリング大会	東公園周辺	200
11 月	第 46 回おかざきマラソン	岡崎中央総合公園及び周辺道路	4,861
	第 93 回岡崎市民ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	1,000
	第 44 回岡崎市民バドミントン選手権大会（混合ダブルス）	岡崎市体育館	112
	第 32 回岡崎市民居合道大会	花園体育センター	88
	平成 26 年度岡崎少年野球大会	愛知県岡崎総合野球場他	311
12 月	第 30 回合気道演武大会	中央総合公園第 2 錬成道場	70
	第 34 回岡崎市民柔道大会	中央総合公園第 1・第 2 錬成道場	298
	第 10 回岡崎市民スケート教室兼スケート記録会	あさひヶ丘スケートリンク	43
1 月	第 11 回岡崎市民スケート教室兼スケート記録会	あさひヶ丘スケートリンク	36
	第 15 回岡崎市民綱引大会	中央総合公園武道館	165
2 月	第 55 回岡崎市民スキー大会	志賀高原スキー場	34
3 月	第 51 回岡崎市民弓道大会（遠的の部）	中央総合公園弓道場	138
合 計			22,328

(3) 学校体育施設スポーツ開放事業

ア 学校体育施設利用状況

(平成 26 年度)

開放時間数	学 校 名	備 考
420 時間	梅 園 根 石 男 川 緑 丘 羽 根	小学校 45 校
	岡 崎 三 島 竜 美 丘 連 尺 井 田	
	本 宿 細 川 大 樹 寺 大 門 六 美 中 部	
	上 地 城 南 小 豆 坂 美 合 六 名	
	広 幡 愛 宕 竜 谷 藤 川 奥 殿	
	矢 作 東 矢 作 北 矢 作 西 矢 作 南 六 美 南 部	
	豊 富 宮 崎 福 岡 山 中 六 美 北 部	
	北 野 六 美 西 部 下 山 常 磐 生 平 埜	
	秦 梨 恵 田 常 磐 東 夏 山 形 埜	
	額 田 甲 山 美 川 竜 海 葵 矢 作	
	城 北 福 岡 東 海 岩 津 矢 作	
	六 ツ 美 矢 作 北 新 香 山 竜 南 北	
	六 美 北 南 常 磐 翔 南	
	岩 津	小学校 1 校
300 時間	河 合	中学校 1 校
	常 磐 南	小学校 1 校
45 時間	岡 崎 岡 崎 北 岡 崎 西 岩 津	県立高校 4 校
	岡 崎 盲	県立学校 1 校

イ 学校運動場（夜間照明設備）

(平成 26 年度)

学 校 名	開設年月日	内 容
連尺小学校	(照明 S 55. 8. 17)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 204Lx
大樹寺小学校	H14. 4. 1 (移設)	3,500 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 373Lx
矢作北中学校	(照明 S 59. 4. 1)	6,200 m ² ◎軟式野球 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 60 灯平均 555Lx
根石小学校	(照明 S 59. 7. 25)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 330Lx
竜美丘小学校	(照明 S 59. 7. 26)	4,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 281Lx
城南小学校	(照明 S 59. 7. 27)	4,700 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 291Lx
梅園小学校	(照明 S 59. 7. 29)	4,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 348Lx
羽根小学校	(照明 S 60. 4. 1)	4,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 344Lx
大門小学校	(照明 S 60. 8. 6)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 363Lx
小豆坂小学校	(照明 S 60. 8. 8)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 293Lx
岡崎小学校	(照明 S 60. 8. 9)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 276Lx
上地小学校	(照明 S 61. 9. 27)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 307Lx
緑丘小学校	(照明 S 61. 9. 28)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
井田小学校	(照明 S 62. 9. 4)	5,300 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 218Lx
細川小学校	(照明 H 1. 4. 1)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
本宿小学校	(照明 H 2. 4. 14)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 319Lx
三島小学校	(照明 H 2. 10. 7)	5,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 147Lx
六ツ美中部小学校	(照明 H 3. 9. 29)	5,130 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 171Lx
男川小学校	(照明 H 4. 9. 26)	5,454 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 177Lx
豊富小学校	(照明 S 53. 3. 29)	7,035 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 48 灯平均 402Lx

2 公益財団法人岡崎市体育協会

(1) 体育協会加盟団体

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

団 体 名	人数	団 体 名	人数
岡崎弓道会	134	岡崎市空手道連盟	427
岡崎市サイクリング協会	140	岡崎サッカー協会	735
岡崎水泳協会	51	岡崎市カヌー協会	40
岡崎市相撲連盟	36	岡崎スケート連盟	32
岡崎卓球協会	750	岡崎市ボウリング連盟	75
岡崎ソフトテニス協会	394	岡崎ラグビーフットボール協会	224
岡崎軟式野球協会	1,290	岡崎飛行クラブ	49
岡崎バスケットボール協会	2,383	岡崎市居合道連盟	30
岡崎市バレーボール協会	1,670	岡崎市アーチェリー協会	39
岡崎陸上競技協会	320	岡崎合気道連盟	100
岡崎市剣道連盟	1,173	岡崎バドミントン協会	774
岡崎射撃協会	39	岡崎なぎなた連盟	23
岡崎市ボクシング協会	75	少林寺拳法岡崎連合会	211
岡崎市柔道会	139	岡崎市ゲートボール協会	347
岡崎乗馬会	10	岡崎市グラウンド・ゴルフ協会	785
岡崎市スキー協会	200	岡崎市綱引連盟	108
岡崎ソフトボール協会	1,106	岡崎市インディアカ協会	31
岡崎ハンドボール協会	585	岡崎オリエンテーリング協会	230
岡崎テニス協会	927	岡崎市ウォーキング協会	124
		合 計 (38 団体)	15,806

(2) スポーツ教室開設状況

(平成 26 年度)

種 目	対 象	参加人員		期 間	回 数	活動時間
ゲートボール	小学生	100	人	4～8月	79回	120分
相撲	小・中学生	21	人	4～11月	25回	150分
オリエンテーリング	一般	15	人	6～12月	2回	180分
陸上	小・中学生	285	人	4～1月	17回	180分
弓道	一般	33	人	6～7月	15回	120分
バレーボール	一般女性	96	人	4～3月	35回	180分
ボウリング	一般	96	人	1～3月	10回	120分
居合道	一般	8	人	6～7月	8回	120分
ソフトテニス	一般女性	35	人	4～7月	16回	240分
ウォーキング	一般	85	人	4～11月	20回	240分
テニス	一般	10	人	1～2月	7回	90分
サッカー	小学生	120	人	4～3月	40回	120分
バドミントン	ジュニア	32	人	4～11月	20回	120分
バスケットボール	中学生	150	人	5～6月	2回	510分
なぎなた	一般	17	人	4～9月	44回	120分
ハンドボール	小中学生	50	人	6～2月	16回	180分
合 計 (16 教室)		1,153	人	—	—	—

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(3) スポーツ少年団活動状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区 分	対 象	団員内訳 (人)		指導者数 (人)	うち有資格者数	
		男	女		育成員	認定員
岡崎こども体育教室	小1～小6	49	39	14	1	2
岡崎子供バスケットボール	小4～小6	57	34	5	0	1
岡 崎 乗 馬	小3～高2	1	3	1	0	1
允武館	小1～中3	19	1	7	0	6
岡崎なぎなた	小1～高3	1	0	4	0	4
少年空手道市体育館	年長～高3	17	11	6	0	2
岡崎子ども女子体操	年少～小4女	0	11	2	1	0
岡崎子供バレーボール教室	小1～小6	1	21	6	0	5
岡崎ラグビー	年少～中3	9	0	3	0	1
岡崎市ソフトボール	小1～小6	35	3	20	3	11
福岡ラグビーフットボール	年少～小6	1	0	2	0	2
福岡サッカー	小1～小6	46	1	4	0	1
福 岡 剣 道	小1～小6	15	7	8	0	5
福岡バレーボール	小3～小6女	1	22	3	0	2
福岡バスケットボール	小2～小6	13	23	3	0	3
福岡バドミントン	小3～小6	8	6	7	0	3
矢作ラグビー	年少～小6	4	0	6	0	1
矢作バレーボール	小3～小6	13	27	11	0	7
岡崎西少年サッカー	年長～小6	35	0	12	0	1
大樹寺バレーボール	小3～小6	3	13	3	1	0
岡崎ハッピー乗馬	小3～高2	3	5	7	0	3
岡崎ボウリング	小1～高1	13	5	4	0	4
生和会 (空手道)	年中～高3	18	2	4	0	1
六ッ美空手道	小1～小6	13	0	3	0	2
岡崎少年野球教室 (軟式野球)	小1～小3	20	0	5	0	1
美川クラブ (軟式野球)	小4～小6	15	0	7	0	3
矢南アローズ (軟式野球)	小2～小6	22	0	2	0	2
矢作バンビーズ (軟式野球)	小1～小6	11	1	5	0	2
岡崎南少年野球クラブ (軟式野球)	小2～小4	57	0	9	0	6
六ッ美 J V C (バレーボール)	小1～小6女	7	8	2	0	2
六南クラブ (バレーボール)	小1～小6女	0	8	2	0	2
岡崎ジュニアバドミントンクラブ	年長～小4	6	7	2	0	1
額田アトムズ (軟式野球)	小1～小6	18	2	7	0	7
三河スターズ (軟式野球)	小1～小6	30	0	5	0	4
岡崎北バドミントンクラブ	小1～小6	3	7	1	0	1
上地クラブ (バレーボール)	小1～小6	10	12	7	0	4
岡崎市組討道	3歳～高3	91	22	8	0	6
岡崎竜の子 J V C	小1～小5男	9	1	4	0	3
岡崎 J V C	小1～小5女	0	10	7	0	2
常磐 J V C	小学生女子	0	18	3	0	2
松涛館流空手道教室	年少～中3	10	0	4	0	1
少年空手道大樹寺	年長～高3	18	7	13	0	9
龍城会少年空手道六名城南	年長～高3	3	2	4	0	1
少年空手道矢作	年長～高3	12	3	5	0	3
花園こども空手教室	年少～高3	14	1	3	0	2
合 計 (45 団体)		731	343	250	6	132

IV 資 料

第 1 . 教育委員会関係

第 2 . 学校関係

第 3 . 体育施設

第1 教育委員会関係

1 歴代教育委員会委員

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
石 川 亮	S 27. 11. 1				地方教育委員会制度の改正により S 31. 9. 30 退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1				〃
本 間 淳 治	S 27. 11. 1				〃
河 合 正 男	S 27. 11. 1				〃
浅 沼 か つ	S 27. 11. 1				〃
石 川 小一郎	S 31. 10. 1	S 33. 10. 1	S 37. 10. 1	S 41. 10. 1	S 45. 9. 30 退任
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1				S 33. 9. 5 退任
服 部 貞 弘	S 31. 10. 1				S 35. 9. 30 退任
佐々木 静 江	S 31. 10. 1	S 32. 10. 1	S 36. 10. 1	S 40. 10. 1	S 44. 9. 30 退任
三ツ井 源四郎	S 33. 6. 23	S 34. 10. 1			S 38. 9. 30 退任
内 藤 潮 邦	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1		S 47. 9. 30 退任
志 貴 彦 人	S 38. 10. 1	S 42. 10. 1			S 46. 9. 30 退任
永 屋 満	S 44. 10. 1	S 48. 10. 1			S 52. 9. 30 退任
内 田 克 治	S 45. 10. 1	S 49. 10. 1			S 53. 9. 30 退任
石 川 厳 夫	S 46. 10. 1	S 50. 10. 1			S 54. 9. 30 退任
松野尾 潮 音	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1			S 55. 9. 30 退任
中 西 か づ	S 52. 10. 1				S 56. 9. 30 退任
稲 葉 浅 吉	S 53. 10. 1				S 57. 9. 30 退任
岩 瀬 敬 司	S 54. 10. 1				S 58. 9. 30 退任
天 野 一 太	S 55. 11. 17				S 59. 11. 16 退任
矢 田 香 子	S 56. 10. 1	S 60. 10. 1			H 1. 9. 30 退任
糟 谷 正 孝	S 57. 10. 1	S 61. 10. 1			H 2. 9. 30 退任
後 藤 朋 美	S 58. 10. 1				S 62. 9. 30 退任
深 田 三太夫	S 59. 11. 17	S 63. 11. 17			H 4. 11. 16 退任
前 川 修	S 62. 10. 1				H 3. 9. 30 退任
内 藤 美智子	H 1. 10. 1	H 5. 10. 1			H 9. 9. 30 退任
太 田 清 美	H 2. 10. 1	H 6. 10. 1			H 10. 9. 30 退任

Ⅳ 資 料
第1 教育委員会関係

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
築 瀬 正 邦	H 3. 10. 1				H 7. 9. 30 退任
杉 山 光	H 4. 11. 17	H 8. 11. 17			H12. 11. 16 退任
杉 浦 壽 康	H 7. 10. 1	H11. 10. 1			H15. 9. 30 退任
仲 井 さ ち	H 9. 10. 1	H13. 10. 1			H17. 9. 30 退任
鈴 木 聰 一	H10. 10. 1	H14. 10. 1			H18. 9. 30 退任
寺 部 暁	H12. 11. 17	H16. 11. 17			H20. 11. 16 退任
大 原 憲 一	H15. 10. 1	H19. 10. 1			H23. 9. 30 退任
畔 柳 美奈子	H17. 10. 1	H21. 10. 1			H25. 9. 30 退任
平 野 有 行	H18. 10. 1				H22. 9. 30 退任
櫻 井 敬 子	H20. 11. 17	H24. 11. 17			
土 屋 武 志	H22. 10. 1	H26. 10. 1			
小 出 義 信	H23. 10. 1				
福 應 謙 一	H25. 10. 1				

※教育長を除く。

IV 資 料

第1 教育委員会関係

2 歴代教育委員会委員長

氏名	就任	退任	氏名	就任	退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1	S 29. 10. 31	後 藤 朋 美	S 60. 10. 1	S 61. 9. 30
本 間 淳 治	S 29. 11. 1	S 31. 9. 30	深 田 三 太 夫	S 61. 10. 1	S 62. 9. 30
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	矢 田 香 子	S 62. 10. 1	S 63. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 32. 10. 1	S 33. 9. 30	糟 谷 正 孝	S 63. 10. 1	H 1. 9. 30
服 部 貞 弘	S 33. 10. 1	S 34. 9. 30	前 川 修	H 1. 10. 1	H 2. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 34. 10. 1	S 35. 9. 30	深 田 三 太 夫	H 2. 10. 1	H 3. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 35. 10. 1	S 36. 9. 30	太 田 清 美	H 3. 10. 1	H 4. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 36. 10. 1	S 37. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 4. 10. 1	H 5. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 37. 10. 1	S 38. 9. 30	杉 山 光	H 5. 10. 1	H 6. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 38. 10. 1	S 39. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 6. 10. 1	H 7. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 39. 10. 1	S 40. 9. 30	太 田 清 美	H 7. 10. 1	H 8. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 40. 10. 1	S 41. 9. 30	杉 山 光	H 8. 10. 1	H 8. 11. 16
志 貴 彦 人	S 41. 10. 1	S 42. 9. 30	杉 山 光	H 8. 11. 17	H 9. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 42. 10. 1	S 43. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 9. 11. 17	H 10. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 43. 10. 1	S 44. 9. 30	仲 井 さ ち	H 10. 11. 17	H 11. 11. 16
志 貴 彦 人	S 44. 10. 1	S 45. 9. 30	杉 山 光	H 11. 11. 17	H 12. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 45. 10. 1	S 46. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 12. 11. 17	H 13. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 46. 10. 1	S 47. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 13. 11. 17	H 14. 11. 16
内 田 克 治	S 47. 10. 1	S 48. 9. 30	仲 井 さ ち	H 14. 11. 17	H 15. 11. 16
石 川 巖 夫	S 48. 10. 1	S 49. 9. 30	寺 部 暁	H 15. 11. 17	H 16. 11. 16
松野尾 潮 音	S 49. 10. 1	S 50. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 16. 11. 17	H 17. 11. 16
内 田 克 治	S 50. 10. 1	S 51. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 17. 11. 17	H 18. 9. 30
石 川 巖 夫	S 51. 10. 1	S 52. 9. 30	大 原 憲 一	H 18. 10. 5	H 19. 9. 30
松野尾 潮 音	S 52. 10. 1	S 53. 9. 30	寺 部 暁	H 19. 10. 1	H 20. 9. 30
石 川 巖 夫	S 53. 10. 1	S 54. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 20. 10. 1	H 21. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 54. 10. 1	S 55. 9. 30	平 野 有 行	H 21. 10. 1	H 22. 9. 30
岩 瀬 敬 司	S 55. 10. 1	S 56. 9. 30	大 原 憲 一	H 22. 10. 1	H 23. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 56. 10. 1	S 57. 9. 30	桜 井 敬 子	H 23. 10. 3	H 24. 9. 30
天 野 一 太	S 57. 10. 1	S 58. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 24. 10. 1	H 25. 9. 30
矢 田 香 子	S 58. 10. 1	S 59. 9. 30	土 屋 武 志	H 25. 10. 1	H 26. 9. 30
糟 谷 正 孝	S 59. 10. 1	S 60. 9. 30	小 出 義 信	H 26. 10. 1	

3 歴代教育長

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
桑 子 好 次	S27. 11. 1				S31. 9. 30 退任
羽 田 洋	S31. 10. 1	S35. 10. 1	S39. 10. 1	S43. 10. 1	S47. 9. 30 退任
鈴 村 正 弘	S47. 10. 1	S51. 10. 1	S55. 11. 21		S55. 9. 30 退任 S55. 11. 17教育委員会委員就任 S57. 3. 31 退任
横 井 滋	S57. 4. 1	S59. 11. 17			S63. 3. 31 退任
伊豫田 壽 夫	S63. 4. 9	S63. 11. 17	H4. 11. 17	H8. 11. 17	S63. 4. 1教育委員会委員就任 H12. 11. 16 退任
藤 井 孝 弘	H12. 11. 17	H16. 11. 17			H12. 11. 17教育委員会委員就任 H19. 3. 31 退任
江 村 力	H19. 4. 2	H20. 11. 17			H19. 4. 1教育委員会委員就任 H24. 11. 16 退任.
高 橋 淳	H24. 11. 18				H24. 11. 17教育委員会委員就任

第2 学校関係

1 市内学校数

区分	国立	県立	市立	私立	計
大 学	0	0	0	4	4
短期大学	0	0	0	3	3
高等学校	0	7	0	4	11
中 学 校	1	0	20	1	22
小 学 校	1	0	47	0	48
幼 稚 園	0	0	3	22	25
盲 学 校	0	1	0	0	1
聾 学 校	0	1	0	0	1
特別支援学校	1	2	0	0	3
計	3	11	70	34	118

2 進路別卒業生数の推移(中学校)

区分	総数	高等学校	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)	就職 その他	高等学校 進学率
平成9年3月卒業	4,236	4,127	10	24	75	97.4%
〃 10 〃	4,218	4,112	8	13	85	97.5%
〃 11 〃	4,301	4,194	4	16	87	97.5%
〃 12 〃	4,178	4,116	5	2	55	98.5%
〃 13 〃	4,038	3,964	5	4	65	98.2%
〃 14 〃	3,733	3,664	2	2	65	98.2%
〃 15 〃	3,893	3,778	1	3	111	97.0%
〃 16 〃	3,699	3,579	30	1	89	96.8%
〃 17 〃	3,542	3,416	3	5	118	96.4%
〃 18 〃	3,590	3,477	18	13	82	96.9%
〃 19 〃	3,586	3,495	0	3	88	97.5%
〃 20 〃	3,632	3,538	2	1	91	97.4%
〃 21 〃	3,722	3,634	1	4	83	97.6%
〃 22 〃	3,672	3,578	0	1	93	97.4%
〃 23 〃	3,614	3,544	2	3	65	98.1%
〃 24 〃	3,652	3,566	0	3	83	97.6%
〃 25 〃	3,639	3,560	0	1	78	97.9%
〃 26 〃	3,766	3,705	0	2	59	98.4%
〃 27 〃	3,680	3,617	1	2	60	98.4%

《 M E M O 》

3 児童・生徒定期健康診断

区 分	性 別	男										
	小・中別	小 学 校							中 学 校			
	年 齢	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
受 検 者 数		1,936	1,886	1,797	1,838	1,821	1,970	11,248	1,861	1,897	1,917	5,675
裸 眼 視 力	1.0 未満 0.7 以上	167	181	157	134	160	126	925	161	171	153	485
	0.7 未満 0.3 以上	60	110	127	176	187	209	869	194	205	197	596
	0.3 未 満	8	44	49	75	81	65	322	80	111	95	286
眼	アレルギー性結膜炎	23	21	15	22	22	21	124	26	30	27	83
	結 膜 炎	48	63	55	50	61	57	334	85	97	69	251
	他 の 眼 疾 患	60	48	55	52	60	69	344	42	32	37	111
耳	難 聴 の 疑 い	73	59	41	24	39	19	255	46	19	36	101
	中 耳 炎	13	17	5	6	10	2	53	10	3	1	14
	他 の 耳 疾 患	51	141	30	28	123	36	409	103	29	27	159
鼻・ 咽 喉	副 鼻 腔 炎	35	49	15	12	15	5	131	26	12	12	50
	扁 桃 肥 大	21	24	7	5	9	7	73	5	0	1	6
	鼻炎（アレルギー含）	179	369	141	136	325	171	1,321	309	97	109	515
	他の鼻・咽喉疾患	8	5	5	1	6	4	29	8	5	5	18
歯	う 歯 の な い 者	1,048	854	687	705	741	1,034	5,069	1,107	1,131	1,162	3,400
	処 置 完 了 者	364	496	573	629	591	505	3,158	405	452	432	1,289
	未処置歯保有者	480	487	506	456	415	342	2,686	249	237	253	739
	他 の 口 腔 疾 患	50	45	44	46	56	49	290	114	103	95	312
尿	蛋 白 陽 性	16	14	16	10	22	51	129	131	191	196	518
	潜 血 陽 性	7	12	6	6	14	14	59	18	21	13	52
	糖 陽 性	0	0	0	0	0	2	2	0	0	3	3
寄 生 虫 要 後 検 査 者		2	0	1				3				
そ の 他	肥 満 傾 向	24	25	38	51	61	61	260	59	34	36	129
	脊 柱 側 わ ん	2	3	3	2	6	3	19	2	2	2	6
	その他の脊柱異常	1	0	2	1	1	0	5	0	0	3	3
	アトピー性皮膚炎	70	85	60	72	65	56	408	89	65	77	231
	他 の 皮 膚 疾 患	23	23	17	25	19	17	124	20	18	38	76
	心 臓 疾 患	16	10	13	17	20	16	92	26	15	16	57
	ぜ ん 息	102	55	61	63	59	57	397	63	66	56	185
	腎 臓 疾 患	2	4	3	2	2	3	16	3	1	4	8
	糖 尿 病	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2	2
	貧 血	0	3	0	1	1	0	5	3	1	1	5
	他 の 疾 患	45	33	27	41	23	32	201	32	32	29	93

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(平成 26 年度)

女											性 別	区 分
小 学 校							中 学 校				小・中別	
6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計	年 齢	
1,729	1,779	1,731	1,764	1,700	1,774	10,477	1,824	1,845	1,766	5,435	受 検 者 数	
161	147	196	173	155	152	984	182	195	141	518	1.0 未満 0.7 以上	裸 眼 視 力
55	111	186	234	209	219	1,014	172	189	149	510	0.7 未満 0.3 以上	
10	33	56	79	108	91	377	80	98	60	238	0.3 未 満	
18	15	12	9	9	13	76	8	12	13	33	アレルギー性結膜炎	眼
38	35	39	36	45	39	232	52	49	36	137	結 膜 炎	
54	51	59	29	47	47	287	33	37	22	92	他 の 眼 疾 患	
49	48	36	21	29	23	206	37	17	29	83	難 聴 の 疑 い	耳
7	15	4	2	5	4	37	5	2	3	10	中 耳 炎	
37	129	25	16	91	20	318	63	17	13	93	他 の 耳 疾 患	
26	31	3	6	9	3	78	8	3	1	12	副 鼻 腔 炎	鼻・ 咽 喉
11	22	7	5	4	3	52	4	0	1	5	扁 桃 肥 大	
103	204	82	67	177	80	713	215	66	72	353	鼻炎(アレルギー含)	
2	2	0	3	2	3	12	5	4	7	16	他の鼻・咽喉疾患	歯
970	884	728	704	815	1,026	5,127	1,086	1,061	906	3,053	う 歯 の な い 者	
285	409	540	568	474	373	2,649	464	502	477	1,443	処 置 完 了 者	
411	457	425	431	337	288	2,349	211	192	290	693	未処置歯保有者	
40	34	36	32	36	39	217	93	112	114	319	他 の 口 腔 疾 患	
20	30	25	36	37	66	214	100	95	96	291	蛋 白 陽 性	尿
26	22	20	14	24	32	138	73	62	47	182	潜 血 陽 性	
1	0	0	0	0	3	4	5	1	2	8	糖 陽 性	
0	0	1				1					寄 生 虫 要 後 検 査 者	そ の 他
12	24	36	35	42	38	187	32	33	32	97	肥 満 傾 向	
1	3	3	0	0	3	10	5	7	4	16	脊 柱 側 わ ん	
0	1	0	1	0	1	3	0	0	1	1	その他の脊柱異常	
52	68	54	46	48	48	316	39	56	48	143	アトピー性皮膚炎	
26	26	14	13	22	19	120	10	11	14	35	他 の 皮 膚 疾 患	
8	13	16	11	14	5	67	29	27	15	71	心 臓 疾 患	
43	40	56	44	33	44	260	46	43	35	124	ぜ ん 息	
0	2	2	2	0	0	6	4	4	2	10	腎 臓 疾 患	
0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	糖 尿 病	
0	1	0	0	2	2	5	7	4	8	19	貧 血	
27	17	28	32	41	23	168	32	20	31	83	他 の 疾 患	

4 学校事故

(日本スポーツ振興センター統計情報) 平成 26 年度

(1) 場所別事故発生件数

区分	学 校 内									学校外	合計
	校 舎 内					校 舎 外					
	教室	体育館	廊下	昇降口 階段	他	運動場 校庭	体育遊 戯施設	プール	他		
小学校	171	202	39	38	3	435	66	10	6	120	1,090
中学校	38	267	11	15	5	306	5	7	4	100	758
合計	209	469	50	53	8	741	71	17	10	220	1,848

(2) 場合別事故発生件数

区 分	各教科	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	通学中	その他	合計
小学校	259	121	48	229	365	68	0	1,090
中学校	160	41	76	411	46	24	0	758
合 計	419	162	124	640	411	92	0	1,848

(3) 月所別事故報告件数

区 分	小 学 校			中 学 校		
	発 生	継 続	計	発 生	継 続	計
4 月	75	67	142	74	77	151
5 月	142	74	216	84	45	129
6 月	113	64	177	75	86	161
7 月	69	76	145	70	74	144
8 月	11	64	75	35	68	103
9 月	101	29	130	137	35	172
10 月	124	66	190	73	83	156
11 月	111	58	169	49	83	132
12 月	72	45	117	33	96	129
1 月	87	64	151	42	64	106
2 月	115	87	202	42	70	112
3 月	70	60	130	44	56	100
計	1,090	754	1,844	758	837	1,595

(4) 傷害別事故発生件数

区 分		挫創	骨折	捻挫	挫傷・打撲	その他	計
小学校	件数	162	367	182	288	91	1,090
	割合	14.86%	33.66%	16.69%	26.42%	8.34%	100.00%
中学校	件数	48	281	136	202	91	758
	割合	6.33%	37.07%	17.94%	26.64%	12.00%	100.00%
合 計	件数	210	648	318	490	182	1,848
	割合	11.36%	35.06%	17.20%	26.51%	9.84%	100.00%

(5) 体育的活動時の種目別事故発生件数

区 分	水 泳	体 操	器 械 体 操	陸 上	ド ッ ジ ボ ー ル	サ ッ カ ー	テ ニ ス	ソ フ ト ボ ー ル	野 球	ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バスケットボール	卓 球	柔 道	剣 道	他	合 計
小学校	8	16	56	56	11	49	0	36	0	0	45	93	1	0	0	53	424
中学校	5	6	32	85	1	64	26	12	33	28	65	122	9	29	16	29	562
合 計	13	22	88	141	12	113	26	48	33	28	110	215	10	29	16	82	986

(6) 学校医

区 分	人 員	区 分	人 員	区 分	人 員
内 科 医	55 人	耳 鼻 科 医	15 人	薬 剤 師	47 人
眼 科 医	16 人	歯 科 医	71 人		

5 学校保健

児童・生徒の平均体位

(平成 26 年度)

区 分	年 齢	性 別	身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)		
			岡 崎 市	愛 知 県	全 国	岡 崎 市	愛 知 県	全 国	岡 崎 市	愛 知 県	全 国
小 学 校	6	男	116.0	115.9	116.5	20.8	20.9	21.3	64.6	64.6	64.8
		女	115.1	115.2	115.5	20.4	20.6	20.8	64.2	64.2	64.4
	7	男	121.7	121.8	122.4	23.3	23.5	24.0	67.3	67.4	67.6
		女	120.9	121.1	121.5	22.8	23.0	23.4	66.9	67.1	67.2
	8	男	127.6	127.5	128.0	26.5	26.7	27.0	70.1	69.9	70.2
		女	126.8	127.1	127.4	25.7	25.8	26.4	69.7	69.9	69.9
	9	男	132.9	133.2	133.6	29.7	30.4	30.4	72.3	72.8	72.6
		女	132.6	132.9	133.4	29.0	29.1	29.8	72.2	72.7	72.6
	10	男	138.0	138.2	138.9	32.6	33.2	34.0	74.3	74.7	74.9
		女	139.5	139.4	140.1	33.0	33.1	34.0	75.4	75.6	75.8
	11	男	144.1	144.4	145.1	36.8	37.5	38.4	77.1	77.3	77.6
		女	146.0	146.4	146.8	37.9	38.2	39.0	79.0	79.1	79.3
中 学 校	12	男	151.2	152.1	152.5	42.5	43.1	44.0	80.7	81.0	81.3
		女	151.4	151.7	151.8	43.0	43.5	43.6	82.0	82.2	82.1
	13	男	158.3	160.1	159.7	47.2	49.2	48.8	84.4	85.1	84.9
		女	154.1	154.8	154.8	46.1	47.3	47.2	83.6	83.8	83.8
	14	男	164.1	164.9	165.1	53.0	53.7	53.9	87.6	88.0	88.1
		女	155.9	156.0	156.4	49.4	49.3	50.0	84.7	84.8	84.9

6 学校施設

(1) 平成 26 年度主要工事（実績）

区分	学 校 名	内 容
小 学 校	六ツ美北部小学校ほか 2 校	便所改修
	美合小学校ほか 20 校	便所簡易改修
	三島小学校	高圧受電設備改修
	緑丘小学校ほか 6 校	外部改修
	梅園小学校ほか 6 校	屋内運動場非構造部材改修
	常磐南小学校ほか 4 校	図書室空調整備
	矢作南小学校	非常用放送設備改修
中 学 校	六ツ美中学校	柔剣道場建設
	甲山中学校	高圧受電設備改修
	城北中学校	外部改修
	北中学校ほか 13 校	屋内運動場非構造部材改修
	甲山中学校ほか 4 校	職員室空調改修
	新香山中学校	非常用放送設備改修

(2) 平成 27 年度主要工事（予定）

区分	学 校 名	内 容
小 学 校	本宿小学校	プール改築
	男川小学校ほか 3 校	便所簡易改修
	緑丘小学校ほか 1 校	高圧受電設備改修
	愛宕小学校ほか 3 校	外部改修
	矢作西小学校ほか 2 校	ガラス取替
	矢作北小学校ほか 2 校	太陽光発電設備整備
	竜美丘小学校ほか 2 校	ガス管敷設替
	夏山小学校ほか 3 校	配膳室整備
中 学 校	六ツ美中学校	柔剣道場建設
	南中学校ほか 16 校	柔剣道場天井改修
	竜海中学校ほか 1 校	外部改修
	額田中学校	配膳室整備

IV 資 料

第 2 学校関係

7 市立小学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							普通学級	特別支援学級
1	梅 園	M2. 9	22-3566 (3567)	稲熊町四丁目 68 番地 1	444-0071	高 須 亮 平	745	13
2	根 石	M5. 5	22-3646 (3647)	欠町字石ヶ崎 1 番地 2	444-0011	中 野 渡 善 樹	791	23
3	男 川	M6. 4	22-1159 (1285)	大平町字中道 17 番地	444-0007	蜂 須 賀 涉	593	14
4	美 合	M26. 1	51-1020 (1019)	岡町字南石原 30 番地	444-0005	清 水 範 彦	363	8
5	緑 丘	S50. 4	51-5693 (5506)	美合町字沢渡 12 番地	444-0802	山 本 知 子	583	9
6	羽 根	S10. 5	51-1795 (1667)	羽根町字池脇 24 番地 2	444-0813	松 崎 出	660	6
7	岡 崎	M6. 7	51-1252 (1315)	針崎町字フロ 1 番地	444-0827	増 澤 徹	597	13
8	六 名	S11. 4	51-3536 (3537)	六名三丁目 2 番地 1	444-0856	内 田 幹 也	702	13
9	三 島	M6. 3	51-0568 (0569)	明大寺町字池上 1 番地	444-0864	山 田 一 夫	355	6
10	竜 美 丘	S51. 4	52-1275 (1285)	竜美台一丁目 1 番地	444-0873	水 野 昌 孝	883	12
11	連 尺	M4. 2	22-6574 (6575)	城北町 4 番地	444-0064	田 村 康 則	435	5
12	広 幡	M7. 4	21-0610 (0717)	広幡町 11 番地 1	444-0066	渥 美 久 美 子	622	6
13	井 田	S26. 4	22-2146 (2197)	井田町字茨坪 4 番地 3	444-0077	荻 野 卓 寛	1113	18
14	愛 宕	S31. 4	22-4419 (4090)	伊賀町字愛宕山 1 番地	444-0075	柴 田 昌 一	158	5
15	福 岡	M6. 9	51-9040 (9082)	福岡町字西市仲 3 番地	444-0825	鈴 木 実 俊	607	8
16	竜 谷	M25.	53-3865 (3129)	竜泉寺町字松本 34 番地 4	444-3524	小 島 寛 史	152	0
17	藤 川	M5.	48-2029 (2334)	藤川町字西町北 44 番地	444-3523	天 野 良 広	277	2
18	山 中	M13. 9	48-2201 (2430)	舞木町字天神越 1 番地	444-3511	高 橋 由 美 子	242	3
19	本 宿	M25. 10	48-2504 (3154)	本宿町字三本松入 14 番地 1	444-3505	福 田 貴 子	330	9
20	生 平	M38. 4	47-2547 (2172)	生平町字鷺場 25 番地 1	444-3334	市 川 敏 彦	62	1
21	秦 梨	M6.	47-2548 (2196)	秦梨町世土田 2 番地	444-3343	杉 原 惠 美 子	50	1
22	常 磐 南	M6. 4	46-2005 (2048)	田口町字岩本 12 番地 4	444-3172	山 本 信 幸	82	0
23	常 磐 東	M25. 10	46-2108 (2049)	米河内町字惣作 32 番地	444-3467	近 藤 嗣 郎	48	0
24	常 磐	M6. 3	46-2003 (4033)	滝町字入ノ谷 3 番地 4	444-3173	大 山 敬 章	342	8
25	恵 田	M7. 4	45-2225 (2124)	恵田町字三月ヶ入 71 番地 1	444-2107	十 河 幸 代	73	1
26	奥 殿	M5. 9	45-2207 (2349)	奥殿町字仲西 73 番地 2	444-2108	内 藤 隆 之	145	3
27	細 川	M4.	45-2701 (2713)	細川町字石田 45 番地	444-2149	中 垣 明 道	787	12
28	岩 津	M6. 2	45-2007 (2036)	岩津町字申堂 24 番地 2	444-2144	本 間 茂 夫	532	9
29	大 樹 寺	M6. 12	22-1419 (6366)	鴨田町字広元 31 番地	444-2121	田 中 俊 二	655	9
30	大 門	S51. 4	23-8709 (8704)	大門四丁目 4 番地 1	444-2135	武 田 正 道	742	6
31	矢 作 東	T4. 4	31-3233 (2610)	矢作町字切戸 28 番地	444-0943	岩 附 広 行	604	10
32	矢 作 北	M6. 7	31-4574 (4579)	橋目町字西遠山 9 番地 2	444-0908	石 井 洋	765	15
33	矢 作 西	T13. 3	31-3283 (8179)	宇頭町字長合 40 番地	444-0905	後 藤 充 人	371	5
34	矢 作 南	M5. 12	32-2723 (2863)	大和町字西島 13 番地	444-0931	鳥 居 是 典	856	8
35	六ツ美中部	M41. 3	43-2260 (5490)	下青野町字井戸尻 71 番地	444-0244	加 藤 嘉 一	326	5

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() はプレハブ教

() は嘱託職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,038	1,269	11,400	22,929	24	14	25×5	25×3	32.0	1	1	0		(1)	梅 園
6,100	1,295	12,554	30,202	28	11	25×5	25×2	35.0	1	2	0		1	根 石
4,792	785	10,739	21,426	24	7 (2)	25×5	25×2	31.0	1	1	0		1	男 川
4,568	742	8,025	16,076	15	9	25×5	25×2	19.5	1	1	1		(1)	美 合
5,748	790	9,745	23,828	21	13	25×5	25×2	28.0	1	1	0		(1)	緑 丘
5,646	735	16,088	23,719	23	9	25×5	25×2	29.0	1	1	0		1	羽 根
5,174	790	11,626	21,763	21	10	25×5	25×2	29.0	1	1	0		(1)	岡 崎
6,462	1,279	10,083	22,054	25	14	25×5	25×3	32.0	1	1	0		1	六 名
5,046	742	8,115	29,055	14	12	25×7	25×2	19.0	1	1	0		1	三 島
6,551	790	11,244	29,947	29(1)	13(1)	25×5	25×2	37.0	2	2	0		1	竜 美 丘
5,275	1,262	16,082	25,980	18	14	25×5	25×2	22.5	1	1	0		1	連 尺
5,745	745	12,024	22,726	21	13	25×5	25×2	27.0	1	1	0		1	広 幡
6,929	1,269	21,389	44,672	37(3)	10	25×7	25×3	46.0	2	2	0		1 (1)	井 田
3,998	1,263	11,678	25,904	8	8	25×5	25×2	11.0	1	1	0		1	愛 宕
5,708	832	16,323	31,837	21	11	25×5	25×2	28.0	1	1	1		1	福 岡
3,259	790	12,435	36,952	7	8	25×5	25×2	10.5	1	1	0		1(1)	竜 谷
4,391	789	5,380	12,312	13	13	25×5	25×2	18.0	1	1	0		1	藤 川
3,741	545	8,631	12,564	13	9	25×5	25×1	19.0	1	1	0		①	山 中
5,664	790	10,820	40,611	15	14	25×6	25×3	21.0	1	1	0		(1)	本 宿
2,303	589	8,407	17,798	7	6 (1)	25×3	25×1	10.0	1	1	0		①	生 平
2,009	623	5,201	10,644	7	5	25×3	25×1	10.0	1	1	0		(1)	秦 梨
2,054	626	8,814	22,454	6	6	25×3	25×1	9.0	1	1	0		①	常 磐 南
2,341	634	8,502	26,568	6	6	25×3	25×2	9.0	1	1	0		1	常 磐 東
4,013	790	14,600	33,471	14	8	25×5	25×2	18.5	1	1	0		1	常 磐
2,533	626	10,117	19,498	7	7	25×3	25×1	10.0	1	1	0		(1)	恵 田
2,546	832	8,484	20,651	8	7	25×5	25×2	11.0	1	1	0		①	奥 殿
6,763	790	10,573	23,100	27	12	25×5	25×2	33.0	1	1	0		(1)	細 川
4,582	795	8,351	22,085	19	10	25×5	25×2	24.5	1	1	1		(1)	岩 津
6,461	1,332	8,120	20,147	22	18	25×5	25×2	27.0	1	1	1		1	大 樹 寺
5,800	790	11,028	23,503	26	13	25×5	25×2	32.0	1	1	0		1	大 門
5,577	748	10,189	18,857	21	13	25×5	25×2	25.5	1	1	0		①	矢 作 東
5,736	865	11,605	20,196	26	10	25×5	25×2	31.5	1	1	0		1	矢 作 北
4,362	790	8,783	19,375	15	9	25×5	25×2	19.5	1	1	1		(1)	矢 作 西
6,160	790	7,950	17,761	28(1)	15(1)	25×5	25×2	34.0	2	1	1		1	矢 作 南
3,743	790	9,749	18,955	14	6	25×5	25×2	32.0	1	1	0		1	六ツ美中部

IV 資 料

第 2 学校関係

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							普通学級	特別支援学級
36	六ツ美北部	M41. 4	52-2257	土井町字炭焼 2 番地	444-0204	澤 田 祥 明	696	14
37	六ツ美南部	M41. 3	43-2105	中島町字下井ノ上 9 番地 1	444-0226	大 西 和 夫	714	6
38	城 南	S52. 4	52-2913	城南町一丁目 11 番地	444-0835	松 浦 良 昭	363	13
39	上 地	S58. 4	53-0501	上地三丁目 31 番地	444-0823	三 浦 敦 子	744	16
40	小 豆 坂	S59. 4	54-1651	戸崎町字藤狭 13 番地 5	444-0841	金 指 由 香 里	552	4
41	北 野	S60. 4	31-1112	北野町字山下 1 番地 1	444-0951	上 野 正 幸	533	10
42	六ツ美西部	H9. 4	71-2971	赤浜町字道本 33 番地	444-0241	小 田 昌 男	727	4
43	豊 富	M7. 3	82-3073	檜山町字西ノ沢 3 番地	444-3622	山 口 明 則	238	5
44	夏 山	M7. 8	82-3015	夏山町字細田 7 番地 1	444-3621	菅 沼 健	29	1
45	宮 崎	M6.	83-2260	石原町字古城 9 番地	444-3601	杉 田 ひ ろ 子	42	0
46	形 埜	M6. 9	84-2002	桜形町字中嶋 13 番地	444-3435	北 村 文 啓	52	1
47	下 山	M5. 8	84-2204	保久町字市場 16 番地	444-3442	竹 内 昭 博	17	0
		(47 校)					21, 355	340

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() はプレハブ教

() は嘱託職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
6,722	748	11,183	22,553	24	15	25×5	25×2	31.0	1	1	0		(1)	六ツ美北部
5,435	790	10,892	19,798	23	9	25×5	25×2	29.0	1	1	0		①	六ツ美南部
6,092	790	12,739	23,136	15	21	25×5	25×2	22.0	1	1	0		(1)	城 南
5,992	832	10,856	24,901	27	9	25×5	25×2	33.0	1	1	0		(1)	上 地
5,644	833	8,492	22,289	23	8	25×5	25×2	29.5	1	1	0		1	小 豆 坂
5,752	834	10,131	19,543	19	13	25×5	25×2	25.0	1	1	0		1	北 野
6,312	1,252	12,504	21,698	26	10	25×5	25×2	33.0	1	1	0		(1)	六ツ美西部
3,523	1,159	10,722	22,311	11	8	25×6	25×2	15.0	1	1	0		(1)	豊 富
1,841	684	4,746	11,096	5	8	25×3	なし	8.0	1	1	0		(1)	夏 山
1,735	986	5,961	12,051	5	7	25×4	25×1	8.0	1	1	0		①	宮 崎
1,820		8,316	17,854	7	7	25×5	25×2	10.0	1	1	0		(1)	形 埜
1,667	1,137	6,466	15,887	3	8	25×4	25×1	5.0	1	1	0		1	下 山
221,353	39,957	487,862	1,062,737	818(5)	486(5)			1066.5	50.0	50.0	6.0	0	23⑦(19)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

8 市立中学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							普通学級	特別支援学級
1	甲 山	S22. 4	22-2664 (2665)	中町字北野東 20 番地 1	444-0015	川 口 厚	811	12
2	美 川	S22. 4	21-1898 (4688)	丸山町字ハサマ 4 番地 1	444-0006	和 田 実	544	6
3	南	S22. 4	51-4664 (4665)	戸崎町字野畔 8 番地 1	444-0840	栗 田 万 砂 夫	437	7
4	竜 海	S22. 4	51-4538 (4539)	明大寺町字栗林 48 番地 1	444-0864	加 藤 勝 巳	960	25
5	葵	S22. 4	21-0171 (0172)	伊賀新町 31 番地 1	444-0078	都 筑 祐 一	704	18
6	城 北	S36. 4	21-8103 (8104)	城北町 3 番地 1	444-0064	山 本 満 夫	501	16
7	福 岡	S22. 4	51-9057 (9099)	福岡町字井杭 3 番地	444-0825	中 村 郁 夫	468	5
8	東 海	S22. 4	48-2821 (2822)	山綱町字中柴 51 番地	444-3513	中 村 公 治	521	12
9	河 合	S22. 4	47-2012 (2023)	茅原沢町字上平 7 番地	444-3335	宇 都 宮 森 和	75	0
10	常 磐	S22. 4	46-2028 (2054)	滝町字山籠 109 番地	444-3173	戸 澤 剛	197	5
11	岩 津	S22. 4	45-2022 (2595)	東蔵前二丁目 36 番地	444-2145	長 坂 洋 人	417	5
12	矢 作	S22. 4	31-3808 (3809)	暮戸町字蓮代 18 番地	444-0941	永 野 光 雄	736	7
13	六 ツ 美	S22. 4	43-2071 (2398)	下青野町字井戸尻 72 番地	444-0244	杉 田 吉 男	522	7
14	矢 作 北	S56. 4	31-3611 (3612)	東大友町字筆屋 43 番地 1	444-0903	酒 井 洋 一	852	10
15	新 香 山	S59. 4	45-2026 (7803)	桑原町字大沢 20 番地 86	444-2141	名 倉 嘉 章	379	2
16	竜 南	S61. 4	54-4400 (4401)	緑丘二丁目 17 番地	444-0806	永 田 勲	545	8
17	北	S63. 4	22-8740 (8739)	上里一丁目 10 番地	444-2136	荻 野 款 司	696	12
18	六 ツ 美 北	H4. 4	54-2431 (2432)	井内町字六反 2 番地	444-0203	岡 部 克 彦	839	12
19	額 田	S47. 4	82-3160 (3283)	檜山町字原新田 88 番地	444-3622	浦 野 公 一	206	4
20	翔 南	H25. 4	71-1122 (1188)	針崎町字春咲 1 番地 2	444-0827	加 藤 政 幸	522	4
		(20 校)					10, 932	177

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() は嘱託職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (Ⅹコース) 標準	県費負担職員				市費職員			校 名
				普通教室	特別教室		校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	寮監等	
7,544	2,264	15,103	37,634	27	17	25×7	44.0	2	2	0		1		甲 山
6,740	2,416	13,107	25,885	19	19	25×6	30.0	1	1	1	(1)	1		美 川
8,009	2,133	13,600	26,523	16	29	25×7	28.0	1	1	0		(1)		南
8,856	2,937	17,968	44,794	31	22	25×6	54.0	2	2	0		1		竜 海
6,678	2,296	23,033	52,852	24	14	50×8	41.0	1	2	0		1		葵
6,423	2,595	15,799	26,913	18	18	25×7	31.0	1	1	0	(1)	1		城 北
6,325	2,585	19,043	32,136	15	14	25×7	26.5	1	1	0		1		福 岡
7,027	2,739	14,505	29,562	18	22	25×7	32.0	1	1	1	(1)	1		東 海
2,364	728	8,322	15,937	3	8	25×4	9.0	1	1	0		1		河 合
4,421	2,631	9,601	17,450	9	10	25×5	17.0	1	1	0		1		常 磐
5,188	2,585	18,401	29,778	15	15	25×7	27.5	1	1	1		1		岩 津
7,435	2,465	20,831	34,766	23	18	25×7	40.0	1	2	0		1		矢 作
7,242	832	15,770	28,839	16	20	25×7	28.0	1	1	0	(1)	①		六 ツ 美
7,579	1,516	14,677	28,051	27	21	25×7	46.0	2	2	0		①		矢 作 北
6,309	2,204	18,727	35,649	13	21	25×7	22.5	1	1	0		1		新 香 山
6,735	2,250	16,779	29,001	17	23	25×7	30.5	1	1	0	(1)	1		竜 南
7,408	2,258	16,273	30,510	21	19	25×7	38.0	1	1	0	(1)	1		北
8,471	2,284	19,257	31,403	25	18	25×7	44.0	2	2	0		1		六ツ美北
5,769	3,795	20,479	53,031	8	25	25×7	20.5	1	1	1		1	2(6)	額 田
8,028	2,418	17,026	31,584	18	21	25×7	31.0	1	1	0	(1)	1		翔 南
134,551	45,931	328,301	642,298	363	374		640.5	24.0	26.0	4.0	(7)	19②(1)	2(6)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

9 児童生徒数一覽

区分	番号	学校名	1年						2年						3年						4年					
			男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級
小	1	梅園	68	2	59	2	131	4	77	1	63	2	143	4	63	2	60	1	126	4	70		49	1	120	3
	2	根石	70		67		137	4	58	6	78	1	143	4	73	1	50	3	127	4	82	4	65	1	152	4
	3	男川	50		58	1	109	4	49	1	49		99	3	51	2	50	1	104	3	47	1	47		95	3
	4	美合	27	1	19		47	2	26	1	33	2	62	2	38	1	42		81	2	24	1	30		55	2
	5	緑丘	62		51	1	114	4	52	2	40		94	3	38	1	55		94	3	56		42	1	99	3
	6	羽根	63	1	54		118	4	47	1	61		109	4	61	1	53		115	3	49		50		99	3
	7	岡崎	54	2	39		95	3	66	3	52	1	122	4	53		49		102	3	50	2	44		96	3
	8	六名	67	2	78		147	5	67	1	39		107	4	57	3	64		124	3	49	2	72	1	124	4
	9	三島	28	3	27	1	59	2	36		28		64	2	26		25		51	2	41	1	22		64	2
	10	竜美丘	65	2	79		146	5	91	1	76	1	169	5	77	1	81	1	160	4	75	1	72	1	149	4
	11	連尺	33		32		65	2	41	1	35		77	3	32	1	38		71	2	44	1	27		72	2
	12	広幡	57	1	53		111	4	36		38		74	3	60	1	45	1	107	3	56		51		107	3
	13	井田	105	3	81	1	190	6	98	4	92	1	195	6	102	2	99	2	205	6	96	2	93		191	5
	14	愛宕	18		16	1	35	1	13		12		25	1	16	1	13		30	1	16	1	15		32	1
	15	福岡	63		47		110	4	55		49		104	3	59	4	51	1	115	3	48	1	41	1	91	3
	16	竜谷	19		17		36	2	9		7		16	1	12		10		22	1	11		12		23	1
	17	藤川	23		25		48	2	19		19		38	2	31		23	1	55	2	22		19		41	2
	18	山中	19	1	18		38	2	20		13		33	1	23		18		41	2	18	1	24		43	2
	19	本宿	33		22		55	2	26	1	27	1	55	2	28	2	26	1	57	2	20		26		46	2
	20	生平	6		4		10	1	4		6		10	1	9		3		12	1	3		5		8	1
	21	秦梨	2		4		6	1	9		2		11	1	6		2		8	1	5		5		10	1
	22	常磐南	13		12		25	1	14		4		18	1	6		3		9	1	9		3		12	1
	23	常磐東	5		2		7	1	6		2		8	1	4		4		8	1	1		4		5	1
	24	常磐磐	33	1	21	1	56	2	34		25		59	2	34		27		61	2	37	1	18		56	2
	25	恵田	6		6		12	1	6		4		10	1	5		7		12	1	6		5		11	1
	26	奥殿	11		7		18	1	9	2	12		23	1	14		10		24	1	14		10	1	25	1
	27	細川	75	1	61	1	138	4	78	4	71		153	5	66		64		130	4	57	2	65		124	4
28	岩津	54	2	51		107	3	46	3	48		97	3	52	1	49		102	3	29		56		85	3	
29	大樹寺	55		66	1	122	4	65	3	51		119	4	56		42	1	99	3	52	1	54		107	3	
30	大門	66		61		127	4	60	2	63		125	4	61	1	62	1	125	4	70	1	61		132	4	
31	矢作東	42		42		84	3	51	2	62		115	4	60	2	55		117	3	32	2	44	1	79	2	
32	矢作北	54	1	73	1	129	4	67		60		127	4	63	6	68	1	138	4	74	1	67		142	4	
33	矢作西	34		21	1	56	2	37		29		66	2	26	1	25		52	2	40	1	22		63	2	
34	矢作南	63	1	73		137	4	86		72		158	5	66		71	2	139	4	69		64	1	134	4	
35	六ツ美中部	21		24	1	46	2	29	1	28		58	2	35		35		70	2	25		20		45	2	
36	六ツ美北部	72	3	53		128	4	65	5	57		127	4	50		61		111	3	51	2	57	1	111	3	
37	六ツ美南部	55	1	64		120	4	56	3	55		114	4	65		52		117	3	73		64		137	4	
38	城南	28	2	39		69	2	27	3	31		61	2	21		35		56	2	22	1	28	1	52	2	
39	上地	70	1	63	1	135	4	62	2	53		117	4	64	3	59		126	4	45	1	80	1	127	4	
40	小豆坂	59	1	48		108	4	54	1	40	1	96	3	45		47		92	3	46		39		85	3	
41	北野	50	1	43	1	95	3	35	3	42		80	3	47	2	43		92	3	33	1	44		78	2	
42	六ツ美西部	56		59		115	4	55	1	62	1	119	4	64		60		124	4	62		64	1	127	4	
43	豊富	15		17	1	33	1	22		18		40	2	21		23		44	2	18	1	20	1	40	1	
44	夏山			1		1	1	3				3		5		1		6	1	2		5		7		
45	宮崎	6		3		9	1	2		3		5	1	6		2		8	1	4		2		6		
46	形埜	4		2		6	1	3		5		8	1	1	1	4		6	1	4		6		10	1	
47	下山	1		1		2	1	2				2		2				2	1	2		5		7		
	計	1,880	33	1,763	16	3,692	130	1,873	58	1,716	11	3,658	126	1,854	40	1,766	17	3,677	118	1,759	33	1,718	14	3,524	112	
中	1	甲山	139	3	129	1	272	8	135	2	134	2	273	7	139	2	135	2	278	7						
	2	美川	104	2	81		187	6	87		95		182	5	93	1	84	3	181	5						
	3	南	63	1	66	3	133	4	75	2	67		144	4	74		92	1	167	5						
	4	竜海	153	6	140	3	302	9	175	7	160	1	343	9	177	3	155	5	340	9						
	5	葵	129	4	119	2	254	8	120	7	104	3	234	6	124	2	108		234	6						
	6	城北	85	2	92	1	180	6	59	3	85	1	148	4	101	6	79	3	189	5						
	7	福岡	98	2	74		174	5	71		72	1	144	4	78	2	75		155	4						
	8	東海	84	3	86		173	5	84	3	84	2	173	5	87	3	96	1	187	5						
	9	河合	13		10		23	1	9		13		22	1	15		15		30	1						
	10	常磐	34	2	38		74	3	30		27	2	59	2	29		39	1	69	2						
	11	岩津	68	2	64		134	4	72		78	1	151	4	80		55	2	137	4						
	12	矢作	118	1	120		239	7	117	3	134	1	255	7	110		137	2	249	7						
	13	六ツ美	98	1	71		170	5	114	3	79	2	198	5	92		68	1	161	4						
14	矢作北	146	2	154	2	304	9	143	1	120	1	265	7	149	4	140		293	8							
15	新香山	82		61		143	5	61		73		134	4	46	2	56		104	3							
16	竜南	86	2	89	1	178	5	91	2	96	2	191	5	102		81	1	184	5							
17	北	124	1	110	2	237	7	116	3	112	1	232	6	119		115	5	239	6							
18	六ツ美北	139	4	119	2	264	8	135	2	144		281	7	147	2	155	2	306	8							

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

5 年						6 年						特別支援		合計				学校名	番号	区分
男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	(計)	級	男	女	計	級			
65		54	1	120	3	60		57	1	118	3	13	3	408	350	758	24	梅 園	1	小
75	1	65		141	4	60	5	48	1	114	3	23	5	435	379	814	28	根 石	2	
42	2	53	1	98	3	52	4	45	1	102	3	14	4	301	306	607	23	男 川	3	
35		41	2	78	2	34		14		48	2	8	3	188	183	371	15	美 合	4	
49	1	36		86	3	50	2	52	1	105	3	9	2	313	279	592	21	緑 丘	5	
57		61		118	3	50	3	54		107	3	6	2	333	333	666	22	羽 根	6	
44	2	46	1	93	3	59	2	41		102	3	13	2	337	273	610	21	岡 崎	7	
42		68	1	111	3	48	2	51	1	102	3	13	3	340	375	715	25	六 名	8	
22		32		54	2	30	1	38		69	2	6	2	188	173	361	14	三 島	9	
73	2	75		150	4	51	1	68	1	121	3	12	3	440	455	895	28	竜 美 丘	10	
39		26		65	2	42	1	46	1	90	3	5	3	235	205	440	17	連 尺	11	
53	1	55		109	3	61	1	57	1	120	3	6	2	327	301	628	21	広 幡	12	
85	1	94	1	181	5	93	1	75		169	5	18	4	592	539	1,131	37	井 田	13	
11	1	10	1	23	1	11		7		18	1	5	2	88	75	163	8	愛 宕	14	
64	1	38		103	3	48		44		92	3	8	2	343	272	615	21	福 岡	15	
13		10		23	1	16		16		32	1			80	72	152	7	竜 谷	16	
22		21	1	44	2	28		25		53	2	2	1	145	134	279	13	藤 川	17	
15	1	28		44	2	19		27		46	2	3	2	117	128	245	13	山 中	18	
31	2	37		70	2	31	1	23	1	56	2	9	2	175	164	339	14	本 宿	19	
6		2	1	9	1	9		5		14	1	1	1	37	26	63	7	生 平	20	
3		5		8	1	4	1	3		8	1	1	1	30	21	51	7	秦 梨	21	
6		6		12	1	2		4		6	1			50	32	82	6	常 磐 南	22	
4		8		12	1	4		4		8	1			24	24	48	6	常 磐 東	23	
24		35	1	60	2	28	3	26	1	58	2	8	2	195	155	350	14	常 磐	24	学
3	1	5		9	1	14		6		20	1	1	1	41	33	74	7	恵 田	25	
16		16		32	1	19		7		26	1	3	2	85	63	148	8	奥 殿	26	
73	2	66	1	142	4	66	1	45		112	3	12	3	425	374	799	27	細 川	27	
41	1	34	2	78	2	37		35		72	2	9	3	266	275	541	19	岩 津	28	
51	1	57		109	3	51		55	2	108	3	9	2	335	329	664	22	大 樹 寺	29	
67		71		138	4	49	1	51		101	3	6	2	378	370	748	25	大 門	30	
57	1	51		109	3	48	2	60		110	3	10	2	299	315	614	20	矢 作 東	31	
70	3	49	1	123	3	63	1	57		121	3	15	4	403	377	780	26	矢 作 北	32	
34		32		66	2	45	1	26	1	73	2	5	3	219	157	376	15	矢 作 西	33	
77	3	57	1	138	4	66		92		158	4	8	2	431	433	864	27	矢 作 南	34	
30	1	19	1	51	2	30		30	1	61	2	5	2	172	159	331	14	六ツ美中部	35	
51	2	53		106	3	66	1	60		127	4	14	2	368	342	710	23	六ツ美北部	36	
70	1	49		120	3	50	1	61		112	3	6	2	375	345	720	23	六ツ美南部	37	
24	1	41		66	2	32	5	35		72	2	13	2	166	210	376	14	城 南	38	
78	3	54	2	137	4	52	1	64	1	118	3	16	3	382	378	760	26	上 地	39	校
45		47	1	93	3	46		36		82	3	4	3	297	259	556	22	小 豆 坂	40	
42		52	1	95	3	58	1	44		103	3	10	2	273	270	543	19	北 野	41	
64		60		124	4	67		54	1	122	4	4	2	369	362	731	26	六ツ美西部	42	
22		16		38	1	22	2	24		48	2	5	2	123	120	243	11	豊 富	43	
2		2		4	1	3	1	5		9	1	1	1	16	14	30	5	夏 山	44	
2		3		5	1	3		6		9	1			23	19	42	5	宮 崎	45	
6		5		11	1	4		8		12	1	1	1	23	30	53	7	形 基	46	
1		1		2	1	2				2				10	7	17	3	下 山	47	
1,806	35	1,746	21	3,608	113	1,783	46	1,691	16	3,536	110	340	97	11,200	10,495	21,695	806	計		中
												12	4	420	403	823	26	甲 山	1	
												6	2	287	263	550	18	美 川	2	
												7	2	215	229	444	15	南	3	
												25	4	521	464	985	31	竜 海	4	
												18	4	386	336	722	24	葵	5	
												16	3	256	261	517	18	城 北	6	
												5	2	251	222	473	15	福 岡	7	
												12	2	264	269	533	17	東 海	8	
														37	38	75	3	河 合	9	
												5	2	95	107	202	9	常 磐	10	
												5	2	222	200	422	14	岩 津	11	学
												7	2	349	394	743	23	矢 作	12	
												7	2	308	221	529	16	六 ツ 美	13	
												10	3	445	417	862	27	矢 作 北	14	
												2	1	191	190	381	13	新 香 山	15	
												8	2	283	270	553	17	竜 南	16	
												12	2	363	345	708	21	北	17	校
												12	2	429	422	851	25	六 ツ 美 北	18	
												4	2	105	105	210	8	額 田	19	
												4	2	271	255	526	18	翔 南	20	
												177	45	5,698	5,411	11,109	358	計		小・中
												517	142	16,898	15,906	32,804	1,164	小・中	計	

10 市立以外の学校等(各種学校を除く)

(1) 研究機関

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	自然科学研究機構 (分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所)	明大寺町字西郷中 38 番地	55-7000

(2) 小・中・養護・盲・聾学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	愛知教育大学附属岡崎小学校	六供町字八貫 15 番地	21-2237
〃	愛知教育大学附属岡崎中学校	明大寺町字栗林 1 番地	51-3637
〃	愛知教育大学附属特別支援学校	六供町字八貫 15 番地	21-7300
県 立	岡 崎 盲 学 校	竜美西一丁目 11 番地 5	51-1270
〃	岡 崎 聾 学 校	西阿知和町字御用田 1 番地 23	45-2830
〃	岡 崎 特 別 支 援 学 校	本宿町字古新田 78 番地	48-2601
〃	み あ い 特 別 支 援 学 校	美合町字並松 1 番地 51	57-0013
私 立	愛知産業大学三河中学校	岡町字原山 12 番地 10	48-4881

(3) 高等学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
県 立	岡 崎 高 等 学 校	明大寺町字伝馬 1 番地	51-0202
〃	岡 崎 北 高 等 学 校	石神町 17 番地 1	22-2536
〃	岡 崎 東 高 等 学 校	竜泉寺町字後山 27 番地	52-8911
〃	岡 崎 西 高 等 学 校	日名南町 7 番地	25-0751
〃	岩 津 高 等 学 校	東蔵前町字馬場 5 番地	45-2005
〃	岡 崎 工 業 高 等 学 校	羽根町字陣場 47 番地	51-1646
〃	岡 崎 商 業 高 等 学 校	栄町三丁目 76 番地	21-3599
私 立	人間環境大学岡崎学園高等学校	稲熊町字三丁目 110 番地	22-0274
〃	光ヶ丘女子高等学校	大西町字奥長入 52 番地	51-5651
〃	岡 崎 城 西 高 等 学 校	中園町字川成 98 番地	31-4165
〃	愛知産業大学三河高等学校	岡町字原山 12 番地 10	48-5211

(4) 大学・短期大学

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
私 立	愛 知 学 泉 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	愛 知 産 業 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4511
〃	人 間 環 境 大 学	本宿町字上三本松 6 番地 2	48-7811
〃	岡 崎 女 子 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 学 泉 短 期 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	岡 崎 女 子 短 期 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 産 業 大 学 短 期 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4800

(5) 私立幼稚園

園 名	所 在 地	電話番号
愛隣幼稚園	六供町字西茶臼 15 番地	21-2538
嫩幼稚園	魚町一丁目 8 番地	21-0708
第一早蕨幼稚園	欠町字狐ヶ入 21 番地	22-1678
第二早蕨幼稚園	洞町字八王子 10 番地 1	22-1923
めぐみ幼稚園	羽根町字池下 57 番地 1	51-2322
岡崎聖園マリア幼稚園	明大寺町字向山 2 番地 120	51-4046
聖カタリナ幼稚園	大西町字奥長入 52 番地	51-7127
竹の子幼稚園	蓑川町字東屋敷 16 番地	52-2554
レオナ第一幼稚園	真伝町字鐘鋳 1 番地 5	24-4859
レオナ第二幼稚園	西阿知和町字御用田 208 番地 5	45-2729
あさひこ幼稚園	桑原町字大沢 29 番地 7	45-5300
本宿幼稚園	本宿町字下トコフサ 1 番地 9	48-6973
かおる幼稚園	滝町字芳殿 80 番地	46-3251
橋目幼稚園	橋目町字毘沙門 11 番地	32-2088
たつみ幼稚園	緑丘一丁目 2 番地 3	53-0250
みやこ幼稚園	福岡町字北西仲 9 番地 4	53-0161
まこと幼稚園	大門四丁目 5 番地 16	24-7988
長瀬台幼稚園	橋目町字割塚 3 番地 3	32-6721
みやこ第二幼稚園	宮地町字柳畑 58 番地 3	53-0039
矢作白鳥幼稚園	東本郷町字川原田 39 番地	32-6810
やはぎみやこ幼稚園	富永町字平田 10 番地 1	32-8100
むつみみやこ幼稚園	野畑町字花ノ木原 50	72-4839

第3 体育施設

1 市内体育施設

(平成27年度)

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
岡 崎 市 体 育 館	六名本町7	S51. 7. 1	敷地 13,852 m ² 延床面積 13,256 m ² 競技場 2,524 m ² 剣道場 182 m ² 柔道場 182 m ² トレーニング室 187 m ² 会議室 食堂 観覧室 2,544 席 移動用椅子 3,800 席 指導式ステージ 17m×8m 駐車場 320 台 ◎バレーボール4面 バスケットボール3面 ハンドボール1面 テニス3面 卓球30台 バドミントン12面 体操競技一式
岡 崎 市 矢 作 体 育 館	宇頭町小敷49	S56. 4. 1	延床面積 1,186 m ² 競技場 651 m ² ◎バレーボール1面(練習2面可能) バスケットボール1面 バドミントン3面 テニス1面 卓球10台
岡 崎 市 井 田 体 育 館	伊賀新町10-3	H21. 4. 1	延床面積 516.6 m ² 競技場 400 m ² ◎バレーボール1面 バドミントン2面 卓球8台
花 園 体 育 セ ン タ ー	桑原町大沢20-90	S62. 8. 1	(屋内運動場) 延床面積 1,188 m ² 体育室 864 m ² ミーティング室 40 m ² 男・女更衣室各 12.06 m ² ベビーホール 13.95 m ² 器具庫 108 m ² 事務室 13.95 m ² ロビー ◎バレーボール2面 バドミントン3面 バスケットボール1面 卓球16台 (屋内運動場) 大広場 9,032 m ² 照明設備 ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 中広場 2,672 m ² ◎テニスコート(クレイコート)2面
勤 労 者 体 育 セ ン タ ー	下青野町本郷99-1	S60. 4. 29	延床面積 1,269.96 m ² 体育室 945 m ² 男・女更衣室各 16.96 m ² 談話室 27.79 m ² 器具庫 83.60 m ² ◎バレーボール2面 バスケットボール1面 テニス1面 バドミントン6面 卓球10台
緑 丘 庭 球 場	緑丘一丁目2-9	S55. 4. 1	2,754 m ² ◎クレイコート3面
南 公 園 庭 球 場	若松町萱林1-1	S58. 6. 3	3,040 m ² ◎全天候型(ハードコート)4面
梅園公園庭球場	稲熊町六丁目135-1	1コートH2. 4. 1 2コートH3. 4. 1	1,680 m ² ◎全天候型(砂入人工芝)2面
乙川河川敷庭球場	板屋町290-1	H2. 5. 1	5,440 m ² ◎全天候型(ハードコート)4面 ローラースケート場900 m ²
南 公 園 運 動 場	若松町萱林1-1	H6. 4. 1 (照明S56. 4)	11,000 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 照明設備 1KW水銀灯72灯 940Wナトリウム灯24灯
美合公園運動場	美合町地藏野1-4	S42. 4. 1	5,000 m ² ◎ソフトボール1面
日名公園運動場	日名南町13	S42. 9. 1 (照明S60. 4. 1)	7,000 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 照明設備 1KW水銀灯56灯 600Wナトリウム灯32灯
井田公園運動場	井田新町10	S46. 4. 1	7,000 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
境 公 園 運 動 場	大門一丁目1	S48. 2. 1 (照明S54. 9. 15)	9,500 m ² ◎軟式野球2面(兼ソフトボール2面) サッカー1面 照明設備 1KW水銀灯94灯 940Wナトリウム灯36灯
六 名 公 園 運 動 場	六名本町8	S50. 9. 1 (照明S55. 4. 3)	13,400 m ² ◎ソフトボール2面(兼陸上競技200mトラック) サッカー1面 テニス練習場3～5人用(壁打ち) 照明設備 1KW水銀灯56灯(ソフトボール1面分)
三百田公園運動場	大樹寺三丁目21	S51. 4. 1	8,000 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
堤 下 公 園 運 動 場	上里一丁目24	S54. 6. 1	8,500 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
明 神 橋 公 園 運 動 場	上六名一丁目14	S55. 4. 1 (照明S55. 4. 17)	8,000 m ² ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 照明設備 1KW水銀灯60灯

IV 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
みどり公園運動場	緑丘二丁目 18	S59. 4. 1	6,084 m ² ◎ソフトボール 1 面
梅園公園運動場	稲熊町六丁目 135-1	H4. 3. 25	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
矢作公園運動場	中園町大縄 1	H4. 3. 25	12,600 m ² ◎ソフトボール 2 面
東 部 運 動 場	桑谷町平田ヶ入 25-3	S58. 4. 4	14,649 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）駐車場 40 台
美 矢 井 橋 河 川 緑 地 運 動 場	高橋町地内矢作川 河川敷	S56. 4. 1 (S63. 7. 1)	23,363 m ² ◎ソフトボール 4 面（A、B、C、D 面）
	上青野町地内矢作 川河川敷	S59. 4. 8	8,840 m ² ◎サッカー 1 面
	中之郷町地内矢作 川河川敷	S54. 6. 10	8,272 m ² ◎ソフトボール 1 面（大聖寺）
渡 橋 河 川 緑 地 運 動 場 渡 橋（矢作川左岸）	天白町地内矢作川 河川敷	H8. 4. 1	8,500 m ² ◎サッカー 1 面
渡 橋 河 川 緑 地 運 動 場 渡（矢作川右岸）	渡町地内矢作川河 川敷	S55. 11. 1	7,759 m ² ◎ソフトボール 2 面（A、B 面）ゲートボール場 6 面
日 名 橋 河 川 緑 地 運 動 場	舩越町地内矢作川 河川敷	S57. 10. 1	5,860 m ² ◎子どもソフトボール 1 面 少年サッカー 1 面
六 南 あ お み 野 (定国町)運動広場	定国町郷外 41-1	H13. 4. 1	13,395 m ² ◎ソフトボール 1 面
岩 津 運 動 広 場	岩津町東山 18-1	S56. 11. 1	1,800 m ² ◎子どもソフトボール 1 面
大 幡 運 動 広 場	大幡町一仏 33-3	S59. 4. 1	7,951 m ² ◎ソフトボール 1 面
天神橋運動広場	岩津町地内矢作川 河川敷	S59. 7. 29	10,780 m ² ◎ソフトボール 1 面
舞 木 運 動 広 場	舞木町仏石 10-1	S60. 5. 1	11,693 m ² ◎ソフトボール 1 面
奥 殿 運 動 広 場	奥殿町仲西 68-2	S61. 4. 27	8,252 m ² ◎ソフトボール 1 面
美 合 運 動 広 場	岡町原山 2	S61. 10. 26	12,820 m ² ◎ソフトボール 1 面
藤 川 運 動 広 場	藤川町西大蓮舩 1-2	H1. 4. 16	10,700 m ² ◎ソフトボール 1 面
常 磐 南 運 動 広 場	田口町字福田 60 番地 1	H25. 4. 1	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
藤 川 射 撃 場	藤川町堤ヶ入 1-35	S35	4,500 m ² クレー射台 15 台 休憩室
羽 根 乗 馬 場	羽根町小豆坂 107	S29	4,158 m ²
カ ヌ ー 練 習 場	桑原町嶋崎 5-1	S45. 12. 3	艇庫 247 m ² カヌーカヤック（9 艇）カヌーポロカヤック（5 艇） カヌーカナディアン（5 艇）（桑原町地内 巴川 水路巾 40m 長さ 1 km）
グライダー練習場	八帖南町地内矢作 川河川敷	S48. 4. 1	初級機 1 機 中級機 1 機 上級機 1 機 ウインチ車 2 台 トレーラー 3 台
東公園オリエン テ ィ ン グ パーマナントコース	欠町東公園周辺	S48. 11. 4	10 km コース 7 km コース 3.5 km コース
額 田 運 動 場	南大須町トドメキ 5	S63. 4. 1 (照明 H4. 8. 27)	14,114 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 108 灯
牧 平 公 園 庭 球 場	牧平町岩田 3-35	S59. 2. 10	722 m ² ◎クレーコート 1 面 練習用壁打ちコート 1 面
中 伊 西 テ ニ ス コ ー ト	中伊西町坂口 3-1	H10. 2. 13	1,994.40 m ² ◎全天候型（砂入人工芝）1 面 練習用壁打ちコート 1 面 照明設備 1 KW ハロゲン灯 10 灯

2 利用状況

(1) 岡崎市体育館

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
競 技 場	1,162	97,635	1,192	100,298	833	79,339
武 道 場	1,122	29,325	1,063	26,320	732	13,171
トレーニング室	—	5,153	—	6,794	—	5,271
会 議 室	562	20,837	422	12,515	322	9,484
個 人 利 用	—	19,915	—	18,846	—	15,500
合 計	2,846	172,865	2,677	164,773	1,887	122,765

(2) 岡崎市矢作体育館

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	611	15,799	578	15,634	799	14,863
個 人 利 用	—	41	—	38	—	11

(3) 井田体育館

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	993	21,094	1,090	15,011	901	15,798
個 人 利 用	—	462	—	514	—	571

(4) 花園体育センター

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1,086	19,435	1,162	23,572	1,076	22,668

(5) 勤労者体育センター

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1,090	28,396	977	26,121	1,442	23,682

(6) 運動場

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園	1,024	34,901	1,034	23,600	1,025	29,414
日 名 公 園	561	18,951	507	12,974	590	13,053
境 公 園	1,123	42,703	1,192	45,496	1,374	54,848
六 名 公 園	2,095	100,506	1,989	120,237	1,976	108,097
明 神 橋 公 園	736	11,944	671	10,430	714	10,137
美 合 公 園	543	28,861	520	26,486	508	28,761
井 田 公 園	856	39,332	854	49,124	849	46,145
三 百 田 公 園	672	37,267	668	25,322	695	28,833
堤 下 公 園	804	25,413	493	14,890	497	17,085
美矢井橋河川緑地 (ソフトABCD)	2,145	125,058	1,957	124,846	1,965	124,185
美矢井橋河川緑地 (大聖寺)	495	20,323	474	19,627	474	18,217
美矢井橋河川緑地 (サッカー)	405	28,599	479	34,577	486	33,998
み どり 公 園	660	18,662	618	19,230	731	19,309
梅 園 公 園	575	16,039	534	15,970	553	16,071
矢 作 公 園	1,860	95,124	1,924	94,385	1,955	93,486
東 部	677	40,984	639	39,147	651	38,394
額 田	851	15,622	442	13,060	371	15,649
渡橋河川緑地 (右岸)	996	39,232	1,089	39,628	1,371	42,941
渡橋河川緑地 (左岸)	521	30,334	603	36,893	555	34,912
日名橋河川緑地	348	13,837	565	25,893	604	32,027
花園体育センター	566	20,271	519	20,959	573	24,204
合 計	18,513	803,963	17,771	812,774	18,517	829,766

IV 資 料

第 3 体育施設

(7) 運動広場

区 分		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
学区運動広場	岩 津	45	911	81	1,766	96	1,746
	大 幡	599	17,500	568	16,886	546	16,502
	舞 木	536	14,748	757	23,144	555	16,580
	奥 殿	172	4,548	61	2,051	190	3,179
	美 合	705	17,610	1,085	26,550	1,066	23,821
	藤 川	617	25,910	723	28,370	714	25,580
	六南あおみ野 (定国町)	1,299	84,828	1,312	88,782	1,368	99,676
	常 磐 南	—	—	223	5,470	293	7,330
河川敷運動広場	天 神 橋	305	18,430	319	17,240	318	13,360
合 計		4,278	184,485	5,129	210,259	5,146	207,774

(8) 庭球場

区 分		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
緑 丘		4,949	28,520	4,800	28,431	5,144	29,518
梅 園 公 園		3,519	22,140	3,512	21,836	3,562	21,822
乙 川 河 川 敷		3,922	11,519	4,536	13,965	5,183	13,831
南 公 園		2,642	10,927	2,713	11,209	3,346	13,813
牧 平 公 園		1,371	4,495	1,120	4,854	1,490	5,705
中 伊 西		3,238	12,126	3,278	12,047	3,348	11,818
花 園		1,306	6,216	1,246	5,794	1,465	6,863
合 計		19,592	93,131	21,205	98,136	23,538	103,370

《 M E M O 》

平成 27 年7月発行

教育要覧(平成 27 年度)

編集・発行 **岡 崎 市 教 育 委 員 会**

〒444-8601

岡崎市十王町二丁目9番地

担当:教育委員会事務局総務課

電話:(0564)23-6419
